

(様式第10)

阪 医 病 総 第 5 号
令 和 元 年 1 0 月 3 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人大阪大学
学長 西尾 章治郎

(印)

大阪大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3第1項及び医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の2の2の第1項の規定に基づき、平成30年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒 565-0871	大阪府吹田市山田丘 1 番 1 号
氏 名		国立大学法人大阪大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

大阪大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒 565-0871	大阪府吹田市山田丘 2 番 1 5 号	電話(06) 6879-5111
------------	---------------------	--------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

- ① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
- ② 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	<input checked="" type="checkbox"/> 有 · <input type="checkbox"/> 無
内科と組み合わせた診療科名等	
① 呼吸器内科	② 消化器内科
⑤ 神経内科	⑥ 血液内科
9 感染症内科	10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科
③ 循環器内科	
⑦ 内分泌内科	
④ 腎臓内科	
⑧ 代謝内科	
11 リウマチ科	

「アレルギー疾患内科またはアレルギー科」、「リウマチ科」の診療内容はアレルギー疾患リウマチ科、「内分泌内科」、「代謝内科」の診療内容は糖尿病・内分泌・代謝内科、「血液内科」の診療内容は血液・腫瘍内科、で提供している。

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
外科と組み合わせた診療科名	
① 呼吸器外科	② 消化器外科
5 血管外科	③ 乳腺外科
⑥ 心臓血管外科	4 心臓外科
	7 内分泌外科
	⑧ 小児外科
「乳腺外科」、「内分泌外科」の診療内容は乳腺・内分泌外科で提供している。	

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

① 精神科	② 小児科	③ 整形外科	④ 脳神経外科	⑤ 皮膚科
⑥ 泌尿器科	7 産婦人科	⑧ 産科	⑨ 婦人科	⑩ 眼科
⑫ 放射線科	13 放射線診断科	14 放射線治療科	⑮ 麻酔科	⑯ 救急科

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
歯科と組み合わせた診療科名	
1 小児歯科	2 矯正歯科
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 糖尿病・内分泌・代謝内科	2 アレルギー疾患リウマチ科	3 血液・腫瘍内科	4 老年内科	5 漢方内科
6 乳腺・内分泌外科	7 病理診断科	8 形成外科	9 リハビリテーション科	10 神経・精神科
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
52 床	床	床	床	1,034 床	1,086 床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数		員 数
					職	種	
医 師	476 人	632 人	865.2 人	看護補助者	72 人	診療エックス線技師	0 人
歯科医師	2 人	0 人	2.0 人	理学療法士	19 人	臨床検査技師	97 人
薬剤師	77 人	3 人	78.8 人	作業療法士	5 人	検査衛生検査技師	3 人
保健師	0 人	0 人	0.0 人	視能訓練士	17 人	その他	1 人
助産師	39 人	0 人	39.0 人	義肢装具士	0 人	あん摩マッサージ指圧師	0 人
看護師	1,020 人	21 人	1035.1 人	臨床工学士	38 人	医療社会事業従事者	14 人
准看護師	1 人	1 人	1.7 人	栄養士	0 人	その他の技術員	24 人
歯科衛生士	2 人	1 人	2.7 人	歯科技工士	0 人	事務職員	308 人
管理栄養士	9 人	0 人	9.0 人	診療放射線技師	67 人	その他の職員	55 人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	111 人	眼科専門医	27 人
外科専門医	105 人	耳鼻咽喉科専門医	19 人
精神科専門医	13 人	放射線科専門医	32 人
小児科専門医	46 人	脳神経外科専門医	12 人
皮膚科専門医	11 人	整形外科専門医	30 人
泌尿器科専門医	26 人	麻酔科専門医	25 人
産婦人科専門医	46 人	救急科専門医	20 人
	合 計		523 人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (木村 正) 任命年月日 平成30年4月1日

平成28年4月～平成30年3月 医療クオリティ審議委員会委員

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	854.5人	0.0人	854.5人
1日当たり平均外来患者数	2,380.7人	18.4人	2,399.1人
1日当たり平均調剤数			1,620.9剤
必要医師数			226.0人
必要歯科医師数			1.0人
必要薬剤師数			29.0人
必要(准)看護師数			509.0人

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

- 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数	29床	心電計	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
集中治療室	595.32 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	人工呼吸装置	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	心細動除去装置	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
			その他の救急蘇生装置	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	ペースメーカー	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 307.23 m ²		病床数 m ²	28床		
	[移動式の場合] 台数		病床数	床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 55.00 m ²					
	[共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	643.00 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 検査台、遠心分離機、自動分析装置			
細菌検査室	135.00 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 検査台、顕微鏡、恒温器、安全キャビネット			
病理検査室	305.00 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 検査台、顕微鏡、ドラフトチャンバー			
病理解剖室	65.00 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台、保管庫、冷蔵庫			
研究室	12,392.00 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) パソコン等OA機器、実験台、保管庫			
講義室	1,187.00 m ²	鉄筋コンクリート	室数 7室 収容定員			953人
図書室	4,041.00 m ²	鉄筋コンクリート	室数 -室 藏書数	341,000		冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	94.50 %	逆紹介率	70.8 %
A : 紹介患者の数		19,532人	
B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		15,281人	
C : 救急用自動車によって搬入された患者の数		850人	
D : 初診の患者の数		21,573人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
倉智 博久	大阪母子医療センター 総長	○	医療側・経営側 の両知識を有する者として選定	<input type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
橋本 重厚	福島県立医科大学会津 医療センター 教授 同大学附属病院 医療安全管理部長		医療安全管理の 専門家として選定	<input type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
水島 幸子	水島綜合法律事務所 所長		医療に精通して いる法律の専門 家として選定	<input type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
山口 育子	認定NPO法人 ささえあい医療人権センターコム理事長		患者目線で医療 について助言できる者として選定	<input type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2
鈴木 敏之	大阪大学理事		本学におけるリ スク管理担当理事 として選定	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	3

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
委員の選定理由の公表の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
公表の方法	本学のHPに掲載

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
角膜ジストロフィーの遺伝子解析	1人
腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	6人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	11人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチニン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法 上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	0人
ベペルミノゲンペルプラスミドによる血管新生療法 閉塞性動脈硬化症又はビュルガー病(血行再建術及び血管内治療が困難なものであって、ファンタン分類III度又はIV度のものに限る。)	0人
FDGを用いたポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影による不明熱の診断 不明熱(画像検査、血液検査及び尿検査により診断が困難なものに限る。)	0人
コラーゲン半月板補填材を用いた半月板修復療法 半月板損傷(関節鏡検査により半月板の欠損を有すると診断された患者に係るものに限る。)	4人
周術期カルペリチド静脈内投与による再発抑制療法 非小細胞肺がん(CT撮影により非浸潤がんと診断されたものを除く。)	0人
11C標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による再発の診断 頭頸部腫瘍(原発性若しくは転移性脳腫瘍(放射線治療を実施した日から起算して半年以上経過した患者に係るものに限る。)又は上咽頭、頭蓋骨その他脳に近接する臓器に発生する腫瘍(放射線治療を実施した日から起算して半年以上経過した患者に係るものに限る。)であり、かつ、再発が疑われるものに限る。)	1人
自家嗅粘膜移植による脊髄再生治療 胸髄損傷(損傷後十二月以上経過してもなお下肢が完全な運動麻痺(米国脊髄損傷教会によるAISがAである患者に係るものに限る。)を呈するものに限る。)	0人
リツキシマブ点滴注射後におけるミコフェノール酸モフェチル経口投与による寛解維持療法 特発性ネフローゼ症候群(当該疾病的症状が発症した発症した時点における年齢が十八歳未満の患者に係るものであって、難治性頻回再発型又はステロイド依存性のものに限る。)	0人
放射線照射前に大量ストレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法 並びにテモゾロミド内服投与の維持療法 初発の中枢神経系原発悪性リンパ腫(病理学見地からびまん性大細胞型B細胞リンパ腫であると確認されたものであって、原発部位が大脳、小脳又は脳幹であるものに限る。)	1人
11C標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による診断 初発の神経膠腫が疑われるもの(生検又は手術が予定されている患者に係るものに限る。)	9人
経胎盤的抗不整脈薬投与療法 胎児頻脈性不整脈(胎児の心拍数が毎分百八十以上で持続する心房粗動又は上室性頻拍に限る。)	0人
重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する脳死ドナー又は心停止ドナーからの臍島移植 重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病	0人
術前のS-1内服投与、シスプラチニン静脈内投与及びトラスツズマブ静脈内投与の併用療法 切除が可能な高度リンパ節転移を伴う胃がん(HER2が陽性のものに限る。)	0人
テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。)	0人
自己心膜及び弁形成リングを用いた僧帽弁置換術 僧帽弁閉鎖不全症(感染性心内膜炎により僧帽弁両尖が破壊されているもの又は僧帽弁形成術を実施した日から起算して六ヶ月以上経過した患者(再手術の適応が認められる患者に限る。)に係るものに限る。)	0人
マルチブレックス遺伝子パネル検査 難治性固形がん(ステージがIII期若しくはIV期で手術が不能なもの又は治療後に再発したものであって、治療法が存在しないもの又は従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限り、肉腫を除く。)	44人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	1型糖尿病に対する Sensor-Augmented Pump (SAP) を用いた糖尿病治療	取扱患者数	35人
当該医療技術の概要			
1型糖尿病患者では自己インスリン分泌が絶対的に不足しており、頻回の自己血糖測定結果に基づき、インスリン注射量を決定している。インスリン注入量をあらかじめプログラムし必要なインスリンを持続投与し得るpump機能に加え、sensorによる持続血糖モニタリングが可能なSAPを用いることで、基礎及び追加インスリン量設定を精密に行え、血糖管理が良好となる。			
医療技術名	難治性神経疾患に対する非侵襲的脳刺激法	取扱患者数	44人
当該医療技術の概要			
難治性疼痛やパーキンソン病など難治性性神経疾患の症状改善を目的に、反復経頭蓋磁気刺激などの非侵襲的脳刺激法を実施している。			
医療技術名	食道表在癌(臨床病期0/ I A)に対するDCF併用療法+ESD	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
食道表在癌(臨床病期0/ I A)に対して、DCF併用化学療法により縮小を得た後に、内視鏡的粘膜下層切除術(ESD)により治癒切除を行う。			
医療技術名	F-18 FBPA PETによるホウ素中性子捕捉放射線治療の適応評価	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要			
放射線治療の一種であるホウ素中性子捕捉療法の治療前評価として、腫瘍へのボロノフェニルアラニンの集積をPETを用いて評価することで、治療適応の有無を判断する			
医療技術名	先進医療:炭素11標識メチオニンによるPET診断 放射線治療後の再発の検出	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要			
炭素11標識メチオニンPETを用いて脳腫瘍の放射線治療後の再発と放射線壊死の鑑別診断を行い、FDG-PETに対する有用性を評価する。			
医療技術名	《先進医療:炭素11標識メチオニンによるPET診断》-神経膠腫を疑われた患者における有用性-	取扱患者数	23人
当該医療技術の概要			
臨床的に神経膠腫を疑い、摘出術を予定している患者を対象に			
炭素11標識メチオニンPETによる腫瘍診断および腫瘍の進展度を評価する。			
医療技術名	神経障害性疼痛におけるTSPO-PET診断の有用性および関連血液バイオマーカーの検証	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要			
神経障害性疼痛患者においてグリア細胞の活性化による脊髄の神経炎症をPETを用いて評価する。			
医療技術名	C-11 DPA713を用いた小児てんかん病巣の検出	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要			
難治性の小児てんかんに対する、発作焦点の同定をC-11 DPA713 PETを用いて行う。			
医療技術名	皮膚・軟部の脈管奇形に対するIVR治療	取扱患者数	72 人
当該医療技術の概要			
頭頸部・四肢・体幹部等の脈管奇形(血管奇形・リンパ管奇形及びそれらの混合型)に対して塞栓術や硬化療法などIVR(interventional radiology)治療を行う。			
医療技術名	4D-Phase-contrast MRIを用いた脳動脈瘤,大動脈解離の血流動態評価	取扱患者数	18 人
当該医療技術の概要			
心電図同期を行った3D-Phase-contrast MRAを用いて動脈瘤の血流を定量的に評価する。			
医療技術名	4D-CTAを用いた脳腫瘍の血管および血流評価	取扱患者数	3 人
当該医療技術の概要			
320列CTを用いて全脳で時間情報を含む3D-CTAを撮影し、脳腫瘍の血管および血流評価を行う。			

医療技術名	脳死肺移植	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
呼吸器不全患者に対して、脳死肺移植を実施した。肺移植は終末期呼吸器疾患患者に対して行われる高度医療である。			
医療技術名	ロボット支援下肺癌切除術	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要			
"daVinci システムをもちいた肺癌手術を高度な医療として行っている。			
ロボット支援手術によってより複雑で細やかな手術手技を可能としており、より低侵襲な手術が可能であると考えられる。			
医療技術名	炎症性腸疾患に対する単孔式腹腔鏡手術	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要			
標準的な腹腔鏡手術術式が確立されていない炎症性腸疾患患者に対して、外科治療をより低侵襲に実施できる。			
医療技術名	ICG蛍光イメージングを用いた術中肝癌の検出と治療	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要			
肝機能検査として投与されるICGは肝癌に取り込まれるため、術中に赤外観察カメラシステムにて検出可能である。本方法は非常に感度が高く、微小な肝癌を検出する事ができるため、同時に切除することでより根治性を高めることができる。			
医療技術名	固体がん患者に対するMogamulizumab・Nivolumab術前併用投与第Ⅰ相治療	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
制御性T細胞除去及び免疫チェックポイント阻害薬の併用による腫瘍免疫増強を企図したがん免疫療法を実施している。			
標準的外科的切除前投与という新規適応と治験薬投与前後の腫瘍組織を用いたバイオマーカー探索を目的としている。			
医療技術名	消化器癌腹膜転移に対する審査腹腔鏡検査時の5-ALAを用いた光線力学	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
5-アミノレブリン酸(5-ALA)を投与し、代謝活性の差により癌細胞に光感受性物質であるポルトポルフィリンIXを蓄積させ、赤色蛍光を観察する。この技術により、微細な腹膜播種診断を正確に実施することができる。			
医療技術名	食道癌術後難治性逆流性食道炎に対する内視鏡的逆流防止弁形成術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
食道癌根治術後の逆流性食道炎は誤嚥性肺炎・二次発がんのリスクの上昇や睡眠障害など術後の予後悪化やQOL低下などをもたらす。それに対して消化管内視鏡下の縫合デバイスを用いた胃管逆流防止弁形成により難治性の逆流性食道炎の治療を行っている			
医療技術名	再発難治性末梢性T細胞リンパ腫に対するニボルマブ療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
保険適用外のニボルマブを用いた治療を行う			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
1 球脊髄性筋萎縮症	7	56 ベーチエット病	129
2 筋萎縮性側索硬化症	54	57 特発性拡張型心筋症	313
3 脊髄性筋萎縮症	9	58 肥大型心筋症	46
4 原発性側索硬化症	1	59 拘束型心筋症	4
5 進行性核上性麻痺	36	60 再生不良性貧血	67
6 パーキンソン病	510	61 自己免疫性溶血性貧血	9
7 大脳皮質基底核変性症	17	62 発作性夜間ヘモグロビン尿症	7
8 ハンチントン病	2	63 特発性血小板減少性紫斑病	104
9 神経有棘赤血球症	1	64 血栓性血小板減少性紫斑病	1
10 シャルコー・マリー・トゥース病	1	65 原発性免疫不全症候群	31
11 重症筋無力症	222	66 IgA腎症	38
12 先天性筋無力症候群	0	67 多発性囊胞腎	66
13 多発性硬化症／視神経脊髄炎	143	68 黄色鞘帯骨化症	5
14 慢性炎症性脱髓性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	22	69 後縦鞘帯骨化症	99
15 封入体筋炎	5	70 広範脊柱管狭窄症	11
16 クロウ・深瀬症候群	3	71 特発性大腿骨頭壞死症	80
17 多系統萎縮症	32	72 下垂体性ADH分泌異常症	14
18 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	96	73 下垂体性TSH分泌亢進症	3
19 ライソゾーム病	53	74 下垂体性PRL分泌亢進症	13
20 副腎白質ジストロフィー	5	75 クッシング病	19
21 ミトコンドリア病	16	76 下垂体性コナドトロビン分泌亢進症	3
22 もやもや病	26	77 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	55
23 プリオン病	0	78 下垂体前葉機能低下症	180
24 亜急性硬化性全脳炎	0	79 家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	4
25 進行性多巣性白質脳症	0	80 甲状腺ホルモン不応症	0
26 HTLV-1関連脊髄症	3	81 先天性副腎皮質酵素欠損症	2
27 特発性基底核石灰化症	0	82 先天性副腎低形成症	0
28 全身性アミロイドーシス	10	83 アジソン病	2
29 ウルリッヒ病	0	84 サルコイドーシス	103
30 遠位型ミオパチー	3	85 特発性間質性肺炎	57
31 ベスレムミオパチー	0	86 肺動脈性肺高血圧症	60
32 自己貪食空胞性ミオパチー	0	87 肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33 シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88 慢性血栓栓性肺高血圧症	18
34 神経線維腫症	80	89 リンパ脈管筋腫症	31
35 天疱瘡	28	90 網膜色素変性症	104
36 表皮水疱症	28	91 バッド・キアリ症候群	3
37 脓疱性乾癬(汎発型)	10	92 特発性門脈圧亢進症	1
38 スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93 原発性胆汁性肝硬変	56
39 中毒性表皮壊死症	4	94 原発性硬化性胆管炎	13
40 高安動脈炎	67	95 自己免疫性肝炎	17
41 巨細胞性動脈炎	6	96 クローン病	254
42 結節性多発動脈炎	20	97 潰瘍性大腸炎	302
43 顯微鏡的多発血管炎	38	98 好酸球性消化管疾患	2
44 多発血管炎性肉芽腫症	23	99 慢性特発性偽性腸閉塞症	2
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	20	100 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46 悪性関節リウマチ	14	101 腸管神経節細胞僅少症	0
47 パージャー病	17	102 ルビンシュタイン・ティビ症候群	0
48 原発性抗リン脂質抗体症候群	9	103 CFC症候群	0
49 全身性エリテマトーデス	462	104 コステロ症候群	0
50 皮膚筋炎／多発性筋炎	130	105 チャージ症候群	0
51 全身性強皮症	179	106 クリオピリン関連周期熱症候群	2
52 混合性結合組織病	67	107 全身型若年性特発性関節炎	0
53 シエーグレン症候群	62	108 TNF受容体関連周期性症候群	0
54 成人スチル病	14	109 非典型溶血性尿毒症症候群	0
55 再発性多発軟骨炎	9	110 ブラウ症候群	0

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数	疾患名	患者数	
111	先天性ミオパチー	2	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	13
113	筋ジストロフィー	33	163	特発性後天性全身性無汗症	12
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	2	165	肥厚性皮膚骨膜症	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	1	167	マルファン症候群	6
118	脊髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	3
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	6
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	1
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	8	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	1	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	1
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メピウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	1	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	1
139	先天性大脳白質形成不全症	1	189	無脾症候群	1
140	ドラペ症候群	0	190	鰐耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	3
142	ミオクロニーア神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニーア脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウイリ症候群	3
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	1
145	ウエスト症候群	1	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニーア脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスマッセン脳炎	1	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	1
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	2
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	2	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	3	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	32	208	修正大血管転位症	2
159	色素性乾皮症	2	209	完全大血管転位症	6
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数	疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259 レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	2	260 システロール血症	1
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1	261 タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262 原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	11	263 脳膜黄色腫症	1
216	両大血管右室起始症	2	264 無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265 脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266 家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267 高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268 中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269 化膿性無菌性関節炎・壞疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	51	270 慢性再発性多発性骨髓炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	271 強直性脊椎炎	18
224	紫斑病性腎炎	1	272 進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273 肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	274 骨形成不全症	3
227	オスラー病	10	275 タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276 軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1	277 リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	1	278 巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	1	279 巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭ひまん性病変)	1
232	カーニー複合	0	280 巨大動脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	4
233	ウォルフラム症候群	0	281 クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	3
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282 先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	3	283 後天性赤芽球病	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	284 ダイアモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285 ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	3	286 遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287 エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	2	288 自己免疫性出血病XIII	3
241	高チロシン血症1型	0	289 クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290 非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291 ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸	0
244	メープルシロップ尿症	0	292 総排泄腔外反症	1
245	プロピオン酸血症	0	293 総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294 先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295 乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	1	296 胆道閉鎖症	8
249	グルタル酸血症1型	0	297 アラジール症候群	1
250	グルタル酸血症2型	0	298 遺伝性脾炎	1
251	尿素サイクル異常症	3	299 褊胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300 IgG4関連疾患	10
253	先天性葉酸吸收不全	0	301 黄斑ジストロフィー	2
254	ボルフィリン症	1	302 レーベル遺伝性視神経症	1
255	複合カルボキシラーーゼ欠損症	0	303 アッシャー症候群	2
256	筋型糖原病	0	304 若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	1	305 遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306 好酸球性副鼻腔炎	31

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシートール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	1	322	β-ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症	1	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	3
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	4
318	シトリン欠損症	1	330	先天性気管狭窄症	0
			331	特発性多中心性キャッスルマン病	12

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
初診料(歯科)の注1に掲げる基準	精神疾患診療体制加算
特定機能病院入院基本料	精神科急性期医師配置加算
超急性期脳卒中加算	救命救急入院料3
診療録管理体制加算1	救命救急入院料4
医師事務作業補助体制加算1	特定集中治療室管理料1
急性期看護補助体制加算	ハイケアユニット入院医療管理料1
看護職員夜間配置加算	総合周産期特定集中治療室管理料
療養環境加算	新生児治療回復室入院医療管理料
重症者等療養環境特別加算	小児入院医療管理料2
無菌治療室管理加算1	短期滞在手術等基本料1
無菌治療室管理加算2	・
緩和ケア診療加算	・
精神科身体合併症管理加算	・
精神科リエゾンチーム加算	・
栄養サポートチーム加算	・
医療安全対策加算1	・
感染防止対策加算1	・
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
ハイリスク妊娠管理加算	・
ハイリスク分娩管理加算	・
総合評価加算	・
後発医薬品使用体制加算3	・
病棟薬剤業務実施加算1	・
病棟薬剤業務実施加算2	・
データ提出加算	・
入退院支援加算	・

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
入院時食事療養／生活療養(Ⅰ)	検体検査管理加算(IV)
歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	国際標準検査管理加算
糖尿病合併症管理料	遺伝カウンセリング加算
がん性疼痛緩和指導管理料	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
がん患者指導管理料ハ	胎児心エコー法
外来緩和ケア管理料	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	ヘッドアップティルト試験
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	人工臍臓検査、人工臍臓療法
糖尿病透析予防指導管理料	長期継続頭蓋内脳波検査
乳腺炎重症化予防・ケア指導料	長期脳波ビデオ同時記録検査1
外来放射線照射診療料	脳波検査判断料1
ニコチン依存症管理料	中枢神経磁気刺激による誘発筋電図
療養・就労両立支援指導料の注2に掲げる相談体制充実加算	脳磁図
ハイリスク妊娠婦共同管理料(Ⅰ)	神経学的検査
がん治療連携計画策定料	補聴器適合検査
薬剤管理指導料	ロービジョン検査判断料
医療機器安全管理料1	コンタクトレンズ検査料1
医療機器安全管理料2	内服・点滴誘発試験
在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	画像診断管理加算3
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	遠隔画像診断
持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	ポジトロン断層撮影
遺伝学的検査	ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
骨髄微小残存病変量測定	CT撮影及びMRI撮影
抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	冠動脈CT撮影加算
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	外傷全身CT加算
検体検査管理加算(Ⅰ)	心臓MRI撮影加算

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
乳房MRI撮影加算	組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
頭部MRI撮影加算	骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	後縦韌帯骨化症手術(前方進入によるもの)
外来化学療法加算1	脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術
無菌製剤処理料	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便失禁)
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	羊膜移植術
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
がん患者リハビリテーション料	緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
集団コミュニケーション療法料	網膜再建術
精神科作業療法	人工中耳植込術
抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
医療保護入院等診療料	内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
口腔粘膜処置	上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)
レーザー機器加算	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)
硬膜外自家血注入	乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
人工腎臓	乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
導入期加算2及び腎代替療法実績加算	乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
磁気による膀胱等刺激法	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
う蝕歯無痛的窩洞形成加算	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
CAD/CAM冠	肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
手術時歯根面レーザー応用加算	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
センチネルリンパ節加算	同種死体肺移植術
皮膚移植術(死体)	生体部分肺移植術

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	胆管悪性腫瘍手術(脾頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
胸腔鏡下弁形成術	腹腔鏡下肝切除術
胸腔鏡下弁形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	生体部分肝移植術
経カテーテル大動脈弁置換術	同種死体肝移植術
胸腔鏡下弁置換術	腹腔鏡下脾腫瘍摘出術
経皮的僧帽弁クリップ術	腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術
経皮的中隔心筋焼灼術	腹腔鏡下脾頭十二指腸切除術
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	同種死体脾移植術、同種死体脾腎移植術
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	生体部分小腸移植術
両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	同種死体小腸移植術
植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
補助人工心臓	同種死体腎移植術
小児補助人工心臓	生体腎移植術
植込型補助人工心臓(非拍動流型)	膀胱水圧拡張術
同種心移植術	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
同種心肺移植術	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
骨格筋由来細胞シート心表面移植術	人工尿道括約筋植込・置換術
腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	胎児胸腔・羊水腔シャント術

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・(今年度は該当なし)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注)2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	348回／年
剖検の状況	剖検症例数 29 例 / 剖検率 9.7 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助金等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	シトルリン化ヒストンH3を標的とした重症病態の制御	清水 健太郎	医病 高度救命救急センター	260,000	補 独立行政法人 日本学術振興会
2	膜融合能増強型標的化改変ヘルペスウイルスを用いたがん免疫療法の開発	田中 晃司	医病 消化器外科(二外)	390,000	補 独立行政法人 日本学術振興会
3	データマイニング手法による健診受診集団の保健事業立案のための効果的階層化の試み	赤坂 憲	医病 老年・高血圧内科	130,000	補 独立行政法人 日本学術振興会
4	電子カルテ非構造化データからの薬剤性有害事象検出手法の開発	武田 理宏	医病 医療情報部	1,300,000	補 独立行政法人 日本学術振興会
5	メタゲノム解析を用いた心不全における腸内細菌叢の評価	塚本 泰正	医病 循環器内科	1,300,000	補 独立行政法人 日本学術振興会
6	ダウン症候群における造血異常の病態解明と責任遺伝子の同定	北畠 康司	医病 小児科	1,430,000	補 独立行政法人 日本学術振興会
7	連続インピーダンスを用いた穿刺針位置確認システムの開発	大瀧 千代	医病 集中治療部(西)	1,170,000	補 独立行政法人 日本学術振興会
8	病院外心停止例に対する救急通信指令システムの質改善に関する研究	入澤 太郎	医病 高度救命救急センター	1,014,000	補 独立行政法人 日本学術振興会
9	臨床検体を用いたB型肝炎ウイルス(HBV)感染の病態解析	中堀 輔	医病 消化器内科	2,340,000	補 独立行政法人 日本学術振興会
10	新規消化器癌初代培養法樹立と臨床応用を目指した研究	藤野 志季	医病 消化器外科(二外)	1,040,000	補 独立行政法人 日本学術振興会
11	ミトコンドリア機能異常を標的とした食道癌治療戦略の確立	田中 晃司	医病 消化器外科(二外)	2,080,000	補 独立行政法人 日本学術振興会
12	子宮体癌に対するTAN特異的阻害治療の開発	松本 有里	医病 総合周産期母子医療センター	1,560,000	補 独立行政法人 日本学術振興会
13	腸内細菌が敗血症における免疫制御機構に与える影響の解明	坂口 了太	医病 集中治療部(西)	1,040,000	補 独立行政法人 日本学術振興会
14	神経筋接合部変化に着目した糖尿病におけるサルコペニア発症メカニズムについての検討	栗波 仁美	医病 老年・高血圧内科	1,300,000	補 独立行政法人 日本学術振興会
15	複眼消化器内視鏡による三次元パノラマ観測技術の開発	渡部 健二	医病 消化器内科	2,210,000	補 独立行政法人 日本学術振興会
16	心臓サルコイドーシスにおける遺伝的素因の探索と臨床病態層別化に関する検討	南口 仁	医病 循環器内科	1,300,000	補 独立行政法人 日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
17	劇症1型糖尿病の成因解明-CD300eの関与と新規ウイルス感染関連因子の同定	細川 吉弥	医病 糖尿病・内分泌・代謝内科	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
18	LEDを用いた光音響法による胎児等の血中酸素飽和度測定とその有効性	瀧内 剛	医病 総合周産期母子医療センター	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
19	高齢者閉塞性睡眠時無呼吸に対する新規治療法とバイオマーカーの有用性の検討	本行 一博	医病 老年・高血圧内科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
20	超音波内視鏡下穿刺吸引生検による肺癌局所リンパ球の解析	吉岡 鉄平	医病 消化器内科	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
21	膀胱細胞のCh25h発現低下による劇症1型糖尿病発症メカニズムの解明	細川 吉弥	医病 糖尿病・内分泌・代謝内科	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
22	電子カルテシステムを基盤とするCDISC標準での効率的臨床研究データ収集システムネットワークの構築とその有効性の検証	木村 正	医学部附属病院	14,000,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
23	再生医療等臨床研究推進拠点病院の確立	木村 正	医学部附属病院	17,685,137	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
24	再生医療等臨床研究を支援する再生医療ナショナルコンソーシアムの実現	西田 幸二	未来医療開発部	11,208,298	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
25	有害事象発生時の科学的な細胞検証を通じて細胞治療の安全性向上を目指す臨床用細胞保管・検査拠点構築	西田 幸二	眼科	35,000,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
26	戦略的TR推進による自立循環型新規医療創出拠点の実現	澤 芳樹	心臓血管外科	192,040,000	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
27	臨床研究中核病院機能の活用による革新的医薬品・医療機器等の創出促進に向けた先進的AROモデルの構築	木村 正	医学部附属病院	346,843,648	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
28	臨床研究法の統一書式及び利益相反様式の見直しについての検討	木村 正	医学部附属病院	77,035,052	委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
29	Brilliant Blue G250による水晶体前囊可視化検討 第3相多施設共同医師主導治験	西田 幸二	眼科	1,150,000	委	国立大学法人九州大学
30	AI基盤拠点病院の確立	木村 正	医学部附属病院	135,000,000	委	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
31	「新薬創出を加速する人工知能の開発」事業における臨床情報収集に関する基盤整備	松村 泰志	医療情報部	53,504,402	委	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
32	StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験	水島 恒和	消化器外科	43,200	委	公益財団法人がん集学的治療研究財団
33	脳腫瘍の人口知能による画像-分子遺伝学診断技術の開発	木下 学	脳神経外科学講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
34	障害ミトコンドリアからのダイイングコード漏出による脂肪性肝疾患の進展機序の解明	竹原 徹郎	消化器内科学講座	2,990,000	補	独立行政法人日本学術振興会
35	RNA結合タンパク質による異常RNA蓄積に対するリボスターシス維持機構の解明	永井 義隆	神経難病認知症探索治療学寄附講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
36	パーキンソン病患者iPS細胞由来ニューロンを用いた新たなマウスモデルの創出	望月 秀樹	神経内科学講座	5,330,000	補	独立行政法人日本学術振興会
37	神経・免疫・代謝におけるガイダンス因子の病的意義の解明とその制御	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫内科学講座	41,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
38	ヒトパピローマウイルス陽性中咽頭癌の撲滅に向けた包括的研究	猪原 秀典	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	9,880,000	補	独立行政法人日本学術振興会
39	神経・免疫・代謝におけるガイダンス因子の病的意義の解明とその制御	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫内科学講座	18,980,000	補	独立行政法人日本学術振興会
40	脊髄損傷後の機能回復を促進する脳活動の解明と制御	貴島 晴彦	脳神経外科学講座	12,350,000	補	独立行政法人日本学術振興会
41	3次元シミュレーションによる四肢矯正システムの発展的開発	村瀬 剛	整形外科学講座	4,030,000	補	独立行政法人日本学術振興会
42	睡眠障害を持つ乳幼児に対する前向き介入研究	谷池 雅子	小児発達神経学領域	2,860,000	補	独立行政法人日本学術振興会
43	高齢癌術後予後増悪因子であるフレイルへの術前介入の有用性と機序に関する包括的研究	樂木 宏実	老年・総合内科学講座	4,550,000	補	独立行政法人日本学術振興会
44	筋強直性ジストロフィーの包括的治療法確立	中森 雅之	神経内科学講座	3,380,000	補	独立行政法人日本学術振興会
45	神経変性疾患におけるエクソソームを介した生体内プロテオスターシス維持機構の解明	永井 義隆	神経難病認知症探索治療学寄附講座	5,850,000	補	独立行政法人日本学術振興会
46	皮膚の恒常性維持機能における末梢血間葉系細胞の役割解明とその制御法開発	玉井 克人	再生誘導医学寄附講座	4,160,000	補	独立行政法人日本学術振興会
47	ARDSに対する最適換気法と腎血流への影響の検討	藤野 裕士	麻酔・集中治療医学講座	2,990,000	補	独立行政法人日本学術振興会
48	侵襲時再生治療の新たな展開：幹細胞移植と新規若返り因子・長寿ホルモン補充の有効性	小倉 裕司	救急医学講座	5,070,000	補	独立行政法人日本学術振興会
49	難治性腸管炎症における自然リンパ球を介した腸管粘膜免疫制御機構の解明	飯島 英樹	消化器内科学講座	2,990,000	補	独立行政法人日本学術振興会
50	遺伝学的形質に基づいた肝発癌モデルの樹立と個別化免疫療法の確立	巽 智秀	消化器内科学講座	5,460,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
51	オートファジーリサイクリングを標的とした生活习惯病に伴う慢性腎臓病治療法の開発	猪阪 善隆	腎臓内科学講座	5,460,000	補	独立行政法人日本学術振興会
52	がん放射線治療におけるDNA2本鎖切断修復機構選択の役割	瀬尾 雄二	放射線治療学講座	3,510,000	補	独立行政法人日本学術振興会
53	次世代型RNAバイオマーカーの基盤構築と臨床応用	石井 秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	5,720,000	補	独立行政法人日本学術振興会
54	腎細胞癌患者の組織・血液を用いた包括的病態解明による新規統合的治療戦略の創生	植村 元秀	泌尿器癌免疫治療学共同研究講座	4,420,000	補	独立行政法人日本学術振興会
55	神経変性疾患の核病態を新規の蛋白質の品質管理機構より明らかにする	津田 浩史	神経内科学講座	5,590,000	補	独立行政法人日本学術振興会
56	慢性炎症疾患におけるアラーミン・SASPを標的とした新規治療法の開発	中神 啓徳	健康発達医学寄附講座	6,500,000	補	独立行政法人日本学術振興会
57	生活習慣病とアルツハイマー病を同時に標的とする新規治療法の基盤構築	山本 浩一	老年・総合内科学講座	3,640,000	補	独立行政法人日本学術振興会
58	蛋白質構造多形から迫る疾患バイオマーカーの開発と新規治療薬の開発	望月 秀樹	神経内科学講座	6,370,000	補	独立行政法人日本学術振興会
59	難治性がんに対する放射線と免疫チェックポイント阻害剤併用による新規治療法の開発	小川 和彦	放射線治療学講座	5,070,000	補	独立行政法人日本学術振興会
60	肝臓における細胞死を起点とした細胞間コミュニケーションと病態形成	竹原 徹郎	消化器内科学講座	6,500,000	補	独立行政法人日本学術振興会
61	皮膚筋炎特異的自己抗原に対する免疫応答が皮膚筋炎の病態を形成する分子機序の解明	藤本 学	皮膚科学講座	5,980,000	補	独立行政法人日本学術振興会
62	アディポネクチンのエクソーム産生制御とFavineの血管・血栓制御機構の解明	下村 伊一郎	内分泌・代謝内科学講座	7,410,000	補	独立行政法人日本学術振興会
63	生体内組織形成術による管状自己組織を足場とした気管再生技術の開発	奥山 宏臣	小児成育外科学講座	7,410,000	補	独立行政法人日本学術振興会
64	エクソーム解析によるゲノムプロファイリングに基づいた乳癌個別化治療の開発	金 昇晋	乳腺・内分泌外科学講座	10,660,000	補	独立行政法人日本学術振興会
65	地域を網羅した大規模救急患者レジストリ分析による救急医療改善の新たな試み	嶋津 岳士	救急医学講座	10,010,000	補	独立行政法人日本学術振興会
66	細胞ホーミング特性に着目した心筋の自己組織化機構解明とバイオ人工心臓構築への応用	李 鍾國	先進心血管再生医学共同研究講座	9,880,000	補	独立行政法人日本学術振興会
67	TTC39B標的RNA医薬搭載肝特異的バイオナノカプセルによる脂肪肝炎治療薬開発	小閑 正博	循環器内科学講座	8,320,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
68	子宮頸部胃型腺癌の発生と進展に関するゲノム病理学的検討	前田 大地	先端ゲノム医療学共同研究講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
69	成人T細胞白血病のプロテオーム解析による病態と臨床標的分子の解明	本間 圭一郎	病態病理学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
70	ゲノム編集技術を難治性重症心不全治療へ応用する基盤技術整備	肥後 修一朗	重症心不全内科治療学寄附講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
71	ATP産生増強による新規心不全治療法開発に向けた心筋エネルギー代謝調節機構解明	木岡 秀隆	医化学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
72	エクソソームの定量プロテオミクスによる肺線維症における画期的バイオマーカー探索	平田 陽彦	呼吸器・免疫内科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
73	患者家系から発見した異常遺伝子配列を用いた家族性尿細管間質腎炎の分子病理学的研究	貝森 淳哉	先端移植基盤医療学寄附講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
74	軸索内リボソーム機能障害による翻訳能低下に基づくALS/FTLD病態の統合的理解	長野 清一	神経内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
75	糖尿病大血管症の非侵襲・簡便なリスク層別化システムの構築と効果的な予防法の探索	片上 直人	代謝血管学寄附講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
76	アディポネクチンの新たな作用機序およびイメージング手法による生理動態解明	前田 法一	代謝血管学寄附講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
77	血小板インテグリンシグナル機構の解明と血管病変形成に関する検討	柏木 浩和	血液・腫瘍内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
78	リンパ球の分化・増殖におけるアナモルシンの役割の解明	柴山 浩彦	血液・腫瘍内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
79	鉄過剰が免疫機能に及ぼす影響の解析	江副 幸子	血液・腫瘍内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
80	自閉症発症におけるPGD2を鍵とした慢性神経炎症とシナプス形成異常連関の解明	毛利 育子	小児発達神経学領域	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
81	原子間力顕微鏡を用いた中枢肺動脈のレオロジー解析による肺高血圧症の病態解明	成田 淳	小児科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
82	自己免疫性白斑に於けるT細胞アナジー破綻メカニズムの解明	種村 篤	皮膚科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
83	発汗と精神神経症状を統合するmTORの新規Ca2+チャネル調節機構の解明	金田 真理	皮膚科学講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
84	前立腺癌に対する超寡分割定位照射の確立に関する研究	鈴木 修	重粒子線治療学寄附講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
85	ポリアミン代謝に着目した子宮頸癌癌幹細胞の放射線抵抗性機序の解明	磯橋 文明	放射線治療学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
86	長期左心補助人工心臓使用下における弁機能・形態変化の多角的解析	秦 広樹	心臓血管外科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
87	ホルマリン固定組織へ応用可能な多重遺伝子発現解析に基づく乳癌の再発予測法の開発	直居 靖人	乳腺・内分泌外科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
88	肝胆膵領域癌の低酸素環境下における癌間質をターゲットとした新規治療法の開発	野田 剛広	消化器外科学2講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
89	胸部悪性腫瘍における腫瘍免疫抑制機構の解明とその臨床応用	舟木 壮一郎	呼吸器外科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
90	骨髓由来免疫抑制細胞に着目した脳梗塞における新規炎症制御メカニズムの解明	島村 宗尚	健康発達医学寄附講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
91	遺伝子／画像統合解析(Radiogenomics)による神経膠腫の画像分子診断	木下 学	脳神経外科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
92	ヒト嗅粘膜組織由来神経前駆細胞による脊髄損傷治療法の開発	大西 諭一郎	脳神経外科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
93	ウルトラファインパブルによる新規骨粗鬆症予防・治療法の開発	姥名 耕介	整形外科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
94	安静時fMRIを用いた膝関節全置換術後の遷延性術後痛発症を予測する手法の開発	松田 陽一	麻酔・集中治療医学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
95	腎癌組織培養由来エクソソームの網羅的タンパク質解析と新規血液バイオマーカーの同定	氏家 剛	泌尿器科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
96	臨床応用を目指した前立腺癌の発生・進展に対する環境因子の影響に関する研究	野々村 祝夫	泌尿器科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
97	抗CD70抗体を用いた臓器移植における次世代免疫抑制療法の開発	市丸 直嗣	先端移植基盤医療学寄附講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
98	卵巣癌に対するWT1特異的がん免疫療法の開発と抗腫瘍免疫担当細胞機能の質的解析	西田 純幸	呼吸器・免疫内科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
99	エクソソームによる情報伝達により制御される子宮内膜症発症機構の解明	橋本 香映	産科学婦人科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
100	小児悪性固形腫瘍に対する抗アポトーシスタンパクを標的とした分子標的治療の開発	上野 豪久	小児成育外科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
101	脂肪組織由来間葉系幹細胞を用いた末梢神経再生の質的向上の試み	富田 興一	形成外科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
102	高齢者糖尿病における高血糖の是正が骨格筋に及ぼす影響に関する多面的検討	杉本 研	老年・総合内科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
103	牛車腎気丸のパーキンソン病モデルを用いた神経保護効果の検証	馬場 孝輔	神経内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
104	生体内Forward genetic screenによる肝癌進展制御機構の解明	小玉 尚宏	消化器内科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
105	Bak/Bax活性化によるミトコンドリアDNA放出が慢性肝疾に与える影響の解明	疋田 隼人	消化器内科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
106	肝疾患病態における細胞内輸送に関連する分子機構の解析	阪森 亮太郎	消化器内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
107	インスリン分泌不全および抵抗性が膵発癌・進展機構に与える影響の解明	重川 稔	消化器内科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
108	慢性脊髄炎の新規自己抗体同定と病原性モノクローナル抗体作成の試み	奥野 龍楨	神経内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
109	脂肪細胞SDF-1の生理病態学的意義と肥満病態治療	福原 淳範	肥満脂肪病態学寄附講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
110	糖尿病治療を目指したヒト膀 α 細胞分化転換機構の解明・ARX阻害低分子化合物の探索	小澤 純二	内分泌・代謝内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
111	断片化抗CD3抗体による免疫調節と自己免疫疾患治療	水井 理之	腎臓内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
112	骨石灰化における局所リン産生機構の意義—ALPの重要性—	窪田 拓生	小児科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
113	ダウン症造血異常の責任遺伝子同定を目指した疾患iPS細胞ライブラリーの樹立	荒堀 仁美	小児科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
114	ビフィズス菌をプラットフォームとした経口がんワクチンの有効性の機序の解明	橋井 佳子	小児科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
115	幹細胞技術と遺伝子編集技術を組み合わせアルツハイマー病治療戦略を洗練させる	大河内 正康	精神医学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
116	統合失調症の中間表現型としての眼球運動のメカニズム解析	藤本 美智子	精神医学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
117	アルツハイマー病の新規発症分子メカニズムを解明する研究	森原 剛史	精神医学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
118	アルツハイマー病における脳内アミロイド沈着の早期発見と病態解明に向けた研究	吉山 顯次	精神医学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
119	医用画像ビッグデータ解析によるコンピュータ支援診断システム開発	堀 雅敏	放射線医学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
120	イメージングバイオマーカーとしての実効横緩和率の有用性および標準化に関する検討	大西 裕満	放射線医学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
121	内因性抗HER2自己抗体高値の乳癌患者において術後再発が抑制される免疫学的機序	下田 雅史	乳腺・内分泌外科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
122	次世代シーケンサーとデジタルPCRを用いた食道癌患者末梢血中ctDNAの検出	黒川 幸典	消化器外科学1講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
123	炎症性腸疾患関連癌の発癌関連性因子と生物学的特性解明のための基礎的検討	水島 恒和	消化器外科学1講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
124	Atg5非依存的オートファジー誘導活性化合物のマウス腸炎モデルに対する効果の検討	松田 宙	消化器外科学2講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
125	抗癌剤耐性誘導のメカニズム解明とエピゲノム変化をターゲットとした治療法の構築	江口 英利	消化器外科学2講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
126	靈長類視床痛モデルにおける中枢性疼痛メカニズムの解明	齋藤 洋一	脳神経機能再生学共同研究講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
127	白質刺激を用いたてんかん波伝播のメカニズム解析	押野 悟	脳神経外科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
128	脳内ネットワーク解析に基づく脳深部破壊効果の研究	谷 直樹	脳神経外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
129	ITグローバルネットワークを用いた術後膝人工関節動態ビッグデータ活用とその有用性	菅本 一臣	運動器バイオマテリアル学寄附講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
130	BMP誘導異所性骨化過程の生体内イメージング手法の確立	海渡 貴司	整形外科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
131	心不全患者の急性腎傷害の早期発見-新指標を用いての検討-	井口 直也	麻酔・集中治療医学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
132	PDE5阻害薬を用いた妊娠高血圧症候群の治療についての基礎的検討	富松 拓治	産科学婦人科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
133	トランスポンスクリーニングによる子宮平滑筋肉腫のドライバー遺伝子同定と機能解析	小玉 美智子	産科学婦人科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
134	メニエール病患者の内耳の内リンパ水腫の存在範囲を評価する検査法の開発	今井 貴夫	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
135	SEMA4D-TSLP相互作用に着目した好酸球性副鼻腔炎病態解明	前田 陽平	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
136	再発・転移頭頸部癌におけるMTVとHPV感染を指標とした予後予測モデルの構築	鈴木 基之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
137	新たな実験系を用いた視細胞死のメカニズムの解明とその阻止	辻川 元一	生体情報科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
138	リンパ管機能を応用した新規縦内障治療薬の探索	丸山 和一	視覚先端医学寄附講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
139	乳癌手術切除断端に対する生組織標本を用いた癌細胞の術中迅速診断の開発	多根井 智紀	乳腺・内分泌外科学講座	3,250,000	補	独立行政法人日本学術振興会
140	神経病理学的背景に基づいたアルツハイマー病関連因子の探索	竹屋 泰	老年・総合内科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
141	Leaky Gut syndromeを標的とした多発性硬化症病態の解明と治療開発	木下 允	神経内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
142	認知症の神経変性機序における異常蛋白質重合と炎症反応の関与	田中 稔久	精神医学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
143	α 線放出核種At-211の定位的脳内注入による難治性てんかんの治療	加藤 弘樹	核医学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
144	肺癌の組織診断および悪性度予測の為の人工知能（深層学習）システムの確立	梁川 雅弘	放射線医学講座	3,640,000	補	独立行政法人日本学術振興会
145	心筋線維芽細胞に着目した小児特発性心筋症の病態解明	石井 良	小児科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
146	先天性GPI欠損症に対する活性化葉酸療法の確立	富永 康仁	高次脳機能損傷学領域	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
147	小児・AYA世代がん患者の晚期合併症に対する先制医療開発	三善 陽子	小児科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
148	ナビゲーションシステムを用いた小児期発症てんかんに対する反復経頭蓋磁気刺激療法	下野 九理子	高次脳機能損傷学領域	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
149	片側発症一卵性双生児の網羅的ゲノム解析による胆道閉鎖症の遺伝的素因の解明	別所 一彦	小児科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
150	軟骨無形成症の患者集団と疾患特異的iPS細胞による肥満とインスリン抵抗性の検討	北岡 太一	小児科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
151	マイクロRNAを用いた複合癌免疫療法の開発	西田 尚弘	先進癌薬物療法開発学寄附講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
152	頻脈性および頻発性不整脈の心筋症病態形成解明に向けた表現型と遺伝型からの検討	大谷 朋仁	循環器内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
153	デスマゾーム関連心筋症の分子病態解明と治療標的の同定	彦惣 俊吾	重症心不全内科治療学寄附講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
154	左心不全に伴う肺高血圧、右心不全の発症・進展機序解明に基づく新たな治療戦略の確立	世良 英子	循環器内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
155	3D画像/バイオマーカーを用いたMitraClipによる左室逆リモデリングの検討	溝手 勇	循環器内科学講座	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
156	末梢血を用いたがん免疫療法の効果予測診断法の開発	岩堀 幸太	臨床腫瘍免疫学共同研究講座	3,510,000	補	独立行政法人日本学術振興会
157	リソームストレスとしての腎疾患の病態解明とそれに基づく治療薬の探索	高畠 義嗣	腎臓内科学講座	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
158	うつ血腎の内分泌的病態とその解除	濱野 高行	腎疾患臓器連関制御学寄附講座	2,860,000	補	独立行政法人日本学術振興会
159	HLAクラスII/ミスフォールド蛋白複合体抗体による慢性皮膚潰瘍の病態解明	荒瀬 規子	皮膚科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
160	血小板インテグリン活性化ダイナミクスを制御する分子機構の網羅的解析	加藤 恒	血液・腫瘍内科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
161	老化に伴う造血幹細胞のリンパ球産生機能低下を制御する方法の開発	横田 貴史	血液・腫瘍内科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
162	全身性エリテマトーデスに対するtype I IFNを標的とした新規治療法の開発	高松 漂太	呼吸器・免疫内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
163	肥満に伴う脂肪炎症でのマクロファージのリソーム関連分子myoferlinの機能	鷹見 洋一	老年・総合内科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
164	臍 α 細胞機能的多様性の同定とその病態生理学的解析	河盛 段	内分泌・代謝内科学講座	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
165	臍 β 細胞への分化転換効率化に向けた試み	松岡 孝昭	内分泌・代謝内科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
166	脂肪組織酸化ストレスと健康的脂肪組織肥大のSrebp1転写共役因子に着目した解析	奥野 陽亮	代謝血管学寄附講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
167	乳癌センチネルリンパ節におけるmicroRNA発現解析を用いた転移予測法の開発	三宅 智博	乳腺・内分泌外科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
168	ペプチド探索による腎移植後抗体関連型拒絶反応に対する新規バイオマーカーの確立	今村 亮一	泌尿器科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
169	食道癌に対する化学+免疫療法の新規併用療法の確立に向けたバイオマーカー探索研究	牧野 知紀	消化器外科学1講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
170	がん化学療法の精密医療の実現化	坂井 大介	先進癌薬物療法開発学寄附講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
171	Lgr5スプライシングバリエントに着目した大腸癌の新規治療開発のための基礎研究	高橋 秀和	消化器外科学2講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
172	難治性胆道癌における腫瘍進展メカニズムの解析に基づく集学的治療法の開発と評価	小林 省吾	消化器外科学1講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
173	急性呼吸不全において肺傷害の最小にする新しい人工呼吸法の開発	内山 昭則	麻酔・集中治療医学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
174	非侵襲脳活動計測を用いた一次運動野刺激の疼痛認知抑制機構の解明	細見 晃一	脳神経機能再生学共同研究講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
175	安静時functional MRIによる頸髄症の新規予後予測法の開発	武中 章太	整形外科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
176	体軸性脊椎関節炎に対する新規治療法の開発及び本邦での疾患関連遺伝子検索	富田 哲也	運動器バイオマテリアル学寄附講座	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
177	高リスク前立腺癌におけるフコシル化タンパクの解析及び革新的治療法の開発	藤田 和利	泌尿器科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
178	免疫チェックポイント阻害剤の奏効予測バイオマーク探索に向けた複合的アプローチ	加藤 大悟	泌尿器科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
179	夜間多尿動物モデルの確立と塩分負荷による膀胱求心性神経亢進の機構解明	竹澤 健太郎	泌尿器科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
180	網羅的遺伝子解析による精子成熟停止の新規機序解明と新規治療法の探索	福原 慎一郎	泌尿器科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
181	ラット腎移植モデルにおけるシリコンナノ粒子を用いた新規水素発生法の治療効果	阿部 豊文	泌尿器科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
182	患者由来のエクソソームを用いた卵巣がん新治療の可能性の検討	澤田 健二郎	産科学婦人科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
183	母体胎児間マイクロキメリズムを応用した胎児免疫対応誘導の開発	遠藤 誠之	産科学婦人科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
184	メチルコバラミンと生体吸収徐放性メッシュシートによる顔面神経再生の研究	佐藤 崇	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
185	慢性炎症性眼疾患における新規疾患バイオマーカーとしてのミトコンドリアDNA	橋田 徳康	眼科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
186	網膜内リモーデリング現象による緑内障再生治療法開発	松下 賢治	眼科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
187	生体適合性架橋剤を用いた水疱性角膜症治療法の開発	相馬 剛至	眼科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
188	2光子励起顕微鏡を用いた網膜および視神経疾患における眼球深部動態観察	臼井 審一	眼科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
189	自己集合性ペプチドを用いた硝子体再建術	坂口 裕和	眼科学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
190	バーチャルリアリティー機能を搭載した関節鏡ナビゲーションシステムの開発と臨床応用	岡 久仁洋	整形外科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
191	視覚障害原因疾患に対する人工視覚の電気刺激による視機能回復の検討	西田 健太郎	眼科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
192	ヒトiPS細胞を用いた血液脳関門モデルによる意識障害関連物質の探索	嶋津 岳士	救急医学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
193	核内アミノ酸による細胞制御機構の解明	森井 英一	病態病理学講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
194	質量分析イメージングを用いた α シヌクレインのプリオノイド化メカニズムの解明	永井 義隆	神経難病認知症探索治療学寄附講座	3,250,000	補	独立行政法人日本学術振興会
195	マイクロRNAモドミクスによる組織恒常性の把握と臨床応用	石井 秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	2,990,000	補	独立行政法人日本学術振興会
196	日本オリンピック代表選手コホートデータベースの構築による疫学研究	喜多村 祐里	環境医学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
197	non-AUG翻訳と細胞ストレス応答のパラダイムコンバージェンス	森 康治	精神医学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
198	難治性心筋症分子基盤に介入するアップストリーム治療法の開発	坂田 泰史	循環器内科学講座	3,120,000	補	独立行政法人日本学術振興会
199	慢性炎症疾患におけるバイセクト糖鎖の役割	中神 啓徳	健康発達医学寄附講座	3,120,000	補	独立行政法人日本学術振興会
200	単一細胞解析技術と革新的マウスモデルを用いた膵癌転移機構の解明	竹原 徹郎	消化器内科学講座	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
201	ACh感受性Kチャネルに対する新規心拍調節治療薬の開発のための変異解析基盤の構築	朝野 仁裕	医化学講座	2,860,000	補	独立行政法人日本学術振興会
202	レックリングハウゼン病由来筋線維芽細胞の機能解析とケロイド新治療法の開発	久保 盾貴	形成外科学講座	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
203	ナノレベルの線維配向性を有するスキヤフォールドを用いた新たな半月板治療の確立	下村 和範	整形外科学講座	7,280,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
204	タウ病理の脳内進展過程を標的とした認知症に対する新規診断・治療法の開発	武田 朱公	臨床遺伝子治療学(第一三共)寄附講座	5,460,000	補	独立行政法人日本学術振興会
205	前頭側頭型認知症に関連した異常RNAの分解経路の同定およびその破綻について	森 康治	精神医学講座	7,280,000	補	独立行政法人日本学術振興会
206	B型肝炎の病態における宿主遺伝子多型の関与についての検討	山田 涼子	消化器内科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
207	ヒト肺動脈内皮細胞・平滑筋細胞特異的マーカーの探索と疾患特異的iPS細胞への応用	石田 秀和	小児科学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
208	血管・脂肪組織由来分泌因子Favineの脂肪蓄積作用機序の解明と新たな機能探索	小林 祥子	代謝血管学寄附講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
209	ビッグデータから放射線抵抗性遺伝子プロファイルを同定する	玉利 廉介	放射線治療学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
210	肉腫肺転移を増大させる宿主因子の同定	竹中 聰	整形外科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
211	血管内皮幹細胞システムを基軸とした糖尿病網膜症および加齢黄斑変性症の病態解明	若林 卓	眼科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
212	細胞周期依存的放射線感受性の系統的解析	大谷 啓祐	放射線治療学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
213	多発胃癌発生予測因子としてのmicroRNAの有用性	林 義人	消化器内科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
214	好中球の活性化抑制を介したT細胞の腫瘍内浸潤促進による肺癌免疫療法感受性の制御	小山 正平	呼吸器・免疫内科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
215	ファブリー病治療における活性型 ビタミンDの可能性～オートファジーの観点から～	難波 優子	腎臓内科学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
216	PD患者髄液中 α Syn複合体解析による、エクソソームを介した凝集体伝播機構の解明	池中 建介	神経内科学講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
217	サンダルウッドオイルによる皮膚の嗅覚受容体を介した炎症制御機構の検討	越智 沙織	皮膚科学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
218	泌尿器科癌組織内における免疫状態の解明と新規治療標的因子の探索	河嶋 厚成	泌尿器科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
219	ヒトパピローマウイルス陽性中咽頭癌の新しいバイオマーカーの探索	武本 憲彦	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
220	舌下免疫療法におけるセマフォリン4Aを介したTh1/Th2制御の解明	端山 昌樹	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
221	経頭蓋磁気刺激による脳内メカニズムの解明	眞野 智生	脳神経機能再生学共同研究講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
222	重症心不全患者における代謝動態の解明および至適栄養療法の確立	坂本 陽子	統合医療学寄附講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
223	Akt持続活性による重症未熟児網膜症の進展機構	福嶋 葉子	眼科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
224	子宮体部類内膜癌におけるMELF patternの分子メカニズムに関する研究	田原 紳一郎	病態病理学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
225	難治性リンパ管異常における薬物治療効果予測因子の確立	堀 由美子	病態病理学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
226	腫瘍細胞浸潤の「動き」に立脚したがん進展メカニズムの解明	松井 崇浩	免疫細胞生物学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
227	癌におけるRNA修飾異常の解明とエピトランスクリプトーム治療の開発	三宅 浩太郎	呼吸器・免疫内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
228	iPS細胞と3次元共培養によるHPGDS経路のシナプス刈込と自閉症への関与の解析	橋 雅弥	小児発達神経学領域	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
229	骨形成不全症に対する骨カップリングを標的とした新規治療薬の開発	大幡 泰久	小児科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
230	TGF- β II型受容体機能欠損大腸癌における細胞死機構の解明	辻井 芳樹	消化器内科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
231	慢性腎臓病患者における石灰化ストレスマーカーの確立	坂口 悠介	腎疾患臓器連関制御学寄附講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
232	難治性血管炎におけるセマフォリン分子の病的意義と治療応用	西出 真之	呼吸器・免疫内科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
233	関節リウマチ患者における腸内細菌叢の解析	前田 悠一	呼吸器・免疫内科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
234	GPIアンカー特異的切断酵素；GPI-PLDの生理病態学的意義の解明	藤島 裕也	内分泌・代謝内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
235	熱中症性脳症におけるHMGB1の関与と病態の解明	島崎 淳也	救急医学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
236	思春期特発性側弯症患者の3D骨形態解析による椎体内骨密度左右差の可逆性の検討	牧野 孝洋	整形外科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
237	肋骨の骨・軟骨柱を用いた小児成長軟骨帯損傷に対する新規治療法開発	吉田 清志	整形外科学講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
238	補体を介した妊娠高血圧症候群の病態解明と新たな治療薬の開発	味村 和哉	産科学婦人科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
239	血管新生因子に着目した卵巣癌のペバシズマブ耐性機序とPAI-1阻害の有効性の検討	中塚 えりか	産科学婦人科学講座	2,600,000	補	独立行政法人日本学術振興会
240	人工核酸を用いたアンチセンスは卵巣明細胞癌のプラチナ耐性を改善する	中川 慧	産科学婦人科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
241	糖尿病性心筋症進展における酸化ステロール蓄積の影響の解明	岡田 健志	循環器内科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
242	卵巣癌化学療法における腫瘍細胞のホスファチジルセリン露出を介した免疫逃避機構	河野 まひる	産科学婦人科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
243	新規細胞外ミトコンドリア放出の分子メカニズムの解明	望月 秀樹	神経内科学講座	1,100,000	補	独立行政法人日本学術振興会
244	国際共同研究によるメカノバイオロジーを応用した細胞外小胞診断のための基盤構築	石井 秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	4,550,000	補	独立行政法人日本学術振興会
245	リピート結合分子をプローブとしたトリスクレオチドリピート病の化学生物学研究	中森 雅之	神経内科学講座	6,500,000	補	独立行政法人日本学術振興会
246	後期学齢期にある人工内耳装用児の心理・社会的発達に関する研究	太田 有美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
247	レセプトを活用した職域がん検診及びがん医療費の分析	喜多村 祐里	環境医学講座	195,000	補	独立行政法人日本学術振興会
248	新規核酸医薬を用いらアネキシンA4阻害による卵巣癌プラチナ耐性克服へのアプローチ	上田 豊	産科学婦人科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
249	新規核酸医薬を用いらアネキシンA4阻害による卵巣癌プラチナ耐性克服へのアプローチ	小林 栄仁	産科学婦人科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
250	運動習慣がパーキンソン病に与える影響：マルチモーダルイメージングを用いた解析	馬場 孝輔	神経内科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
251	補助人工心臓装着後の脳血管合併症に対する神経難病研究会再生治療の開発	戸田 宏一	心臓血管外科学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
252	補助人工心臓装着後の脳血管合併症に対する神経難病研究会再生治療の開発	吉川 泰司	心臓血管外科学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
253	補助人工心臓装着後の脳血管合併症に対する神経難病研究会再生治療の開発	秦 広樹	心臓血管外科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
254	コンテキスト・アウェアネスを活用した眼底画像からの血管解析法と病変検出法の開発	川崎 良	視覚情報制御学(トブコン)寄附講座	195,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
255	肺・肝以外の諸臓器における定位放射線治療の効果と安全性の評価	鈴木 修	重粒子線治療学寄附講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
256	脳内アミロイド β 排除による水頭症治療の可能性検証研究	貴島 晴彦	脳神経外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
257	脳内アミロイド β 排除による水頭症治療の可能性検証研究	渡邊 嘉之	次世代画像診断学共同研究講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
258	レピー小体型認知症の神経基盤に着目した運動能力評価方法の確立	池田 学	精神医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
259	学校管理下で起こる心臓突然死の予防に向けた市民AEDの普及と効果に関する研究	中田 研	スポーツ医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
260	学校管理下で起こる心臓突然死の予防に向けた市民AEDの普及と効果に関する研究	喜多村 祐里	環境医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
261	多様な生体制御機能を担うオキシトシン受容体研究の展開と新規アゴニスト解析系の樹立	木村 正	産科学婦人科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
262	脳可塑性変化からみる漢方薬の鎮痛メカニズムの解明	萩原 圭祐	先進融合医学共同研究講座	3,900	補	独立行政法人日本学術振興会
263	腎芽腫における術前画像リスク因子と血清遊離核酸による診断を用いた新規治療法の開発	奥山 宏臣	小児成育外科学講座	104,000	補	独立行政法人日本学術振興会
264	小児腹部手術周術期におけるグレリンの病態生理学的意義の検討と臨床応用に向けた研究	奥山 宏臣	小児成育外科学講座	455,000	補	独立行政法人日本学術振興会
265	核酸医薬とステントグラフトのハイブリッド治療による大動脈瘤進展抑制効果の検討	森下 竜一	臨床遺伝子治療学(第一三共)寄附講座	3,200,000	補	独立行政法人日本学術振興会
266	認知症介護者における介護ストレスと介護に対する意味付け	池田 学	精神医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
267	STAPアダプターモノクローナル抗体による免疫調節・腫瘍化シグナル制御機構の解明	一井 優子	血液・腫瘍内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
268	南九州における地域在住高齢者の抑うつに関する縦断的介入研究	池田 学	精神医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
269	シトルリン化ヒストンH3を標的とした重症病態の制御	竹川 良介	救急医学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
270	シトルリン化ヒストンH3を標的とした重症病態の制御	朝野 和典	感染制御学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
271	シトルリン化ヒストンH3を標的とした重症病態の制御	嶋津 岳士	救急医学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
272	シトルリン化ヒストンH3を標的とした重症病態の制御	小倉 裕司	救急医学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
273	医用材料の生体内劣化に対する臨床的対策の構築	菅野 伸彦	運動器医工学治療学寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
274	Warburg制御因子MPCによる早期脳転移機序の解明と応用	佐藤 太郎	先進癌薬物療法開発学寄附講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
275	Warburg制御因子MPCによる早期脳転移機序の解明と応用	坂井 大介	先進癌薬物療法開発学寄附講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
276	Warburg制御因子MPCによる早期脳転移機序の解明と応用	石井 秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
277	剖検心の網羅的遺伝子解析による心不全の新規バイオマーカー探索	前田 大地	先端ゲノム医療学共同研究講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
278	パーキンソン病の包括的ゲノム解析による遺伝背景解明と応用	永井 義隆	神経難病認知症探索治療学寄附講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
279	変形性膝関節症患者における大腿四頭筋の筋量分布と筋内脂肪	富田 哲也	運動器バイオマテリアル学寄附講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
280	膜融合能増強型標的化改変ヘルペスウイルスを用いたがん免疫療法の開発	土岐 祐一郎	消化器外科学2講座	1,365,000	補	独立行政法人日本学術振興会
281	行動・心理症状 (BPSD)に対する症候対応型認知症ケア技術の開発	池田 学	精神医学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
282	骨軟部腫瘍における診断マーカーの同定と腫瘍概念の再構築を目指した融合遺伝子の探索	吉川 秀樹	整形外科学講座	195,000	補	独立行政法人日本学術振興会
283	地域基幹病院と連携した出産・産後ケアの支援ネットワーク構築のための人類学的試み	遠藤 誠之	産科学婦人科学講座	325,000	補	独立行政法人日本学術振興会
284	サルコペニア合併高齢者糖尿病に対する運動強度別介入が骨格筋指標に与える影響の解明	杉本 研	老年・総合内科学講座	195,000	補	独立行政法人日本学術振興会
285	前頭側頭型認知症の異常蛋白沈着と神経変性機序の解明に関する研究	田中 稔久	精神医学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
286	前頭側頭型認知症の異常蛋白沈着と神経変性機序の解明に関する研究	森 康治	精神医学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
287	アジア太平洋地域における膜性腎症の診断・治療・疫学に関する調査研究	猪阪 善隆	腎臓内科学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
288	多元計算解剖学における機能情報統合の基盤技術	堀 雅敏	放射線医学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
289	多元計算解剖学における機能情報統合の基盤技術	菅野 伸彦	運動器医工学治療学寄附講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
290	CT画像からの筋線維走行分布の推定と線維走行統計モデルの構築	菅野 伸彦	運動器医工学治療学寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
291	院外心停止例の救命に寄与する要因の多面的分析と治療ストラテジの構築に関する研究	嶋津 岳士	救急医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
292	症状-バイオマーカー-薬理プロファイルから考える新たなせん妄薬物療法に関する検討	武田 朱公	臨床遺伝子治療学(第一三共)寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
293	腎臓リハビリテーションにおける運動継続サポートシステムの開発と有効性評価	猪阪 善隆	腎臓内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
294	僧帽弁狭窄に対するステントレス僧帽弁置換術の安全性と有効性の評価:多施設共同研究	澤 芳樹	心臓血管外科学講座	13,000	補	独立行政法人日本学術振興会
295	認知症高齢者の摂食嚥下障害に対する原因疾患別予防プログラムの多職種共同開発	池田 学	精神医学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
296	キラルアミノ酸メタボロミクスを基盤とする腎不全の低侵襲早期診断法開発	猪阪 善隆	腎臓内科学講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
297	地域基幹病院と連携した出産・産後ケアの支援ネットワーク構築のための人類学的試み	木村 正	産科学婦人科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
298	脂肪のおいしさとストレスが引き起こす過食の分子生物学的機序の解明と制御	佐々木 勉	神経内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
299	肺血症性脳症の非侵襲計測と分子病態の統合解析による積極的治療介入の再考察	小倉 裕司	救急医学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
300	関連遺伝子群のゲノミクス解析による間質性膀胱炎の病態解明	前田 大地	先端ゲノム医学共同研究講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
301	キネマティクスによる変形性関節症発生機序の解明と治療デバイス開発	富田 哲也	運動器バイオマテリアル学寄附講座	13,000	補	独立行政法人日本学術振興会
302	発達科学と神経科学の融合によるヒト発達的中間表現型のシステム開発	谷池 雅子	小児発達神経学領域	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
303	術後遷延性疼痛における脳内マクロファージの役割の解明	久保 盾貴	形成外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
304	成長期における頭蓋頸顎面骨に及ぼすレチノイン酸の役割の解析	富田 興一	形成外科学講座	91,000	補	独立行政法人日本学術振興会
305	オキシム誘導体ナノパーティクルによる心筋再生効果の検討	秦 広樹	心臓血管外科学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
306	ベンゾジアゼピンによる感染症予後悪化機構の解明	藤野 裕士	麻酔・集中治療 医学講座	130,000	補 独立行政法人日本学術振興会
307	遺伝子転写因子CRTC1欠損による雌性マウスの肥満誘導機構の解明	佐々木 勉	神経内科学講座	260,000	補 独立行政法人日本学術振興会
308	ヘッドマウントディスプレイを用いた視知覚矯正・補助フレームワークの構築	森本 壮	感覚機能形成学 講座	780,000	補 独立行政法人日本学術振興会
309	脳磁気刺激の在宅利用を目指した磁場発生コイルの開発	齋藤 洋一	脳神経機能再生 学共同研究講座	650,000	補 独立行政法人日本学術振興会
310	包括的統合的アプローチによる日本人早期肺癌の高精度診断の具現化	土岐 祐一郎	消化器外科学2 講座	12,526,772	補 独立行政法人日本学術振興会
311	包括的統合的アプローチによる日本人早期肺癌の高精度診断の具現化	石井 秀始	疾患データサイ エンス学共同研 究講座	2,077,509	補 独立行政法人日本学術振興会
312	人間力活性化によるスーパー日本人の育成と産業競争力の増進（医学系研究科・熊ノ郷）	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫 内科学	14,300,000	委 国立研究開発法人科学技術振興機構
313	人間力活性化によるスーパー日本人の育成と産業競争力の増進（連合小児・谷池）	谷池 雅子	こころの発達 神経科学（小 児発達神経 学）	25,740,000	委 国立研究開発法人科学技術振興機構
314	人間力活性化によるスーパー日本人の育成と産業競争力の増進（医学系研究科・西田）	西田 幸二	眼科学	18,200,000	委 国立研究開発法人科学技術振興機構
315	人間力活性化によるスーパー日本人の育成と産業競争力の増進（医学系研究科・今村）	今村 亮一	泌尿器科学	20,930,000	委 国立研究開発法人科学技術振興機構
316	生体内ATP産生の可視化と制御機構の解明	朝野 仁裕	循環器内科学	1,300,000	委 国立研究開発法人科学技術振興機構
317	1細胞計測システムを用いた癌や免疫細胞特性の非侵襲的計測方法の確立	高松 漂太	呼吸器・免疫内 科学講座	15,600,000	委 国立研究開発法人科学技術振興機構
318	シヌクレイン細胞間伝搬機構の解明	池中 建介	神経内科学	5,200,000	委 国立研究開発法人科学技術振興機構
319	RANKL/RANKシグナルをターゲットにした炎症制御による新規脳梗塞治療法の開発	島村 宗尚	健康発達医学	27,300,000	委 国立研究開発法人科学技術振興機構
320	関節炎の薬剤応答性のデータの取得と構造化法の開発	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫 内科学	7,700,000	委 国立研究開発法人理化学研究所
321	エクソソームの生体内ダイナミクスの解明	望月 秀樹	神経内科学	9,100,000	委 国立研究開発法人科学技術振興機構
322	皮質脳波計測の総括とrBCIの検証	貴島 晴彦	脳神経外科学	1,300,000	委 国立研究開発法人科学技術振興機構

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
323	三次元異方性カスタマイズ化設計・付加製造拠点の構築と地域実証	吉川 秀樹	整形外科学	2,843,810	委	NEDO
324	ジャパン・スポーツ・サイバーフィジカルシステム (JS-CPS) 構築研究事業拠点	中田 研	スポーツ医学	40,731,000	委	スポーツ庁
325	革新的遠隔管理型心臓リハビリテーションシステムの研究開発	坂田 泰史	循環器内科学	5,198,864	委	総務省
326	スポーツ・ヘルスツーリズム体験に向けたヘルスケア研究	中田 研	スポーツ医学	3,000,000	委	(一社)東大阪ツーリズム振興機構
327	糖尿病黄斑浮腫に対するラニビズマブ硝子体投与後の予後因子の解析における統計解析	川崎 良	視覚情報制御学(トブコン)寄附講座	1,970,000	委	国立大学法人京都大学
328	世界をリードする次世代MD研究者・育成プロジェクト	和佐 勝史	医学科教育センター	5,000,000	委	東京大学
329	微粒子腫瘍マーカとリアルタイム3次元透視を融合した次世代高精度粒子線治療技術の開発	小川 和彦	放射線治療学	15,416,000	補	日本医療研究開発機構
330	立体造形による機能的な生体組織製造技術の開発/細胞を用いた機能的な立体組織および立体臓器作製技術の研究開発/高機能足場素材とバイオ3Dプリンタを用いた再生組織・臓器の製造技術の開発	前 達雄	整形外科学	2,496,000	補	日本医療研究開発機構
331	がん特異的アミノ酸輸送体阻害作用を有する抗がん剤の臨床POC取得	竹原 徹郎	消化器内科学	103,210,000	補	日本医療研究開発機構
332	骨髓間葉系幹細胞動員活性に基づく表皮水疱症治療薬開発	玉井 克人	再生誘導医学寄附講座	85,000,000	補	日本医療研究開発機構
333	グレリン投与による高度侵襲手術の安全性の向上を目指した新規医薬品の開発	土岐 祐一郎	消化器外科学	33,561,320	補	日本医療研究開発機構
334	iPS細胞を用いた角膜再生治療法の開発	西田 幸二	眼科学	255,048,650	補	日本医療研究開発機構
335	iPS細胞を用いた心筋再生治療創成拠点	澤 芳樹	心臓血管外科(1外)	356,000,000	補	日本医療研究開発機構
336	iPS細胞由来軟骨細胞を用いた軟骨疾患再生治療法の開発拠点	吉川 秀樹	整形外科学	20,000,000	補	日本医療研究開発機構
337	難治性心筋症疾患特異的iPS細胞を用いた集学的創薬スクリーニングシステムの開発と実践	宮川 繁	最先端再生医学共同研究講座	67,548,900	補	日本医療研究開発機構
338	タウ蛋白を標的とした抗体産生を誘導する認知症ワクチンの開発	中神 啓徳	健康発達医学講座	10,000,100	補	日本医療研究開発機構
339	順行性遺伝学とオミックスを用いたNASH由来肝がん発症・進展機構の解明	小玉 尚宏	消化器内科学	9,500,000	補	日本医療研究開発機構

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
340	C型肝炎ウイルス感染モデル及び臨床情報・試料を用いたウイルス排除後の病態に関する研究	竹原 徹郎	消化器内科学	45,125,000	補	日本医療研究開発機構
341	B型肝炎ウイルス持続感染モデルを用いた病態解明及び創薬研究	竹原 徹郎	消化器内科学	190,000,000	補	日本医療研究開発機構
342	シヌクレイン抑制AmNA核酸によるパーキンソン病の治療研究	望月 秀樹	神経内科学	23,400,000	補	日本医療研究開発機構
343	重症心筋症患者の生命予後改善・人工心臓離脱を目指した新規オキシム誘導体徐放性製剤による体内誘導型再生治療法の開発と実践	宮川 繁	最先端再生医学共同研究講座	5,850,000	補	日本医療研究開発機構
344	難治性心筋症疾患特異的iPS細胞を用いた集学的創薬スクリーニングシステムの開発と実践（若手研究者登用費）	坂田 泰史	循環器内科学	5,400,000	補	日本医療研究開発機構
345	糖尿病MCI患者のアルツハイマー病移行を抑止する糖尿病治療法の検討	池田 学	精神医学	15,000,000	補	日本医療研究開発機構
346	シート型ワイヤレス子宮筋電センサを用いた、早産および常位胎盤期剥離の早期・鑑別診断法の開発～新生児脳障害の減少を目指して～	木村 正	産科学婦人科学	17,000,000	補	日本医療研究開発機構
347	アミロイド β を切断・放出する仕組みの解明と診断治療法開発への応用	大河内 正康	精神医学	19,691,100	補	日本医療研究開発機構
348	前頭側頭型認知症の動物モデルを用いた候補治療薬の開発	永井 義隆	神経難病認知症探索治療学寄附講座	16,479,540	補	日本医療研究開発機構
349	遺伝性斜脈性難病 (Kir3.1/3.4 channelopathy)に対するコンパニオン診断の確立および心臓アセチルコリン感受性カリウムチャネル選択的阻害薬による新規治療法開発	朝野 仁裕	循環器内科学	9,880,000	補	日本医療研究開発機構
350	B型肝炎ウイルスの感染複製増殖機構解明による創薬基盤形成に関する研究	疋田 隼人	消化器内科学	4,030,000	補	日本医療研究開発機構
351	プリオノイド蛋白質の凝集・伝播を標的とした神経コンフォメーション病の分子標的治療薬・バイオマーカーの開発	永井 義隆	神経難病認知症探索治療学寄附講座	27,690,000	補	日本医療研究開発機構
352	高齢腹膜透析患者の生活活動性を高めるための地域連携システムの構築と普及のための対策	猪阪 善隆	腎臓内科学	9,000,000	補	日本医療研究開発機構
353	iPS心筋等をモデルとした再生医療等製品の製造管理及び品質管理として実施する日局マイコプラズマ否定試験の効率化・省力化システムに関する研究開発	宮川 繁	最先端再生医学共同研究講座	46,763,600	補	日本医療研究開発機構
354	乳児急性リンパ性白血病に対する国際共同第III相試験に向けた多施設共同臨床試験による新規治療戦略の確立研究	宮村 能子	小児科学	19,466,200	補	日本医療研究開発機構
355	膠様滴状角膜ジストロフィに対する低分子治療薬の創出に関する研究	川崎 諭	眼免疫再生医学共同研究講座	15,600,000	補	日本医療研究開発機構
356	シヌクレイン抑制AmNA核酸によるパーキンソン病の治療研究	望月 秀樹	神経内科学	180,980,000	補	日本医療研究開発機構

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
357	在宅医療における再入院を阻止する革新的ICT遠隔モニタリング環境の構築	宮川 繁	最先端再生医学共同研究講座	7,000,000	補	日本医療研究開発機構
358	iPS細胞由来角膜上皮細胞シートのfirst-in-human 臨床研究	西田 幸二	眼科学	143,332,150	補	日本医療研究開発機構
359	先天性横隔膜ヘルニアにおける最適な人工換気法・手術時期・手術方法	奥山 宏臣	小児育成外科学	8,320,000	補	日本医療研究開発機構
360	腸内微生物叢の宿主共生と宿主相互作用機構の解明	飯島 英樹	消化器内科学	8,450,000	補	日本医療研究開発機構
361	医歯工連携によるユーザーフレンドリーなメタボロミクス技術の開発ならびに生活習慣病研究への応用	下村 伊一郎	内分泌・代謝内科学	16,887,000	補	日本医療研究開発機構
362	表皮水疱症患者を対象とした他家骨髓間葉系幹細胞製品開発	玉井 克人	再生誘導医学寄附講座	80,000,000	補	日本医療研究開発機構
363	脊椎関節炎を標的としたIL-17A ワクチンの開発	富田 哲也	運動器バイオマテリアル学寄附講座	31,200,000	補	日本医療研究開発機構
364	新規ATG非依存性RAN翻訳を標的としたノンコードィングリピート病の治療法開発	永井 義隆	神経難病認知症探査受治療寄附講座	24,765,000	補	日本医療研究開発機構
365	神経保護因子Necdinの発現上昇による筋萎縮性側索硬化症の新規治療法の創出	望月 秀樹	神経内科学	31,200,000	補	日本医療研究開発機構
366	薬事申請をめざした治療法のない神経線維腫症1型の皮膚腫瘍に対する有効で安全な局所大量投与療法薬開発のための医師主導治験	金田 真理	皮膚科学	75,399,999	補	日本医療研究開発機構
367	心筋症における心筋病理細胞核評価による臨床病態層別化指標の開発	坂田 泰史	循環器内科学	15,600,000	補	日本医療研究開発機構
368	脊髄損傷後疼痛の発症にかかわる中枢神経系の機能的・構造的变化の探索	貴島 晴彦	脳神経外科学講座	7,150,000	補	日本医療研究開発機構
369	神経画像検査法を用いた中枢性脳卒中後疼痛の客観的指標の探索と革新的非侵襲脳刺激療法の開発	細見 晃一	脳神経機能再生学	5,720,000	補	日本医療研究開発機構
370	好中球活性化制御因子を標的としたANCA関連血管炎の病態解明と治療法の開発	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫内科学	31,200,000	補	日本医療研究開発機構
371	重症心筋症に対するヒトiPS細胞由来心筋細胞シート移植による治療法の開発	澤 芳樹	心臓血管外科学	70,666,095	補	日本医療研究開発機構
372	肝細胞増殖因子 (HGF) による筋萎縮性側索硬化症 (ALS) の画期的治療法開発	望月 秀樹	神経内科学	21,599,315	補	日本医療研究開発機構
373	免疫細胞動態・分化・代謝制御による抗腫瘍免疫微小環境の最適化	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫内科学	15,000,000	補	日本医療研究開発機構

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
374	アルツハイマー病に対する医療費削減を目指した在宅型非侵襲脳刺激療法の探索的臨床研究	眞野 智生	脳神経機能再生学共同研究講座	39,000,000	補	日本医療研究開発機構
375	心臓アセチルコリン感受性カリウムチャネル選択性阻害薬による遺伝性徐脈性難病(KACHチャネロバチー)に対する新規治療法の創出を目指す開発研究	朝野 仁裕	循環器内科学	68,380,000	補	日本医療研究開発機構
376	新規合成ペプチドによる脳梗塞における炎症制御療法の開発	島村 宗尚	健康発達医学寄附講座	65,000,000	補	日本医療研究開発機構
377	脂質代謝を標的とした新規癌治療法の開発	木村 正	産科学婦人科学	3,900,000	補	日本医療研究開発機構
378	がん不均一性を個体レベルでモデル化したハイスクープットスクリーニング系による肝がん分子標的薬効果予測バイオマーカー探索と耐性化機構の解明	小玉 尚宏	消化器内科学	15,000,000	補	日本医療研究開発機構
379	ファブリー病および拡張型心筋症に対する心臓標的AAVベクターによる遺伝子治療法の開発	朝野 仁裕	循環器内科学	23,400,000	補	日本医療研究開発機構
380	重症劣性栄養障害型表皮水疱症に対する非侵襲性かつ高効率な間葉系幹細胞遺伝子治療法の開発	玉井 克人	再生誘導医学寄附講座	31,200,000	補	日本医療研究開発機構
381	iPS再生組織・細胞移植における拒絶反応の免疫指標の確立と、誘導性抑制性T細胞を用いた再生組織の長期生着・免疫寛容の誘導	宮川 繁	最先端再生医学共同研究講座	9,100,000	補	日本医療研究開発機構
382	iPS細胞等幹細胞の高効率な継代作業を実現した3次元大量継代培養自動化技術の実用化開発	澤 芳樹	心臓血管外科	4,030,000	補	中小企業庁
383	網羅的遺伝子解析技術を利用した細胞治療用間葉系幹細胞集積・採取技術および再生誘導医薬評価系の開発	玉井 克人	再生誘導医学寄附講座	6,464,250	補	厚生労働省
384	医薬品等審査迅速化事業(革新的医療機器等国際標準獲得推進事業)	澤 芳樹	心臓血管外科	33,000,000	補	厚生労働省
385	生命医科学の社会実装を推進する卓越人材の涵養	森井 英一	病態病理学講座	114,000,000	補	文部科学省
386	実践的手術手技向上研修実施機関設備整備事業	土岐 祐一郎	消化器外科学	14,811,000	補	厚生労働省

計386件 4,347,182,811

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入す

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Dohi T, Schmidt A, Scheinert D, et al.	循環器内科	Drug-Coated Balloon Angioplasty in Atherosclerosis Patients With Popliteal Artery Involvement.	J Endovasc Ther. 2018 Oct;25(5):581-587.	Original Article
2	Kuramoto Y, Naito AT, Tojo H, et al.	循環器内科	Generation of Fabry cardiomyopathy model for drug screening using induced pluripotent stem cell-derived cardiomyocytes from a female Fabry patient.	J Mol Cell Cardiol. 2018 Aug;121:256-265.	Original Article
3	Chimura M, Ohtani T, Tsukamoto Y, et al.	循環器内科	Ratio of pulmonary artery diameter to ascending aortic diameter and severity of heart failure.	J Heart Lung Transplant. 2018 Nov;37(11):1341-1350.	Original Article
4	Yokoi K, Shiraki T, Mizote I, et al.	循環器内科	Differences in Guiding Catheter Positions According to Left and Right Radial Approaches.	JACC Cardiovasc Interv. 2018 Oct 22;11(20):e163-e165.	Others
5	Suwa Y, Higo S, Nakamoto K, et al	循環器内科	Old-Age Onset Progressive Cardiac Contractile Dysfunction in a Patient with Polycystic Kidney Disease Harboring a PKD1 Frameshift Mutation	Int Heart J. 2019 Jan 25;60(1):220-225	Case report
6	Ohama T, Kawase R, Sakata Y, et al.	循環器内科	Methods for Studying the Function of Progranulin in Atherosclerosis Using Both Knockout Mice Models and In Vitro Studies.	Methods Mol Biol. 2018 Jun;1806:315-328	Others
7	Sakai T, Naito AT, Kuramoto Y, et al.	循環器内科	Phenotypic Screening Using Patient-Derived Induced Pluripotent Stem Cells Identified Pyr3 as a Candidate Compound for the Treatment of Infantile Hypertrophic Cardiomyopathy	Int Heart J. 2018 Sep 26;59(5):1096-1105	Original Article
8	Shiba M, Sugano Y, Ikeda Y, et al.	循環器内科	Presence of increased inflammatory infiltrates accompanied by activated dendritic cells in the left atrium in rheumatic heart disease.	PLoS One. 2018 Sep 27;13(9):e0203756(オンライン)	Original Article
9	Asano Y	循環器内科	How to Eliminate Uncertainty in Clinical Medicine - Clues from Creation of Mathematical Models Followed by Scientific Data Mining	EBioMedicine. 2018 Aug;34:12-13	Review
10	Matsumoto A, Matsui I, Mori T, et al.	腎臓内科	Severe Osteomalacia with Dent Disease Caused by a Novel Intronic Mutation of the CLCN5 gene.	Intern Med. 2018 Dec; 57(24): 3603-3610	Case report
11	Hamano T.	腎臓内科	Mineral and bone disorders in conventional hemodialysis: Challenges and solutions.	Semin Dial. 2018 Nov; 31(6): 592-598	Review
12	Sakaguchi Y, Hamano T, Isaka Y, et al.	腎臓内科	Magnesium and Progression of Chronic Kidney Disease: Benefits beyond Cardiovascular Protection?	Advances in Chronic Kidney Disease 2018 May; 25(3): 274-280	Review
13	Hamano T.	腎臓内科	Vitamin D and renal outcome: the fourth outcome of CKD-MBD? Oshima Award Address 2015.	Clin Exp Nephrol. 2018 Apr; 22(2): 249-256	Review
14	Atsushi Hesaka, Shinsuke Sakai, Kenji Hamase, et al	腎臓内科	D-Serine reflects kidney function and diseases	Sci Rep. 2019 Mar 25;9(1):5104	Original Article
15	Inoue K, Gan G, Ciarleglio M, et al.	腎臓内科	Podocyte histone deacetylase activity regulates murine and human glomerular diseases	J Clin Invest. 2019 Mar 1;129(3):1295-1313	Original Article
16	Yasuda, Kitagawa, Kawakami et al.	腎臓内科	Satb1 regulates the effector program of encephalitogenic tissue Th17 cells in chronic Inflammation.	Nat Commun. 2019 Feb 1;10(1):549.	Review
17	Hayashi Y, Iijima H, Isohashi F, et al.	消化器内科	The heart's exposure to radiation increases the risk of cardiac toxicity after chemoradiotherapy for superficial esophageal cancer: a retrospective cohort study.	BMC Cancer. 2019 Mar 4;19(1):195.	Original Article
18	Inoue T, Iijima H, Yamada T, et al.	消化器内科	A prospective multicenter observational study evaluating the risk of periendoscopic events in patients using anticoagulants: the Osaka GIANT Study.	Endosc Int Open. 2019 Feb;7(2):E104-E114.	Original Article

19	Tsuji Y, Yamasaki M, Hayashi Y, et al.	消化器内科	Thoracoscopic and endoscopic cooperative surgery (TECS): a novel less invasive technique for resection of gastric tube cancer after esophagectomy.	Endoscop. 2019 Jan;51(1):E5-E6.	Case report
20	Kato M, Hayashi Y, Takehara T.	消化器内科	Valsalva maneuver to visualize the closed hypopharyngeal space during transoral endoscopy using a novel dedicated mouthpiece.	Dig Endosc. 2019 Jan;31(1):e24-e25.	Case report
21	Suda T, Tatsumi T, Nishio A, et al.	消化器内科	CEACAM1 Is Associated With the Suppression of Natural Killer Cell Function in Patients With Chronic Hepatitis C.	Hepatol Commun. 2018 Sep 25;2(10):1247-1258.	Original Article
22	Yoshii S, Akasaka T, Hayashi Y, et al.	消化器内科	“Underwater” endoscopic submucosal dissection: a novel method for resection in saline with a bipolar needle knife for colorectal epithelial neoplasia.	Surg Endosc. 2018 Dec;32(12):5031-5036.	Original Article
23	Takehara T, Sakamoto N, Nishiguchi S, et al.	消化器内科	Efficacy and safety of sofosbuvir-velpatasvir with or without ribavirin in HCV-infected Japanese patients with decompensated cirrhosis: an open-label phase 3 trial.	J Gastroenterol. 2019 Jan;54(1):87-95.	Original Article
24	Tahata Y, Sakamori R, Urabe A, et al.	消化器内科	Liver Fibrosis Is Associated With Corrected QT Prolongation During Ledipasvir/Sofosbuvir Treatment for Patients With Chronic Hepatitis C.	Hepatol Commun. 2018 Aug 6;2(8):884-892.	Original Article
25	Doi A, Hikita H, Sakamori R, et al.	消化器内科	Nonstructural protein 5A/P32 deletion after failure of ledipasvir/sofosbuvir in hepatitis C virus genotype 1b infection.	Hepatology. 2018 Jul;68(1):380-383.	Case report
26	Omori K, Katakami N, Yamamoto Y, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Identification of metabolites associated with onset of CAD in diabetic patients using CE-MS analysis: A Pilot Study.	J Atheroscler Thromb. 2019 Mar 1;26(3):233-245	Original Article
27	Tokunaga A, Imagawa A, Nishio H, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Diffusion-weighted magnetic resonance imaging in the pancreas of fulminant type 1 diabetes	Diabetol Int. 2018 Apr 12;9(4):257-265	Original Article
28	Fujita Y, Kozawa J, Iwahashi H, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Human pancreatic alpha-to beta-cell area ratio increases after type 2 diabetes onset	J Diabetes Investig. 2018 Nov;9(6):1270-1282	Original Article
29	Motoda S, Shiraki N, Ishihara T, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Predictors of postoperative bleeding after vitrectomy for vitreous hemorrhage in patients with diabetic retinopathy.	J Diabetes Investig. 2018 Jul;9(4):940-945	Original Article
30	Motoda S, Fujita S, Kozawa J, Kimura T, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Case of a novel PAX6 mutation with aniridia and insulin-dependent diabetes mellitus.	J Diabetes Investig. 2019 Mar;10(2):552-553	Case report
31	Baden MY, Imagawa A, Abiru N, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Characteristics and clinical course of type 1 diabetes mellitus related to anti-programmed cell death-1 therapy.	Diabetol Int. 2018 Jul 3;10(1):58-66	Original Article
32	Ishibashi C, Kozawa J, Fujita Y, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Glucose Intolerance After Pancreatectomy was Associated With Preoperative Hemoglobin A1c, Insulin Resistance, and Histological Pancreatic Fatty Infiltration	Pancreas. 2018 Sep;47(8):e48-e50	Original Article
33	Nagao H, Nishizawa H, Tanaka Y, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Hypoxanthine secretion from human adipose tissue and its increase in hypoxia.	Obesity (Silver Spring). 2018 Jul; 26: 1168-78	Original Article
34	Obata Y, Kita S, Koyama Y, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Adiponectin/T-cadherin system enhances exosome biogenesis and decreases cellular ceramides by exosomal release.	JCI Insight. 2018 Apr (オンライン)	Original Article
35	Tanaka Y, Kita S, Nishizawa H, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Adiponectin promotes muscle regeneration through binding to T-cadherin.	Scientific Reports. 2019 Jan; 9: 16	Original Article
36	Masuda S, Fujishima Y, Maeda N, et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Impact of glycosylphosphatidylinositol-specific phospholipase D on hepatic diacylglycerol accumulation, steatosis, and insulin resistance in diet-induced obesity.	Am J Physiol Endocrinol Metab. 2019 Feb (オンライン)	Original Article
37	Yosuke Okuno, Atsunori Fukuhara, Erika Hashimoto et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Oxidative Stress Inhibits Healthy Adipose Expansion Through Suppression of SREBF1-Mediated Lipogenic Pathway.	Diabetes. 2018 Jun;67(6):1113-1127	Original Article
38	Shigeki Nishitani, Atsunori Fukuhara, Jihoon Shin et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Metabolomic and microarray analyses of adipose tissue of dapagliflozin-treated mice, and effects of 3-hydroxybutyrate on induction of adiponectin in adipocytes.	Sci Rep. 2018 Jun 11;8(1):8805	Original Article

39	Daisuke Tamada, Tetsuhiro Kitamura, Mitsuyoshi Takahara et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	TSH ratio as a novel diagnostic method for Cushing's syndrome.	Endocr J. 2018 Aug 27;65(8):841-848	Original Article
40	Tomoaki Hayakawa, Tomomi Minemura, Toshiharu Onodera et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Impact of MR on mature adipocytes in high-fat/high-sucrose diet-induced obesity.	J Endocrinol. 2018 Oct 1;229(1):63-71	Original Article
41	Tomoaki Hayakawa, Tetsuhiro Kitamura, Daisuke Tamada et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Evaluation of Hypothalamic-Pituitary-Adrenal Axis by the GHRP2 Test: Comparison With the Insulin Tolerance Test.	J Endocr Soc. 2018 Jun 26;2(8):860-869	Original Article
42	Shigeki Nishitani, Atsunori Fukuhara, Yasutaka Jinno et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Metabolomic Analysis of Diet-Induced Obese Mice Supplemented with Eicosapentaenoic Acid.	Exp Clin Endocrinol Diabetes. 2018 Dec 10	Original Article
43	Reiko Hayashi, Yosuke Okuno, Kosuke Mukai et al.	糖尿病・内分泌・代謝内科	Adipocyte GR Inhibits Healthy Adipose Expansion Through Multiple Mechanisms in Cushing Syndrome.	Endocrinology. 2019 Mar 1;160(3):504-521	Original Article
44	Osa A, Uenami T, Koyama S他	呼吸器内科	Clinical implications of monitoring nivolumab immunokinetics in non-small cell lung cancer patients	JCI Insight. 2018 Oct 4;3(19). pii: 59125. doi: 10.1172/jci.insight.59125	Original Article
45	Kinehara Y, Nagatomo I, Koyama S他	呼吸器内科	Semaphorin 7A promotes EGFR-TKI resistance in EGFR mutant lung adenocarcinoma cells.	JCI Insight. 2018 Dec 20;3(24). pii: 123093. doi: 10.1172/jci.insight.123093	Original Article
46	Kanakura Y, Shirasugi Y, Yamaguchi H, et al.	血液・腫瘍内科	A phase 3b, multicenter, open-label extension study of the long-term safety of anagrelide in Japanese adults with essential thrombocythemia.	Int J Hematol. 2018 Nov; 108(5):491-498	Original Article
47	Ueda Y, Obara N, Yonemura Y, et al.	血液・腫瘍内科	Effects of eculizumab treatment on quality of life in patients with paroxysmal nocturnal hemoglobinuria in Japan.	Int J Hematol. 2018 Jun; 107:656-665	Original Article
48	Doi Y, Yokota T, Satoh Y, et al.	血液・腫瘍内科	Variable SATB1 Levels Regulate Hematopoietic Stem Cell Heterogeneity with Distinct Lineage Fate.	Cell Rep. 2018 Jun; 23(11): 3223-3235	Original Article
49	Hongyo K, Nakagami F, Hagiya H, et al.	老年・高血圧内科	Repeated Left Upper Abdominal Pain.	Intern Med. 2019 Mar 15;58(6):893	Original Article
50	Nagasawa M, Takami Y, Akasaka H, et al.	老年・高血圧内科	High plasma adiponectin levels are associated with frailty in a general old-old population: The Septuagenarians, Octogenarians, Nonagenarians Investigation with Centenarians study.	Geriatr Gerontol Int. 2018 Jun;18(6):839-846	Original Article
51	Nakagami F, Hagiya H, Oyama A, et al.	老年・高血圧内科	Swollen Extraocular Muscle and Tingling Extremities.	Am J Med. 2018 Dec;131(12):e492-e493	Original Article
52	Nakagami F, Hagiya H, Rakugi H.	老年・高血圧内科	Acute Non-calcific Retropharyngeal Tendinitis.	Intern Med. 2018 Dec 1;57(23):3499-3500	Original Article
53	Nakamaru R, Tanaka N, Okada M, et al.	老年・高血圧内科	Usefulness of Failed Electrical Cardioversion for Early Recurrence After Catheter Ablation for Atrial Fibrillation as a Predictor of Future Recurrence.	Am J Cardiol. 2019 Mar 1;123(5):794-800	Original Article
54	Nozato S, Yamamoto K, Nozato Y, et al.	老年・高血圧内科	Comparison between L-type and N/L-type calcium channel blockers in the regulation of home blood-pressure variability in elderly hypertensive patients.	Hypertens Res. 2018 Apr;41(4):290-298	Original Article
55	Rakugi H, Shimizu K, Nishiyama Y, et al.	老年・高血圧内科	A phase III, open-label, multicenter study to evaluate the safety and efficacy of long-term triple combination therapy with azilsartan, amlodipine, and hydrochlorothiazide in patients with essential hypertension.	Blood Press. 2018 Jun;27(3):125-133	Original Article
56	Rakugi H, Shimizu K, Sano Y, et al.	老年・高血圧内科	Effects of triple combination therapy with azilsartan/amlodipine/hydrochlorothiazide on office/home blood pressure: a randomized-controlled trial in Japanese essential hypertensive patients.	Blood Press Monit. 2018 Apr;23(2):91-102	Original Article
57	Yokoyama S, Oguro R, Yamamoto K, et al	老年・高血圧内科	A klotho gene single nucleotide polymorphism is associated with the onset of stroke and plasma klotho concentration.	Aging (Albany NY). 2018 Dec 31;11(1):104-114	Original Article
58	Fujimoto T, Sugimoto K, Takahashi T, et al	老年・高血圧内科	Overexpression of Interleukin-15 exhibits improved glucose tolerance and promotes GLUT4 translocation via AMP-Activated protein kinase pathway in skeletal muscle.	Biochem Biophys Res Commun. 2019 Feb 19;509(4):994-1000	Original Article

59	Isaka M, Sugimoto K, Yasunobe Y, et al	老年・高血圧内科	The Usefulness of an Alternative Diagnostic Method for Sarcopenia Using Thickness and Echo Intensity of Lower Leg Muscles in Older Males.	J Am Med Dir Assoc. 2019 Mar 19. pii: S1525-8610(19)30186-0.	Original Article
60	Tanaka M, Sugimoto K, Fujimoto T, et al	老年・高血圧内科	Preventive effects of low-intensity exercise on cancer cachexia-induced muscle atrophy.	FASEB J. 2019 Mar 27;fj201802430R.	Original Article
61	Takeda M, Yamamoto K, Akasaka H, et al	老年・高血圧内科	Clinical characteristics and postoperative outcomes of primary aldosteronism in the elderly	J Clin Endocrinol Metab. 2018 Oct 1;103(10):3620-3629	Original Article
62	Kainuma S, Funatsu T, Kondoh H, et al.	心臓血管外科	Beneficial effects of restrictive annuloplasty on subvalvular geometry in patients with functional mitral regurgitation and advanced cardiomyopathy.	J Thorac Cardiovasc Surg. 2018 Aug;156(2):630-638.e1. doi: 10.1016/j.jtcvs.2017.11.	Original Article
63	Yoshida S, Miyagawa S, Toda K, et al.	心臓血管外科	Skeletal myoblast sheet transplantation enhanced regional improvement of cardiac function.	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2018 Jul 1;19(7):828-829. doi: 10.1093/ehjci/jey064. No abstract available.	Original Article
64	Yajima S, Yoshioka D, Fukushima S, et al.	心臓血管外科	Multiple coronary stenting negatively affects myocardial recovery after coronary bypass grafting.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2018 Aug;66(8):446-455. doi: 10.1007/s11748-018-0937-7. Epub 2018 May	Original Article
65	Yoshida S, Toda K, Miyagawa S, et al.	心臓血管外科	Impella 5.0 as a Bridge to Implantable Left Ventricular Assist Device- First Clinical Case in Japan.	Circ J. 2018 Oct 25;82(11):2923-2924. doi: 10.1253/circj.CJ-18-0207. Epub 2018 May 18. No abstract available.	Case report
66	Kainuma S, Taniguchi K, Toda K, et al.	心臓血管外科	[Beneficial Effects of Restrictive Annuloplasty on Subvalvular Geometry in Patients with Functional Mitral Regurgitation and Advanced Cardiomyopathy].	Kyobu Geka. 2018 Jul;71(7):496-504. Japanese.	Review
67	Yoshida S, Fukushima S, Miyagawa S, et al.	心臓血管外科	The Adaptive Remodeling of the Anterior Mitral Leaflet and Chordae Tendineae Is Associated with Mitral Valve Function in Advanced Ischemic and Nonischemic Dilated Cardiomyopathy.	Int Heart J. 2018 Sep 26;59(5):959-967. doi: 10.1536/ihj.17-465.	Original Article
68	Miyagawa S, Sawa Y.	心臓血管外科	Building a new strategy for treating heart failure using Induced Pluripotent Stem Cells.	J Cardiol. 2018 Dec;72(6):445-448. doi: 10.1016/j.jcc.2018.05.002. Epub 2018 Aug 29. Review.	Review
69	Matsuura R, Yoshioka D, Toda K, et al.	心臓血管外科	Effect of the Initial Strategy for Active Endocarditis Complicated With Acute Heart Failure.	Circ J. 2018 Oct 25;82(11):2896-2904. doi: 10.1253/circj.CJ-18-0510. Epub 2018 Sep 7.	Original Article
70	Nakazato T, Hata H, Toda K, et al.	心臓血管外科	Midterm Clinical Outcomes of the St Jude Medical Epic Porcine Bioprostheses in the Mitral Position.	Circ J. 2018 Dec 25;83(1):110-116. doi: 10.1253/circj.CJ-18-0483. Epub 2018 Oct 25.	Original Article
71	Yoshida S, Miyagawa S, Fukushima S, et al.	心臓血管外科	Cardiac Function and Type of Mitral Valve Surgery Affect Postoperative Blood Flow Pattern in the Left Ventricle.	Circ J. 2018 Dec 25;83(1):130-138. doi: 10.1253/circj.CJ-18-0625. Epub 2018 Nov 23.	Original Article
72	Miyagawa S, Domae K, Kainuma S, et al.	心臓血管外科	Long-term outcome of a dilated cardiomyopathy patient after mitral valve surgery combined with tissue-engineered myoblast sheets-report of a case.	Surg Case Rep. 2018 Dec 13;4(1):142. doi: 10.1186/s40792-018-0549-6.	Case report
73	Nakamura Y, Yoshioka D, Miyagawa S, et al.	心臓血管外科	Successful Heart Transplantation After Desensitization in a Patient With Extremely High Panel-Reactive Antibody Levels and Pretransplant Donor-Specific Antibody: A Case Report.	Transplant Proc. 2018 Dec;50(10):4067-4070. doi: 10.1016/j.transproceed.2018.08.058. Epub 2018	Case report
74	Samura T, Yoshioka D, Toda K, et al.	心臓血管外科	Risk of stroke early after implantation of a left ventricular assist device.	J Thorac Cardiovasc Surg. 2019 Jan;157(1):259-267.e1. doi: 10.1016/j.jtcvs.2018.06.	Original Article
75	Goto T, Shimaoka K, Kuratani T, et al.	心臓血管外科	Successful Hybrid Zone 0 Landing Thoracic Endovascular Aortic Repair for Ascending Aortic Pseudoaneurysm after Bentall Procedure and Coronary Artery Bypass Grafting in Takayasu Arteritis.	Ann Vasc Surg. 2019 Jan;54:335.e7-335.e10. doi: 10.1016/j.avsg.2018.06.018. Epub 2018 Aug 13.	Case report
76	Hata H, Toda K, Miyagawa S, et al.	心臓血管外科	Rapid Deployment Aortic Valve Replacement via Right Lateral Mini-Thoracotomy- First Clinical Experience in Japan.	Circ J. 2019 Jan 25;83(2):485-487. doi: 10.1253/circj.CJ-18-1090. Epub 2018 Dec 19.	Case report
77	Sawa Y, Matsumiya G, Matsuda K, et al.	心臓血管外科	Journal of Artificial Organs 2018: the year in review : Journal of Artificial Organs Editorial Committee.	J Artif Organs. 2019 Mar;22(1):1-5. doi: 10.1007/s10047-019-01094-7. Epub 2019 Feb 23. Review. No abstract	Review
78	Shintani Y, Funaki S, Ose N 他	呼吸器外科	Air leak pattern shown by digital chest drainage system predict prolonged air leakage after pulmonary resection for patients with lung cancer.	J Thorac Dis. 2018 Jun;10(6):3714-3721	Original Article

79	Kanzaki R,Ose N, Kawamura T他	呼吸器外科	Stromal PDGFR- β Expression is Associated with Postoperative Survival of Non-Small Cell Lung Cancer Patients Receiving Preoperative Chemo- or Chemoradiotherapy Followed by Surgery.	World J Surg. 2018 Sep;42(9):2879-2886	Original Article
80	Kanzaki R,Kanou T, Ose N他	呼吸器外科	Long-term outcomes of advanced thymoma in patients undergoing preoperative chemotherapy or chemoradiotherapy followed by surgery: a 20-year experience.	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2019 Mar 1;28(3):360-367	Original Article
81	Ose N,Takeuchi Y, Kobori Y他	呼吸器外科	Thoracoscopic segmentectomy for interlobular sequestration in adult: A case report	Surg Case Rep. 2018 Jun 7;4(1):51	Case report
82	Yamamoto Y,Shintani Y, Funaki S	呼吸器外科	Aggressive surgical resection of pulmonary artery intimal sarcoma	Ann Thorac Surg. 2018 Oct;106(4):e197-e19	Case report
83	Makino T, Yamasaki M, Tanaka K, et al.	消化器外科	Treatment and clinical outcome of clinical T4 esophageal cancer: A systematic review.	Ann Gastroenterol Surg. 2018 Dec ;3:169-180.	Review
84	Saso K, Myoshi N, Fujino S, et al.	消化器外科	A novel prognostic prediction model for recurrence in patients with stage II colon cancer after curative resection.	Mol Clin Oncol. 2018 Dec;9:697-701.	Original Article
85	Ushimaru Y, Nakajima K, Takahashi T, et al.	消化器外科	Occult Hiatal Hernia in Achalasia Patients: Its Incidence and Treatment Options.	Dig Surg. 2018 Oct オンライン	Original Article
86	Wada N, Kurokawa Y, Tanaka K et al.	消化器外科	Perioperative Nutritional Support With Beta-hydroxy-beta-methylbutyrate, Arginine, and Glutamine in Surgery for Abdominal Malignancies.	Wounds. 2018 Sep;30(9):251-256.	Original Article
87	Kubo M, Wada H, Eguchi H, et al.	消化器外科	Magnetic compression anastomosis for the complete dehiscence of hepaticojejunostomy in a patient after living-donor liver transplantation.	Surg Case Rep. 2018 Aug オンライン	Case report
88	Okumura Y, Noda T, Eguchi H, et al.	消化器外科	Hypoxia-Induced PLOD2 is a Key Regulator in Epithelial-Mesenchymal Transition and Chemoresistance in Biliary Tract Cancer.	Ann Surg Oncol. 2018 Nov;25:3728-3737.	Original Article
89	Taniguchi Y, Kurokawa Y, Takahashi T et al.	消化器外科	Prognostic Value of Trefoil Factor 3 Expression in Patients with Gastric Cancer.	World J Surg. 2018 Dec;42:3997-4004.	Original Article
90	Nagase H, Yamasaki M, Yanagimoto Y, et al.	消化器外科	Successful Endoscopic Treatment of Post-esophagectomy Refractory Reflux Using OverStitch: The First Clinical Case.	Clin Med Insights Gastroenterol. 2018 Jul オンライン	Case report
91	Shinke G, Noda T, Eguchi H, et al.	消化器外科	Surgical outcome of extended liver resections for colorectal liver metastasis compared with standard liver resections.	Mol Clin Oncol. 2018 Jul;9:104-111.	Original Article
92	Sugase T, Makino T, Yamasaki M, et al.	消化器外科	Histological changes of superficial esophageal squamous cell carcinoma after preoperative chemotherapy.	Esophagus. 2018 Jun オンライン	Original Article
93	Tomimaru Y, Eguchi H, Wada H, et al.	消化器外科	Liver resection combined with inferior vena cava resection and reconstruction using artificial vascular graft: A literature review.	Ann Gastroenterol Surg. 2018 Apr 15;2:182-186.	Original Article
94	Mizushima T, Yamamoto H, Marubashi S, et al.	消化器外科	Validity and significance of 30-day mortality rate as a quality indicator for gastrointestinal cancer surgeries.	Ann Gastroenterol Surg. 2018 Apr 16;2:231-240.	Original Article
95	Makino T, Yamasaki M, Tanaka K, et al.	消化器外科	Metabolic Tumor Volume Change Predicts Long-term Survival and Histological Response to Preoperative Chemotherapy in Locally Advanced Esophageal Cancer.	Ann Surg. 2018 May オンライン	Original Article
96	Fukuda Y, Asaoka T, Eguchi H, et al.	消化器外科	Clinical Impact of Preoperative Sarcopenia on the Postoperative Outcomes After Pancreas Transplantation.	World J Surg. 2018 Oct;42:3364-3371.	Original Article
97	Mukai Y, Yamada D, Eguchi H, et al.	消化器外科	Vitamin D Supplementation is a Promising Therapy for Pancreatic Ductal Adenocarcinoma in Conjunction with Current Chemoradiation Therapy.	Ann Surg Oncol. 2018 Jul;25:1868-1879.	Original Article
98	Tamai K, Mizushima T, Wu X, et al.	消化器外科	Photodynamic Therapy Using Indocyanine Green Loaded on Super Carbonate Apatite as Minimally Invasive Cancer Treatment.	Mol Cancer Ther. 2018 Jul;17:1613-1622	Original Article

99	Nakahara Y, Yamasaki M, Miyazaki Y et al	消化器外科	Reflux after esophagectomy with gastric conduit reconstruction in the posterior mediastinum for esophageal cancer: original questionnaire and EORTC QLQ-C30 survey.	Dis Esophagus. 2018 Jul オンライン	Original Article
100	Fujino S, Miyoshi N, Ohue M, et al.	消化器外科	Platelet-derived growth factor receptor- β gene expression relates to recurrence in colorectal cancer.	Oncol Rep. 2018 May;39:2178-2184.	Original Article
101	Takahashi H, Haraguchi N, Nishimura J, et al.	消化器外科	A novel suction/coagulation integrated probe for achieving better hemostasis: development and clinical use.	Surg Today. 2018 Jun;48:649-655	Original Article
102	Yamada T, Gotoh K, Marubashi S, et al.	消化器外科	Comparison of Adverse Events and Outcomes Between Patients With and Without Drain Insertion After Hepatectomy: A Propensity Score-Matched, Multicenter, Prospective Observational Cohort Study in Japan (CSGO-HBP-001).	World J Surg. 2018 Aug;42:2561-2569.	Original Article
103	Ikeda A, Takahashi H, Miyoshi N, et al.	消化器外科	Colonic ischemia developed after laparoscopic colectomy for rectosigmoid cancer with focal infrarenal aortic stenosis.	Asian J Endosc Surg. 2018 Aug;11:270-273.	Original Article
104	Noda T, Eguchi H, Iwagami Y, et al.	消化器外科	Minimally invasive liver resection for hepatocellular carcinoma of patients with liver damage B: A propensity score-based analysis.	Hepatol Res. 2018 Jun;48:539-548.	Original Article
105	Makino T, Yamasaki M, Miyazaki Y et al.	消化器外科	Utility of initial induction chemotherapy with 5-fluorouracil, cisplatin, and docetaxel (DCF) for T4 esophageal cancer: a propensity score-matched analysis.	Dis Esophagus. 2018 Apr オンライン	Original Article
106	Tanaka K, Makino T, Yamasaki M, et al.	消化器外科	An analysis of the risk factors of anastomotic stricture after esophagectomy.	Surg Today. 2018 Apr;48(4):449-454.	Original Article
107	Furukawa H, Kurokawa Y, Takiguchi S et al.	消化器外科	Short-term outcomes and nutritional status after laparoscopic subtotal gastrectomy with a very small remnant stomach for cStage I proximal gastric carcinoma.	Gastric Cancer. 2018 May;21:500-507.	Original Article
108	Shimazu K, Miyake T, Okuno J, et al.	乳腺・内分泌外科	One-step Nucleic Acid Amplification Can Identify Sentinel Node-negative Breast Cancer Patients With Excellent Prognosis.	Anticancer Res. 2019 Mar;39(3):1447-1454.	Original Article
109	Miyake T, Kim SJ, Shimoda M, et al.	乳腺・内分泌外科	Diagnostic Utility of Third-Look, Contrast-Enhanced Sonography Followed by Needle Biopsy for MRI, But Not Second-look Ultrasonography-detected Breast Lesions.	Anticancer Res. 2019 Feb;39(2):915-921.	Original Article
110	Tanei T, Pradipta AR, Morimoto K, et al.	乳腺・内分泌外科	Cascade Reaction in Human Live Tissue Allows Clinically Applicable Diagnosis of Breast Cancer Morphology.	Adv Sci (Weinh). 2018 Nov 27;6(2):1801479.	Original Article
111	Shimazu K, Noguchi S.	乳腺・内分泌外科	Intraoperative Nomograms Based on One-Step Nucleic Acid Amplification.	Ann Surg Oncol. 2018 Dec;25(Suppl 3):667-668.	Review
112	Ohara AM, Naoi Y, Shimazu K, et al.	乳腺・内分泌外科	PAM50 for prediction of response to neoadjuvant chemotherapy for ER-positive breast cancer.	Breast Cancer Res Treat. 2019 Feb;173(3):533-543.	Original Article
113	Noguchi S, Ellis MJ, Robertson JFR, et al	乳腺・内分泌外科	Progression-free survival results in postmenopausal Asian women: subgroup analysis from a phase III randomized trial of fulvestrant 500 mg vs anastrozole 1 mg for hormone receptor-positive advanced breast	Breast Cancer. 2018 May;25(3):356-364.	Original Article
114	Ueno T, Kodama T, Noguchi Y, et al.	小児外科	Clinical implications of serum Mac-2-binding protein (M2BPG) during regular follow-up of patients with biliary atresia.	Pediatr Surg Int. 2018 Oct;34(10):1065-1071.	Original Article
115	Ueno T, Hiwatashi S, Saka R, et al.	小児外科	Everolimus Rescue Treatment for Chronic Rejection After Pediatric Living Donor Liver Transplantation: 2 Case Reports.	Transplant Proc. 2018 Nov;50(9):2872-2876.	Original Article
116	Ueno T, Hiwatashi S, Saka R, et al.	小児外科	Pulmonary Arterial Pressure Management Based on Oral Medicine for Pediatric Living Donor Liver Transplant With Portopulmonary Hypertension.	Transplant Proc. 2018 Nov;50(9):2614-2618.	Original Article
117	Ueno T, Wada M, Hoshino K, et al.	小児外科	Impact of Donor Age on Outcome of Intestinal Transplantation in Japan.	Transplant Proc. 2018 Nov;50(9):2775-2778.	Original Article
118	Ueno T, Wada M, Hoshino K, et al.	小児外科	Three-Year Prospective Follow-up of Potential Pediatric Candidate for Intestinal Transplantation.	Transplant Proc. 2018 Nov;50(9):2779-2782.	Original Article

119	Hiwatashi S, Nakayama Y, Umeda S, et al.	小児外科	Tracheal Replacement Using an In-Body Tissue-Engineered Collagenous Tube "BIOTUBE" with a Biodegradable Stent in a Beagle Model: A Preliminary Report on a New Technique.	Eur J Pediatr Surg. 2019 Feb;29(1):90-96.	Original Article
120	Jiaravuthisan P, Maeda A, Takakura C, et al.	小児外科	A membrane-type surfactant protein D (SP-D) suppresses macrophage-mediated cytotoxicity in swine endothelial cells.	Transpl Immunol. 2018 Apr;47:44-48.	Original Article
121	Sakai R, Watanabe M, Maeda A, et al.	小児外科	The immunological response of pigs anti-human cell, included issues such as the production of natural antibodies in newborn.	Transplant Proc. 2018 Nov;50(9):2839-2841.	Original Article
122	Kurashige M, Kohara M, Ohshima K, et al	病理診断科	Origin of cancer-associated fibroblasts and tumor-associated macrophages in humans after sex-mismatched bone marrow transplantation.	Commun Biol. 2018 Sep 3;1:131. doi: 10.1038/s42003-018-0137-0. eCollection 2018.	Original Article
123	Wada N, Nojima S, Tahara SI, et al	病理診断科	Effect of glutamine on lymphoplasmacytic lymphoma, especially on the viewpoint of the differentiation into vulnerable subpopulation.	Pathol Res Pract. 2018 Oct;214(10):1667-1674. doi: 10.1016/j.prp.2018.08.019. Epub 2018 Aug 27.	Original Article
124	Matsui T, Maeda T, Kusakabe S, et al	病理診断科	A case report of granulomatous amoebic encephalitis by Group 1 Acanthamoeba genotype T18 diagnosed by the combination of morphological examination and genetic analysis.	Diagn Pathol. 2018 May 10;13(1):27. doi: 10.1186/s13000-018-0706-z.	Case report
125	Park H, Ohshima K, Nojima S, et al	病理診断科	Adenylosuccinate lyase enhances aggressiveness of endometrial cancer by increasing killer cell lectin-like receptor C3 expression by fumarate.	Lab Invest. 2018 Apr;98(4):449-461. doi: 10.1038/s41374-017-0017-0. Epub 2018 Feb 21.	Original Article
126	Tsuda T, Maeda Y, Nishide M, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Eosinophil-derived neurotoxin enhances airway remodeling in eosinophilic chronic rhinosinusitis and correlates with disease severity.	Int Immunol. 2019 Feb 6;31(1):33-40.	Original Article
127	Takeda K, Sakakibara S, Yamashita K, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Allergic conversion of protective mucosal immunity against nasal bacteria in patients with chronic rhinosinusitis with nasal polyposis.	J Allergy Clin Immunol. 2019 Mar;143(3):1163-1175	Case report
128	Oya R, Takenaka Y, Imai T, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Neutrophil-to-Lymphocyte Ratio and Platelet-to-Lymphocyte Ratio as Prognostic Hematologic Markers of Bell's Palsy: A Meta-analysis.	Otol Neurotol. 2019 Jun;40: 681-7	Original Article
129	Miyabe J, Ohgaki R, Saito K, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Boron delivery for boron neutron capture therapy targeting a cancer-upregulated oligopeptide transporter.	J Pharmacol Sci. 2019 Mar;139: 215-22	Original Article
130	Kishikawa T, Momozawa Y, Ozeki T, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Empirical evaluation of variant calling accuracy using ultra-deep whole-genome sequencing data.	Sci Rep. 2019 Feb 11;9(1):1784	Original Article
131	Imai T, Okumura T, Nishiike S,	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Recovery of positional nystagmus after benign paroxysmal positional vertigo fatigue.	Eur Arch Otorhinolaryngol. 2018 Dec;275(12):2967-2973.	Original Article
132	Oya R, Takenaka Y, Imai T, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Serum Fibrinogen as a Prognostic Factor in Sudden Sensorineural Hearing Loss: A Meta-analysis.	Otol Neurotol. 2018 Dec;39(10):e929-e935	Original Article
133	Oya R, Imai T, Sato T, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	A high jugular bulb and poor development of perivestibular aqueductal air cells are not the cause of endolymphatic hydrops in patients with Ménière's disease.	Auris Nasus Larynx. 2018 Aug;45(4):693-701	Original Article
134	Ogawa M, Inohara H.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Is voice therapy effective for the treatment of dysphonic patients with benign vocal fold lesions?	Auris Nasus Larynx. 2018 Aug;45(4):661-666	Review
135	Takenaka S, Mukai Y, Hosono N, et al.	整形外科	Improvement of thoracic myelopathy following bariatric surgery in an obese patient	BMJ Case Rep. 2018 Apr 11;2018. pii: bcr-2017-223629. doi: 10.1136/bcr-2017-223629.	Case report
136	Takenaka S, Makino T, Sakai Y, et al.	整形外科	Dural tear is associated with an increased rate of other perioperative complications in primary lumbar spine surgery for degenerative diseases	Medicine (Baltimore). 2019 Jan;98(1):e13970. doi: 10.1097/MD.00000000000013970.	Original Article
137	Shimomura K, Yasui Y, Koizumi K, et al	整形外科	First-in-Human Pilot Study of Implantation of a Scaffold-Free Tissue-Engineered Construct Generated From Autologous Synovial Mesenchymal Stem Cells for Repair of Knee Chondral Lesions.	Am J Sports Med. 2018 Aug;46(10):2384-2393.	Original Article
138	Shimomura K, Hamamoto S, Hart DA, et al.	整形外科	Meniscal repair and regeneration: Current strategies and future perspectives.	J Clin Orthop Trauma. 2018 Jul-Sep;9(3):247-253	Review

139	Shimomura K, Rothrauff BB, Hart DA, et al.	整形外科	Enhanced repair of meniscal hoop structure injuries using an aligned electrospun nanofibrous scaffold combined with a mesenchymal stem cell-derived tissue engineered construct.	Biomaterials. 2019 Feb;192:346-354.	Original Article
140	Murase T	整形外科	Morphology and kinematics studies of the upper extremity and its clinical application in deformity correction.	J Orthop Sci. 2018 Sep;23(5):722-733	Original Article
141	Oka K, Kataoka T, Tanaka H, et al.	整形外科	A comparison of corrective osteotomies using dorsal and volar fixation for malunited distal radius fractures.	Int Orthop. 2018 Dec;42(12):2873-2879	Original Article
142	Oka K, Moritomo H	整形外科	Current Management of Scaphoid Nonunion Based on the Biomechanical Study.	J Wrist Surg. 2018 Apr;7(2):94-100	Original Article
143	Okada K, Sato Y, Sugiyama D, et al	整形外科	Establishment of the National Consortium for Regenerative Medicine and National Regenerative Medicine Database in Japan.	Clin Ther. 2018 Jul;40(7):1076-1083	Original Article
144	Toshitaka Fujito, Tetsuya Tomita, Kazuomi Sugamoto, et al.	整形外科(運動器バイオマテリアル学講座)	Influence of Posterior Tibial Slope on Kinematics After Cruciate-Retaining Total Knee Arthroplasty	J Arthroplasty. 2018 Dec;33(12):3778-3782	Original Article
145	Yoshinori Inou, Tetsuya Tomita, Kazuomi Sugamoto, et.al.	整形外科(運動器バイオマテリアル学講座)	Are Preserved in Cruciate-Retaining Total Knee Arthroplasty? A Three-Dimensional Morphology Study	J Knee Surg. 2018 Nov 10. doi: 10.1055/s-0038-1675184	Original Article
146	Nakata K, Tsuji T, Vietri J, et al.	整形外科(健康スポーツ科学講座)	Work impairment, osteoarthritis, and health-related quality of life among employees in Japan	Health Qual Life Outcomes. 2018 Apr 17;16(1):64.	Original Article
147	Nakata K, Hanai T, Take Y, et al.	整形外科(健康スポーツ科学講座)	Disease-modifying effects of COX-2 selective inhibitors and non-selective NSAIDs in osteoarthritis: a systematic review	Osteoarthritis Cartilage. 2018 Oct;26(10):1263-1273.	Original Article
148	Ogawa T, Takao M, Sakai T, et al.	整形外科(運動器医工学治療学講座)	Factors related to disagreement in implant size between preoperative CT-based planning and the actual implants used intraoperatively for total hip arthroplasty.	Int J Comput Assist Radiol Surg. 2018 Apr; 13(4):551-562.	Original Article
149	Uemura K, Takao M, Otake Y, et al.	整形外科(運動器医工学治療学講座)	The distribution of bone mineral density in the femoral heads of unstable intertrochanteric fractures.	J Orthop Surg (Hong Kong). 2018 May-Aug;26(2)	Original Article
150	Hamada H, Takao M, Sakai T, et al.	整形外科(運動器医工学治療学講座)	Morphological variation of the anterior inferior iliac spine affects hip range of motion in flexion after rotational acetabular osteotomy.	Int Orthop. 2018 Jun;42(6):1247-1252.	Original Article
151	Takashima K, Sakai T, Hamada H, et al.	整形外科(運動器医工学治療学講座)	Which Classification System Is Most Useful for Classifying Osteonecrosis of the Femoral Head?	Clin Orthop Relat Res. 2018 Jun;476(6):1240-1249.	Original Article
152	Nakahara E, Zhu W, Pezzotti G, et al.	整形外科(運動器医工学治療学講座)	Raman spectroscopy reveals differences in molecular structure between human femoral heads affected by steroid-associated and alcohol-associated osteonecrosis.	Int Orthop. 2018 Jul;42(7):1557-1563	Original Article
153	Hamada H, Takao M, Sakai T, et al.	整形外科(運動器医工学治療学講座)	Subchondral fracture begins from the bone resorption area in osteonecrosis of the femoral head: a micro-computerised tomography study.	Int Orthop. 2018 Jul;42(7):1479-1484.	Original Article
154	Ogawa T, Takao M, Hamada H , et al.	整形外科(運動器医工学治療学講座)	Soft tissue tension is four times lower in the unstable primary total hip arthroplasty	Int Orthop. 2018 Sep;42(9):2059-2065.	Original Article
155	Uemura K, Takao M, Otake Y, et al.	整形外科(運動器医工学治療学講座)	Reproducibility of pelvic sagittal inclination while acquiring radiographs in supine and standing postures.	J Orthop Surg (Hong Kong). 2019 Jan-Apr;27(1):2309499019828515.	Original Article
156	Nakaya R, Takao M, Hamada H, et al.	整形外科(運動器医工学治療学講座)	Reproducibility of the Dorr classification and its quantitative indices on plain radiographs.	Orthop Traumatol Surg Res. 2019 Feb;105(1):17-21.	Original Article
157	Takao M, Hamada H, Sakai T, et al.	整形外科(運動器医工学治療学講座)	Factors influencing the accuracy of iliosacral screw insertion using 3D fluoroscopic navigation.	Arch Orthop Trauma Surg. 2019 Feb;139(2):189-195.	Original Article
158	Tamura K, Takao M, Hamada H, et al.	整形外科(運動器医工学治療学講座)	Femoral morphology asymmetry in hip dysplasia makes radiological leg length measurement inaccurate.	Bone Joint J. 2019 Mar;101-B(3):297-302.	Original Article

159	Kubo T, Seike S, Kiya K, et al.	形成外科	Salvage Treatment of Failed Free Jejunal Flap Transfer: Our Experiences and Literature Review.	Plast Reconstr Surg Glob Open. 2018 Aug 6;6(8):e1889	Case report
160	Kubo T, Kurita T, Tashima H, et al.	形成外科	Immediate tracheal reconstruction with forearm flap and bone graft.	Microsurgery. 2019 Jan;39(1):46-52.	Original Article
161	Kubo T, Kurita T, Tashima H, et al.	形成外科	Free jejunal flap transfer containing multiple vascular pedicles for pharyngoesophageal reconstruction in conjunction with anterior mediastinal tracheostomy.	Microsurgery. 2018 Nov;38(8):852-859.	Original Article
162	Kubo T, Seike S, Kiya K, et al.	形成外科	Cutaneous resurfacing around a permanent tracheostoma with an internal mammary artery perforator flap.	J Surg Case Rep. 2018 Aug 4:2018(8):rjy183	Case report
163	Nishibayashi A, Tomita K, Taminato M, et al	形成外科	Shaping a Flap Using a Bioabsorbable Mold—A Preliminary Report.	Plast Reconstr Surg Glob Open. 2018 Aug 6;6(8):e1890.	Original Article
164	Otani N, Tomita K, Taminato M, et al	形成外科	Efficacy of STRATAFIX in Inframammary Fold Recreation in Autologous Breast Reconstruction.	Plast Reconstr Surg Glob Open. 2018 Apr 9;6(4):e1702.	Letter
165	Tada S, Okuno T, Shimizu M, 他	神経内科・脳卒中科	Single injection of sustained-release prostacyclin analog ONO-1301-MS ameliorates hypoxic toxicity in the murine model of amyotrophic lateral sclerosis	Sci Rep. 2019 Mar 27;9(1):5252	Others
166	Shimamura M, Shinzaki S, Ikenaka K, 他	神経内科・脳卒中科	Analysis of PEG-J associated complications in 14 adult patients treated with levodopa-carbidopa intestinal gel	Rinsho Shinkeigaku. 2019 Mar 28;59(3):153-156	Others
167	Takasugi J, Miwa K, Watanabe Y, 他	神経内科・脳卒中科	Cortical Cerebral Microinfarcts on 3T Magnetic Resonance Imaging in Patients With Carotid Artery Stenosis	Stroke. 2019 Mar;50(3):639-644	Others
168	Kanki H, Sasaki T, Matsumura S, 他	神経内科・脳卒中科	β -arrestin-2 in PAR-1-biased signaling has a crucial role in endothelial function via PDGF- β in stroke	Cell Death Dis. 2019 Feb 4;10(2):100	Others
169	Okazaki S, Morimoto T, Kamatani Y, 他	神経内科・脳卒中科	Moyamoya Disease Susceptibility Variant RNF213 p.R4810K Increases the Risk of Ischemic Stroke Attributable to Large-Artery Atherosclerosis	Circulation. 2019 Jan 8;139(2):295-298	Others
170	Shimamura M, Nakagami H, Shimizu H, 他	神経内科・脳卒中科	Development of a novel RANKL-based peptide, microglial healing peptide1-AcN (MHP1-AcN), for treatment of ischemic stroke	Scientific reports. 2018 Dec 11;8(1):17770	Others
171	Shimamura M, Nakagami H, Shimizu H, 他	神経内科・脳卒中科	Therapeutic Effects of Systemic Administration of the Novel RANKL-Modified Peptide, MHP1, for Ischemic Stroke in Mice	Biomed Res Int. 2018 Jul 30;2018	Others
172	Hata M, Kurimoto R, Kazui H, et al.	神経科・精神科	Alpha event-related synchronization after eye closing differs in Alzheimer's disease and dementia with Lewy bodies: a magnetoencephalography study.	Psychogeriatrics. 2018 May;18(3):202-20	Original Article
173	Sato S, Kazui H, Shimizu Y, et al.	神経科・精神科	Usefulness of carer-held records to support informal caregivers of patients with dementia who live at home.	Psychogeriatrics. 2018 May;18(3):166-174	Original Article
174	Kanemoto H, Kazui H, Suehiro T, et al.	神経科・精神科	Apathy and right caudate perfusion in idiopathic normal pressure hydrocephalus: A case-control study	Int J Geriatr Psychiatry. 2018 Nov 26. doi: 10.1002/gps.5038.	Original Article
175	Ishii R, Canuet L, et al.	神経科・精神科	MEG revealed new functional hub of atypical brain network in autism spectrum disorders.	Clin Neurophysiol. 2018 Sep;129(9):2022-2023.	Original Article
176	Hirayama R, Kinoshita M, Arita H, et al.	未来医療開発部	Voxel-based lesion mapping of meningioma: a comprehensive lesion location mapping of 260 lesions.	J Neurosurg. 2018 Jun;128(6):1707-1712	Original Article
177	Hajime Nakamura, Toshiyuki Fujinaka, Takeo Nishida, 他	脳神経外科	Endovascular Therapy for Ruptured Vertebral Artery Dissecting Aneurysms: Results from Nationwide, Retrospective, Multi-Center Registries in Japan (JR-NET3)	Neurol Med Chir (Tokyo). 2019 Jan	Original Article
178	Jo Aoe, Ryohei Fukuma, Takufumi Yanagisawa et al.	脳神経外科	Automatic diagnosis of neurological diseases using MEG signals with a deep neural network	Scientific Reports volume 9 2019/3/25 Article number: 5057 (2019), (オンライン)	Original Article

179	Ryohei Fukuma, Takufumi Yanagisawa*, Masataka Tanaka et al.	脳神経外科	Real-time neurofeedback to modulate β -band power in the subthalamic nucleus in Parkinson's disease patients	eNeuro, 17 December 2018;5(6) ENEURO.0246-18.2018 (オンライン)	Original Article
180	Yanagisawa T., Fukuma R., Seymour B. et al.	脳神経外科	MEG-BMI to control phantom limb pain	Neurologia medico-chirurgica, 12 July, 2018, Volume 58 Issue 8 Pages 327-333	Original Article
181	Fukuma R., Yanagisawa. T., Yokoi H. et al.	脳神経外科	Training in use of brain-machine interface-controlled robotic hand improves accuracy decoding two types of hand movements	Front. Neurosci., 11 July 2018 12:478. (オンライン)	Original Article
182	Hashimoto H, Hirata M, Takahashi K. et al.	脳神経外科	Non-invasive quantification of human swallowing using a simple motion tracking system.	Scientific Reports. 2018 Mar 23 Scientific Reports 8, Article number: 5095 (2018) (オンライン)	Original Article
183	Belkacem A, Nishio S, Suzuki T, et al.	脳神経外科	Neuromagnetic decoding of simultaneous bilateral hand movements for multidimensional brain-machine interfaces.	IEEE Trans Neural Syst Rehabil Eng. 2018 Jun;26(6):1301-1310. doi: 10.1109/TNSRE.2018.28	Original Article
184	Matsushita K, Hirata M*, Suzuki T, et al.	脳神経外科	A fully implantable wireless ECoG 128-channel recording device for human brain-machine interfaces: W-HERBS.	Front Neurosci. 2018 Jul 30;12:511. doi: 10.3389/fnins.2018.00511. eCollection 2018.	Original Article
185	Ogawa R, Kagitani-Shimono K, Matsuzaki J, et al.	小児科	Abnormal cortical activation during silent reading in adolescents with autism spectrum disorder.	Brain Dev. 2019 Mar;41(3):234-244. doi: 10.1016/j.braindev.2018.10.013. Epub 2018 Nov 15.	Original Article
186	Okitsu K, Maeda A, Iritakenishi T, et al.	麻酔科	The feasibility of pressure measurement during an ultrasound-guided thoracic paravertebral block	Eur J Anaesthesiol. 2018 Oct;35(10):806-807	Case report
187	Imada T, Shibata SC, Sawamiz C, et al.	麻酔科	Anesthetic Management of a Crossbow Bolt Injury to the Heart	J Cardiothorac Vasc Anesth. 2018 Jun;32(3):1325-1328	Case report
188	Maeda Y, Kan S, Fujino Y, et al.	麻酔科	Verbal Instruction Can Induce Extinction of Fear of Movement-Related Pain.	J Pain. 2018 Sep;19(9):1063-1073	Original Article
189	Koyama Y, Uchiyama A, Yoshida J, et al.	麻酔科	A Comparison of the Adjustable Ranges of Inspiratory Pressurization During Pressure Controlled Continuous Mandatory Ventilation of 5 ICU Ventilators.	Respir Care. 2018 Jul;63(7):849-858	Original Article
190	Yoshimura, A. Sawada, K. Sasano, T. et al.	産科・婦人科	Effect of Japanese kampo medicine therapy for menopausal symptoms after treatment of gynecological malignancy	Obstet Gynecol Int. 2018 Apr; 2018:9475919,	Original Article
191	Ueda, Y. Yagi, A. Nakayama, T. et al.	産科・婦人科	Dynamic changes in Japan's prevalence of abnormal findings in cervical cervical cytology depending on birth year	Sci Rep. 2018 Apr; 8:5612,	Letter
192	Tanaka, H. Kumashawa, K. Kakigano, A. et al.	産科・婦人科	Arginase controls soluble vascular endothelial growth factor receptor 1 (sFlt1) to maintain pregnancy homeostasis	Biochem Biophys Res Commun. 2018 May; 499:150-155	Original Article
193	Yagi, A. Ueda, Y. Tanaka, Y. et al.	産科・婦人科	Time-dependent changes of the intention of mothers in Japan to inoculate their daughters with the HPV vaccine after suspension of governmental recommendation	Hum Vaccin Immunother. 2018 Jun; 1-6	Original Article
194	Sawada, M. Kakigano, A. Matsuzaki, S. et al.	産科・婦人科	Obstetric outcome in patients with a unicornuate uterus after laparoscopic resection of a rudimentary horn	J Obstet Gynaecol Res. 2018 Jun; 44:1080-1086	Original Article
195	Yamashita, M. Kumashawa, K. Miyake, T. et al.	産科・婦人科	Soluble Flt-1 Has Cytotoxic Effects on BeWo Choriocarcinoma Cells	Reprod Sci. 2018 Jun; 25:830-836	Original Article
196	Tanaka, A. Nakamura, H. Tabata, Y. et al.	産科・婦人科	Effect of sustained release of basic fibroblast growth factor using biodegradable gelatin hydrogels on frozen-thawed human ovarian tissue in a xenograft model	J Obstet Gynaecol Res. 2018 Jul; 44:1947-1955	Original Article
197	Mabuchi, S. Yokoi, E. Komura, N. et al.	産科・婦人科	Myeloid-derived suppressor cells and their role in gynecological malignancies	Tumour Biol. 2018 Jul; 40:1010428318776485	Review
198	Sasano, T. Mabuchi, S. Kozasa, K. et al.	産科・婦人科	The highly metastatic nature of uterine cervical/endometrial cancer displaying tumor-related leukocytosis: clinical and preclinical investigations	Clin Cancer Res. 2018 Aug; 24:4018-4029	Original Article

199	Kobayashi, M. Sawada, K. Nakamura, K. et al.	産科・婦人科	Exosomal miR-1290 is a potential biomarker of high-grade serous ovarian carcinoma and can discriminate patients from those with malignancies of other histological types	J Ovarian Res. 2018 Sep; 11:81	Original Article
200	Nakagawa, S. Serada, S. Kakubari, R. et al.	産科・婦人科	Intratumoral Delivery of an Adenoviral Vector Carrying the SOCS-1 Gene Enhances T-Cell-Mediated Antitumor Immunity By Suppressing PD-L1	Mol Cancer Ther. 2018 Sep; 17:1941-1950	Original Article
201	Kobayashi, M. Sawada, K. Kimura, T.	産科・婦人科	Is microRNA replacement therapy promising treatment for cancer?	Non-coding RNA Investig. 2018 Sep; 2:56	Review
202	Tanaka, Y. Ueda, Y. Nakagawa, S. et al.	産科・婦人科	A phase I/II study of GLIF combination chemotherapy for taxane/platinum-refractory/resistant endometrial cancer (GOGO-EM2)	Cancer Chemother Pharmacol. 2018 Oct; 82:585-592	Original Article
203	Tanaka, M. Matsuzaki, S. Endo, M. et al.	産科・婦人科	Obstetric outcomes and acceptance of alternative therapies to blood transfusion by Jehovah's Witnesses in Japan: a single-center study	Int J Hematol. 2018 Oct; 108:432-437	Original Article
204	Kodama, T. Yi, J. Newberg, J. Y. et al.	産科・婦人科	Molecular profiling of nonalcoholic fatty liver disease-associated hepatocellular carcinoma using SB transposon mutagenesis	Proc Natl Acad Sci U S A. 2018 Oct; 115:E10417-E10426	Original Article
205	Yoshimura, A. Sawada, K. Nakamura, K. et al.	産科・婦人科	Exosomal miR-99a-5p is elevated in sera of ovarian cancer patients and promotes cancer cell invasion by increasing fibronectin and vitronectin expression in neighboring peritoneal mesothelial cells	BMC Cancer. 2018 Nov; 18:1065	Original Article
206	Kakigano, A. Matsuzaki, S. Jitsumori, M. et al.	産科・婦人科	An evident asymmetrical uterus during cesarean delivery	Clin Case Rep. 2018 Nov; 6:2281-2282	Case report
207	Kawano, M. Nagata, S.	産科・婦人科	Efferocytosis and autoimmune disease	Int Immunol 2018 Nov; 30:551-558	Review
208	Kuroda, H. Mabuchi, S. Yokoi, E. et al.	産科・婦人科	Prostaglandin E2 produced by myeloid-derived suppressive cells induces cancer stem cells in uterine cervical cancer	Oncotarget. 2018 Nov; 9:36317-36330	Original Article
209	Nakamura, H. Hosono, T. Kumasawa, K. et al.	産科・婦人科	Vaginal bioelectrical impedance determines uterine receptivity in mice	Hum Reprod. 2018 Dec 33:2241-2248	Original Article
210	Ueda, Y. Yagi, A. Ikeda, S. et al.	産科・婦人科	Beyond resumption of the Japanese Government's recommendation of the HPV vaccine	Lancet Oncol. 2018 Dec; 19:1563-1564	Letter
211	Shigeta, N. Nakamura, H. Kumasawa, K. et al.	産科・婦人科	Are naive T cells and class-switched memory (IgD(-) CD27(+)) B cells not essential for establishment and maintenance of pregnancy? Insights from a case of common variable immunodeficiency with pregnancy	Med Hypotheses. 2018 Dec; 121:36-41	Original Article
212	Mabuchi, S. Sasano, T. Komura, N.	産科・婦人科	Premetastatic niche and tumor-related leukocytosis: a close relationship that cannot be ignored in uterine cancer patients/Insights from a case of common variable immunodeficiency with pregnancy	Oncotarget. 2018 Dec; 9:36889-36890	Review
213	Furuya, K. Kumasawa, K. Nakamura, H. et al.	産科・婦人科	Novel biomarker profiles in experimental aged maternal mice with hypertensive disorders of pregnancy	Hypertens Res. 2019 Jan; 42:29-39	Original Article
214	Nakamura, K. Sawada, K. Miyamoto, M. et al.	産科・婦人科	Downregulation of miR-194-5p induces paclitaxel resistance in ovarian cancer cells by altering MDM2 expression	Oncotarget. 2019 Jan; 10:673-683	Original Article
215	Matsuzaki Shinya Endo, M. Tomimatsu, T. et al.	産科・婦人科	New dedicated blunt straight needles and sutures for uterine compression sutures: a retrospective study and literature review	BMC Surg. 2019 Mar; 19:33	Original Article
216	Mabuchi, S. Yokoi, E. Shimura, K. et al.	産科・婦人科	A phase II study of irinotecan combined with S-1 in patients with advanced or recurrent cervical cancer previously treated with platinum based chemotherapy	Int J Gynecol Cancer. 2019 Mar; 29:474-479	Original Article
217	Kawashima, A. Isohashi, F. Mabuchi, S. et al.	産科・婦人科	A 3-year follow-up study of radiotherapy using computed tomography-based image-guided brachytherapy for cervical cancer	J Radiat Res. 2019 Mar; i60:264-269	Original Article
218	Kozasa, K. Mabuchi, S. Matsumoto, Y. et al.	産科・婦人科	Estrogen stimulates female cancer progression by inducing myeloid-derived suppressive cells: investigations on pregnant and non-pregnant experimental models	Oncotarget. 2019 Mar; 10:1887-1902	Original Article

219	Hashii Y, Yoshida M, Hara J, et al	小兒科	Acid-suppressing Drugs and a Low 1 Level of Antithrombin as Risk Factors for L-Asparaginase -associated Pancreatitis: A Case-control Study in the Japan Association of Childhood Leukemia Study (JACLS).	J Pediatr Hematol Oncol. 2018 Jul;40(5):374-378	Original Article
220	Nakazawa S, Imamura R, Kawamura M, et al.	泌尿器科	Difference in IgA1 O-glycosylation between IgA deposition donors and IgA nephropathy recipients.	Biochem Biophys Res Commun. 2019 Jan 22;508(4):1106-1112.	Original Article
221	Yamamoto Y, Uemura M, Fujita M, et al.	泌尿器科	Clinical significance of the mutational landscape and fragmentation of circulating tumor DNA in renal cell carcinoma.	Cancer Sci. 2019 Feb;110(2):617-628.	Original Article
222	Jingushi K, Uemura M, Nakano K, et al.	泌尿器科	Leukocyte-associated immunoglobulin-like receptor 1 promotes tumorigenesis in RCC.	Oncol Rep. 2019 Feb;41(2):1293-1303.	Original Article
223	Kawashima A, Uemura M, Kato T, et al.	泌尿器科	Results of weekday-on and weekend-off administration schedule of sunitinib therapy for advanced renal cell carcinoma.	Int J Clin Oncol. 2019 Jan;24(1):78-86.	Original Article
224	Matsuzaki K, Fujita K, Hayashi Y, et al.	泌尿器科	STAT3 expression is a prognostic marker in upper urinary tract urothelial carcinoma.	PLoS One. 2018 Aug 9;13(8):e0201256.	Original Article
225	Hayashi T, Fujita K, Nojima S, et al.	泌尿器科	High-Fat Diet-Induced Inflammation Accelerates Prostate Cancer Growth via IL6 Signaling.	Clin Cancer Res. 2018 Sep 1;24(17):4309-4318.	Original Article
226	Yamamoto Y, Uemura M, Nakano K, et al.	泌尿器科	Increased level and fragmentation of plasma circulating cell-free DNA are diagnostic and prognostic markers for renal cell carcinoma.	Oncotarget. 2018 Apr 17;9(29):20467-20475.	Original Article
227	Tomiyama N, Yamada K, Watanabe Y, et al.	放射線診断・IVR科	The Third Asian Radiology Summit	Jpn J Radiol. 2019 Jan; 37(1):1-8.	Review
228	Wu R, Hori M, Onishi H, et al.	放射線診断・IVR科	Effects of reconstruction technique on the quality of abdominal CT angiography: A comparison between forward projected model-based iterative reconstruction solution (FIRST) and conventional reconstruction methods	Eur J Radiol. 2018 Sep; 106:100-105.	Original Article
229	Hata A, Yanagawa M, Kikuchi N, et al.	放射線診断・IVR科	Pulmonary Emphysema Quantification on Ultra-Low-Dose Computed Tomography Using Model-Based Iterative Reconstruction With or Without Lung Setting	J Comput Assist Tomogr. 2018 Sep/Oct; 42(5):760-766.	Original Article
230	Onishi H, Hori M, Ota T, et al.	放射線診断・IVR科	Phantom Study of In-Stent Restenosis at High-Spatial-Resolution CT	Radiology. 2018 Oct; 289(1):255-260.	Original Article
231	Bao S, Watanabe Y, Takahashi H, et al.	放射線診断・IVR科	Differentiating between Glioblastoma and Primary CNS Lymphoma Using Combined Whole-tumor Histogram Analysis of the Normalized Cerebral Blood Volume and the Apparent Diffusion Coefficient	Magn Reson Med Sci. 2019 Jan 10; 18(1):53-61.	Original Article
232	Yanagawa M, Hata A, Honda O, et al.	放射線診断・IVR科	Subjective and objective comparisons of image quality between ultra-high-resolution CT and conventional area detector CT in phantoms and cadaveric human lungs.	Eur Radiol. 2018 Dec; 28(12):5060-5068.	Original Article
233	Honda O, Yanagawa M, Hata A, et al.	放射線診断・IVR科	Influence of gantry rotation time and scan mode on image quality in ultra-high-resolution CT system	Eur J Radiol. 2018 Jun; 103:71-75.	Original Article
234	Arisawa A, Watanabe Y, Tanaka H, et al.	放射線診断・IVR科	Comparative study of pulsed-continuous arterial spin labeling and dynamic susceptibility contrast imaging by histogram analysis in evaluation of glial tumors	Neuroradiology. 2018 Jun; 60(6):599-608.	Original Article
235	Kimura Y, Osuga K, Ono Y, et al.	放射線診断・IVR科	Long-Term Outcomes of Selective Renal Artery Embolization for Renal Arteriovenous Fistulae with Dilated Venous Sac	J Vasc Interv Radiol. 2018 Jul; 29(7):952-957.	Original Article
236	Takahashi H, Watanabe Y, Tanaka H, et al.	放射線診断・IVR科	Quantifying changes in nigrosomes using quantitative susceptibility mapping and neuromelanin imaging for the diagnosis of early-stage Parkinson's disease	Br J Radiol. 2018 Jun; 91(1086):20180037.	Original Article
237	Hata A, Yanagawa M, Honda O, et al.	放射線診断・IVR科	Effect of Matrix Size on the Image Quality of Ultra-high-resolution CT of the Lung: Comparison of 512 × 512, 1024 × 1024, and 2048 × 2048	Acad Radiol. 2018 Jul; 25(7):869-876.	Original Article
238	Yanagawa M, Kusumoto M, Johkoh T, et al.	放射線診断・IVR科	Radiologic–Pathologic Correlation of Solid Portions on Thin-section CT Images in Lung Adenocarcinoma: A Multicenter Study	Clin Lung Cancer. 2018 May; 19(3):e303-e312.	Original Article

239	Tamari K, Oh RJ, Masai N et al.	放射線治療科	Long-term outcomes of radiotherapy regimen of 72 Gy in 30 fractions for prostate cancer.	Anticancer Res. 2018 Jul;38(7):4207-4212	Original Article
240	Toratani M, Konno M, Asai A et al.	放射線治療科	A Convolutional Neural Network Uses Microscopic Images to Differentiate between Mouse and Human Cell Lines and Their Radioresistant Clones.	Cancer Res. 2018 Dec 1;78(23):6703-6707	Original Article
241	Tamari K, Konno M, Asai A et al.	放射線治療科	Polyamine flux suppresses histone lysine demethylases and enhances ID1 expression in cancer stem cells.	Cell Death Discov. 2018 Nov 13;4:104	Original Article
242	Beshr R, Isohashi K, Watabe T, et al.	核医学診療科	Preliminary feasibility study on differential diagnosis between radiation-induced cerebral necrosis and recurrent brain tumor by means of [(18)F]fluoro-borono-phenylalanine PET/CT.	Ann Nucl Med. 2018 Dec;32(10):702-708	Original Article
243	Aoe J, Watabe T, Shimosegawa E, et al.	核医学診療科	Evaluation of the default-mode network by quantitative 15O-PET: comparative study between cerebral blood flow and oxygen consumption.	Ann Nucl Med. 2018 Aug;32(7):485-491.	Original Article
244	Inoue, N., Watanabe, M., Katsumata, Y. et al.	臨床検査部	Functional Polymorphisms of the Type 1 and Type 2 Iodothyronine Deiodinase Genes in Autoimmune Thyroid Diseases	Immunological Investigations, 2018 Jul;47(5):534-542	Original Article
245	Tanaka H, Watanabe Y, Nakamura H, et al.	放射線部	Multiple blood flow measurements before and after carotid artery stenting via phase-contrast magnetic resonance imaging: An observational study.	PLoS One. 2018 Apr 11;13(4):e0195099	Original Article
246	Shimizu K2, Yamada T, Ogura H et al.	高度救命救急センター	Synbiotics modulate gut microbiota and reduce enteritis and ventilator-associated pneumonia in patients with sepsis: a randomized controlled trial.	Crit Care. 2018 Sep 27;22(1):239	Original Article
247	Shimizu K, Ogura H, Kabata D et al.	高度救命救急センター	Association of prophylactic synbiotics with reduction in diarrhea and pneumonia in mechanically ventilated critically ill patients: A propensity score analysis	J Infect Chemother. 2018 Oct;24(10):795-801	Original Article
248	Katayama Y, Kitamura T, Hirose T et al.	高度救命救急センター	Delay of computed tomography is associated with poor outcome in patients with blunt traumatic aortic injury: A nationwide observational study in Japan.	Medicine (Baltimore). 2018 Aug;97(35):e12112	Original Article
249	Yoshioka Nori, Deguchi Matsuo, Hagiya Hideharu et.al.	感染制御部	Vaccination strategy for epidemic viral diseases in healthcare workers: Cut-off for optimal immunization.	Journal of Infection and Chemotherapy. 2019 Jan; 25-1, 78-81 / Journal of Infection and Chemotherapy. 2019 Jan (オンライン)	Others
250	Yoshioka Nori, Deguchi Matsuo, Hagiya Hideharu et.al.	感染制御部	Reduced Seroprevalence of Hepatitis A Virus Among Japanese Healthcare Workers as a Risk Factor for Occupational Infection.	Clinical Laboratory. 2018 Oct; 64(10):1791-1793 / Clinical Laboratory. 2018 Oct (オンライン)	Others
251	Naoya Iguchi, Junko Kosaka, Lindsea C. Booth et al.	移植医療部	Renal perfusion, oxygenation, and sympathetic nerve activity during volatile or intravenous general anaesthesia in sheep.	Br J Anaesth. 2019 Mar;122(3):342-349.	Original Article
252	Isomura ET, Nakagawa K, Matsukawa M, et al.	歯科治療室	Evaluation of sites of velopharyngeal structure augmentation in dogs for improvement of velopharyngeal insufficiency.	PLoS ONE • 2019. Feb (オンライン)	Original Article

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

計252件

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名・出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 卷数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名・出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Kainuma S, Nakajima K, Miyagawa S, et al.	心臓血管外科	Novel regenerative therapy combined with transphrenic peritoneoscopy-assisted omentopexy.	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2018 Jun 1;26(6):993-1001. doi: 10.1093/icvts/ivx430.	Original Article

2	Yajima S, Miyagawa S, Fukushima S, et al.	心臓血管外科	A prostacyclin agonist and an omental flap increased myocardial blood flow in a porcine chronic ischemia model.	J Thorac Cardiovasc Surg. 2018 Jul;156(1):229–241.e14. doi: 10.1016/j.jtcvs.2018.02.	Original Article
3	Yashiro K, Miyagawa S, Sawa Y.	心臓血管外科	A Lesson From the Thalidomide Tragedy—The Past Is Never Dead. It's Not Even Past. William Faulkner, From "Requiem for a Nun".	Circ J. 2018 Aug 24;82(9):2250–2252. doi: 10.1253/circj.CJ-18-0775. Epub 2018 Jul 26. No abstract available.	Review
4	Mori D, Miyagawa S, Yajima S, et al.	心臓血管外科	Cell Spray Transplantation of Adipose-derived Mesenchymal Stem Cell Recovers Ischemic Cardiomyopathy in a Porcine Model.	Transplantation. 2018 Dec;102(12):2012–2024. doi: 10.1097/TP.00000000000002385.	Original Article
5	Ohkawara H, Miyagawa S, Fukushima S, et al.	心臓血管外科	Development of a vitrification method for preserving human myoblast cell sheets for myocardial regeneration therapy.	BMC Biotechnol. 2018 Sep 10;18(1):56. doi: 10.1186/s12896-018-0467-5.	Original Article
6	Yoshida S, Miyagawa S, Fukushima S, et al.	心臓血管外科	Maturation of Human Induced Pluripotent Stem Cell-Derived Cardiomyocytes by Soluble Factors from Human Mesenchymal Stem Cells.	Mol Ther. 2018 Nov 7;26(11):2681–2695. doi: 10.1016/j.ymthe.2018.08.012. Epub 2018 Aug 16.	Original Article
7	Matsuura R, Miyagawa S, Fukushima S, et al.	心臓血管外科	Intravital imaging with two-photon microscopy reveals cellular dynamics in the ischaemia–reperfused rat heart.	Sci Rep. 2018 Oct 30;8(1):15991. doi: 10.1038/s41598-018-34295-w.	Original Article
8	Kido T, Miyagawa S, Goto T, et al.	心臓血管外科	The administration of high-mobility group box 1 fragment prevents deterioration of cardiac performance by enhancement of bone marrow mesenchymal stem cell homing in the delta-sarcoglycan-deficient hamster.	PLoS One. 2018 Dec 5;13(12):e0202838. doi: 10.1371/journal.pone.0202838. eCollection 2018.	Original Article
9	Ito E, Miyagawa S, Takeda M, et al.	心臓血管外科	Tumorigenicity assay essential for facilitating safety studies of hiPSC-derived cardiomyocytes for clinical application.	Sci Rep. 2019 Feb 13;9(1):1881. doi: 10.1038/s41598-018-38325-5.	Original Article
10	Ohashi F, Miyagawa S, Yasuda S, et al.	心臓血管外科	CXCL4/PF4 is a predictive biomarker of cardiac differentiation potential of human induced pluripotent stem cells.	Sci Rep. 2019 Mar 15;9(1):4638. doi: 10.1038/s41598-019-40915-w.	Original Article
11	Mori D, Miyagawa S, Matsuura R, et al.	心臓血管外科	Pioglitazone strengthens therapeutic effect of adipose-derived regenerative cells against ischemic cardiomyopathy through enhanced expression of adiponectin and modulation of macrophage phenotype.	Cardiovasc Diabetol. 2019 Mar 22;18(1):39. doi: 10.1186/s12933-019-0829-x.	Original Article
12	Miyagawa S, Pak K, Hikoso S, et al.	心臓血管外科	Japan Heart Failure Model —Derivation and Accuracy of Survival Prediction in Japanese Heart Failure Patients —	Circ Rep, 1(1) 29–34	Review
13	Kato R, Nakajima K, Takahashi T, et al.	消化器外科	Validation of new Japanese classification system for esophageal achalasia.	Esophagus. 2019 Feb (オンライン)	Original Article
14	Fukuoka T, Bessho K, Tachibana M, et al.	小児科	Total bile acid concentration in duodenal fluid is a useful preoperative screening marker to rule out biliary atresia.	Journal of pediatric gastroenterology and nutrition, 67 (3) :383–387, 2018.	Original Article
15	Kimura T, Ozaki T, Fujita K, et al.	小児科	Proposal of patient-specific growth plate cartilage xenograft model for FGFR3 chondrodysplasia.	Osteoarthritis and cartilage, 26 (11) :1551–1561, 2018.	Original Article
16	Tanigawa J, Kagitani-Shimono K, Matsuzaki J, et al.	小児科	Atypical auditory language processing in adolescents with autism spectrum disorder.	Clin Neurophysiol, 129 (9) :2029–2037, 2018.	Original Article
17	Akiyama T, Kubota T, Ozono K, et al.	小児科	Pyridoxal 5'-phosphate and related metabolites in hypophosphatasia: Effects of enzyme replacement therapy.	Molecular Genetics and Metabolism, 125(1-2), 174–180, 2018	Original Article
18	Azuma J, Yamamoto T, Sakurai M, et al.	小児科	Urinary β 2-microglobulin as an early marker of infantile enterovirus and human parechovirus infections.	Medicine (Baltimore) 97 (43) :e12930, 2018.	Original Article

(注 1) 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
 2) 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無
・ 手順書の主な内容 「大阪大学医学部附属病院における倫理審査委員会標準業務手順書」において、倫理審査委員会の運営に必要な手続き等を定めている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回（介入研究） 年12回（観察研究） (参考：臨床研究法にもとづく 大阪大学臨床研究審査委員会は 年14回)

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に
「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有・無
・ 規定の主な内容 審議事項、組織、手続き、指導及び勧告	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年11回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 8 回
-----------------------	-------

研修の主な内容：

1. 阪大臨床研究講習会
研修の主な内容：モニタリング、臨床研究の留意点、監査、EDCとデータモニタリング、
臨床研究法対応など
実施回数：年 6 回
参加人数：1661名（医師含む）

2. 倫理審査委員会・治験審査委員会委員養成研修
研修の主な内容：審査のポイント、倫理審査中央化の要点、臨床研究法への対応を解説。
模擬委員会による実習。
実施回数：平成30年度実績 1回（420分）
参加人数：59名（院外）

3. 臨床研究・治験従事者研修
研究の主な内容：研究者の注意すべきポイント、品質管理と保証、ワークショップ
実施回数：平成30年度実績 1回（420分）
参加人数：28名（院外）

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

臨床研修を修了した専攻医を対象に、臨床医学系専門領域における専門医を取得することを目的に「阪大病院専門研修プログラム」を行っており、本院では全19の基本領域の基幹施設となっている。内科、外科領域では、内科専門医、外科専門医を取得したのち、さらにサブスペシャルティー専門医取得を継続して目指すプログラムとなっている。同時に全領域とも、大阪・阪神間にある基幹病院を中心とする他プログラムの連携施設として参加しており、阪大病院全体として強固かつ密な地域医療ネットワークの中心リーダーとして教育病院の責任を果たしている。

各領域のプログラムは様々なローテートのパターンを準備しており、本人の興味や希望、ライフイベントに合わせたキャリア形成をサポートしていく体制を整えている。様々なローテートパターンの中には、医学系研究科と密接に連携するコースも含んでおり、大学院に進学し臨床と直結した形で病態や治療に関する基礎研究を行えることは大学病院ならではであり、高い研究マインドを持った医師の養成も積極的に行っている。

また当院は高度急性期医療を扱う「特定機能病院」、高度先端技術の提供・開発・評価・教育を担う「臨床研究中核病院」「がんゲノム医療中核拠点病院」など様々な認定を受けており、移植や困難症例、危機状況への対応法を学ぶ機会も多く、高度な先端医療技術や臨床研究、臨床経験、再生医療、ゲノム医療、国際医療を行うとともに、関連するセミナーが日常的に開催されており、豊富な教育の機会を提供している。このような環境下、そして多彩なキャリアパスを備えたキャリア形成システムを通じ、高度な臨床能力を持った専門医を多数養成している。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	174	人
-------------	-----	---

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
大濱 透	循環器内科	助教	22年	
高畠 義嗣	腎臓内科	講師(診療局長、副科長、医局長)	22年	
林 義人	消化器内科	助教	17年	
小澤 純二	糖尿病・内分泌・代謝内科	寄附講座准教授	22年	
平田 陽彦	呼吸器内科	助教(外来医長)	15年	
檜崎 雅司	免疫内科	特任教授(病院教授)	32年	感染症内科 アレルギー科 リウマチ科
柴山 浩彦	血液・腫瘍内科	准教授(診療局長 病院教授)	28年	
奥野 龍禎	神経内科・脳卒中科	講師(外来医長)	23年	

鷹見 洋一	老年・総合内科	助教 (外来医長)	21年	
吉岡 大輔	心臓血管外科	助教 (診療局長)	17年	
舟木 壮一郎	呼吸器外科	講師 (診療局長)	18年	
高橋 剛	消化器外科	助教 (診療局長)	21年	
島津 研三	乳腺・内分泌外科	講師 (診療局長)	26年	
田附 裕子	小児外科	准教授 (副科長・診療局長)	25年	
大家 義則	眼科	助教	18年	
端山 昌樹	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	助教	17年	
田中 啓之	整形外科	特任教授	22年	
壽 順久	皮膚科	助教 (副科長・診療局長)	18年	
富田 興一	形成外科	助教 (副科長・診療局長)	19年	
田上 真次	神経科・精神科	講師 (診療局長)	23年	
中村 元	脳神経外科	助教 (診療局長)	20年	
入嵩西 育	麻酔科	助教	19年	
富松 拓治	産科・婦人科	准教授 (副科長・医局長)	25年	
石田 秀和	小児科	助教 (外来医長)	17年	
福原 慎一郎	泌尿器科	講師 (診療局長)	19年	
大西 裕満	放射線診断・IVR科	講師	22年	
磯橋 文明	放射線治療科	准教授 (副科長)	19年	
内山 昭則	集中治療部	准教授 (副部長・病院教授)	30年	
松井 崇浩	病理部	助教	14年	
中神 太志	総合診療科	助教 (副科長・診療局長)	18年	
小倉 裕司	高度救命救急センター	准教授 (副センター長・病院教授)	31年	
日高 洋	臨床検査部	准教授 (部長・病院教授)	32年	
渡部 直史	核医学診療科	助教 (外来医長)	15年	
菅本 一臣	リハビリテーション部	寄附講座教授 (副部長)	37年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

- 1) 大阪大学臨床栄養研究会(CNC)
臨床栄養に関するテーマ
毎月1回（8月、12月、2月以外）
平成30年度のべ415名
- 2) 栄養マネジメント部研修会（食事・栄養に関するテーマ）
経腸栄養剤とペプタメンインテンスについて（2018/4/17）10名
期待のビタミン葉酸の働き（2018/5/17）9名
アミノレバノンについて（2018/6/8）10名
嚥下について（2018/7/26）9名
ケトン食の取り組みと課題 全国国立大学病院Basic研修会発表準備（2018/10/26）7名
がんと栄養について（2018/11/22）10名
がん治療中の食事について 阪大病院がんサロン講演準備（2018/12/19）6名
半固体化栄養剤について（2019/1/25）9名
動脈硬化性疾患者の栄養管理 動脈硬化学会教育フォーラム講演準備1（2019/2/20）7名
動脈硬化性疾患者の栄養管理 動脈硬化学会教育フォーラム講演準備2（2019/3/1）7名
- 3) 国公私立大学医療技術関係職員研修（栄養士）
2日間（2018/11/8～11/9）1回/年 1名
- 4) 阪大GCPセミナー
内容：治験を実施するための基礎的知識の習得を目的とするとともに、治験の現状と問題点、今後の方針について内部、外部の講師が体系的に解説・説明する
期間・回数：平成30年4月～平成31年3月 全9回
17:30～19:00（75分の講演と15分間の質疑応答）
参加人数：延べ371人（院内 院外）（平均41人/回）（医師含む）
- 5) 阪大臨床研究講習会
研修の主な内容：モニタリング、臨床研究の留意点、監査、EDCとデータモニタリング、臨床研究法対応など
実施回数：年6回
参加人数：1661名（医師含む）
- 6) 阪大モニタリング講習会
研修の主な内容：
基本 モニタリングの基本、直接閲覧（演習）
更新 規制とモニタリング動向
専門 モニタリングの実務
実施回数：平成30年度実績 座学3回、e-learning
参加人数：847名（院内 院外）（医師含む）

7) 倫理審査委員会・治験審査委員会委員養成研修

研修の主な内容：審査のポイント、倫理審査中央化の要点、臨床研究法への対応を解説。
模擬委員会による実習。

実施回数：平成30年度実績 1回 (420分)

参加人数：59名 (院外) (医師含む)

8) 上級臨床研究コーディネーター養成研修

研修の主な内容：

1日目

【講義】

1. 臨床研究に関する規制要件の動向と運用
2. 國際共同試験の動向と対応
3. 臨床研究における組織マネジメント
4. 臨床研究におけるプロジェクトマネジメントの本質と適用—医師主導治験を中心に—
5. 全国の人々に知ってもらおう！「CRC認知度向上作戦！」
6. 臨床研究チームのコーディネーション

【演習】「大規模災害時において上級者CRCがとるべき行動とは」

2日目

【講義】

7. 臨床研究法の施行～医療機関としての対応～
8. ACRPに参加した経験談
9. 評価療養（患者申出療養・先進医療）と周辺制度、再生医療について
10. ICの概念とその運用
11. Data Integrityの概念と実施施設におけるデータマネジメント
12. 臨床研究関係者に対するコンサルテーションと教育

【演習】組織力アップのために上級者CRCが取り組めること

実施回数：平成30年度実績 1回 (1日目：420分、2日目：390分)

参加人数：44名 (院外)

9) 海外医療従事者研修

研修の主な内容：病院見学、現場研修（診療行為を行わない）

研修の期間・実施回数：1日間×3回、3週間×1回

研修の参加人数： 81名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

1) 摂南大学薬学部学生インターンシップ

内容：講義、関連施設見学、CRC業務の実際：CRC同行（OJT） 、

ロールプレイング：インフォームドコンセント、報告会

期間・回数：平成30年8月1日（水）～3日（金）：9時00分～17時00分 3日間

参加人数：5名

2) 阪大GCPセミナー

内容：治験を実施するための基礎的知識の習得を目的とともに、治験の現状と問題点、今後の方向性について内部、外部の講師が体系的に解説・説明する

期間・回数：平成30年4月～平成31年3月 全9回

17：30～19：00（75分の講演と15分間の質疑応答）

参加人数：延べ371人（院内 院外）（平均41人/回）

3) 阪大モニタリング講習会

研修の主な内容：

基本 モニタリングの基本、直接閲覧（演習）

更新 規制とモニタリング動向

専門 モニタリングの実務

実施回数：平成30年度実績 座学3回、e-learning

参加人数：847名（院内 院外）（医師含む）

4) 阪大モニタリング講習会（学外開催）

研修の主な内容：モニタリングに従事する者、実施する者へのモニタリング講習

1) 和歌山県立医科大学附属病院 モニタリングセミナー

臨床研究法施行に向けたモニタリングのためのセミナー

2) 兵庫医科大学 モニタリングセミナー

臨床研究法施行に向けたモニタリングのためのセミナー

3) 大阪医科大学 モニタリングセミナー

臨床研究法施行に向けたモニタリングのためのセミナー

実施回数：平成30年度実績 座学3回

参加人数：191名

5) 倫理審査委員会・治験審査委員会委員養成研修

研修の主な内容：審査のポイント、倫理審査中央化の要点、臨床研究法への対応を解説。

模擬委員会による実習。

実施回数：平成30年度実績 1回（420分）

参加人数：59名（院外）

6) 臨床研究・治験従事者研修

研究の主な内容：研究者の注意すべきポイント、品質管理と保証、ワークショップ

実施回数：平成30年度実績 1回（420分）

参加人数：28名（院外）

7) 上級臨床研究コーディネーター養成研修

研修の主な内容 :

研修の主な内容 :

1日目

【講義】

1. 臨床研究に関する規制要件の動向と運用
2. 国際共同試験の動向と対応
3. 臨床研究における組織マネジメント
4. 臨床研究におけるプロジェクトマネジメントの本質と適用－医師主導治験を中心に－
5. 全国の人々に知ってもらおう！「CRC認知度向上作戦！」
6. 臨床研究チームのコーディネーション

【演習】「大規模災害時において上級者CRCがとるべき行動とは」

2日目

【講義】

7. 臨床研究法の施行～医療機関としての対応～
8. ACRPに参加した経験談
9. 評価療養（患者申出療養・先進医療）と周辺制度、再生医療について
10. ICの概念とその運用
11. Data Integrityの概念と実施施設におけるデータマネジメント
12. 臨床研究関係者に対するコンサルテーションと教育

【演習】組織力アップのために上級者CRCが取り組めること

実施回数：平成30年度実績 1回（1日目：420分、2日目：390分）

参加人数：44名（院外）

8) 平成30年度 中・上級データマネジャー養成研修

研修の主な内容：初級DM養成研修をすでに受講している者の中から、臨床研究及び治験のデータマネジメント責任者としての経験がある、または今後経験する予定の者を対象とし、プロジェクト全体を見据えたデータマネジメント計画を立案できるよう、ソフトスキルを含むプロジェクトマネジメントのノウハウ、リスクアセスメントの観点からのプロトコールレビュー、リスクベースドアプローチに基づいたデータクリーニング計画の立案や、品質マネジメントシステム実装の方法論等を、講義や実習を交えながら学ぶカリキュラムで実施した。

研修の期間・実施回数：2018年11月17日・18日（1回）

研修の参加人数： 33名

（注）1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

（注）2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2). 現状
管理責任者氏名	病院長 木村 正
管理担当者氏名	総務課長 脇元 直彦 医事課長 岩谷 好和 薬剤部長 奥田 真弘 放射線部長 富山 憲幸

規則 第二十二条 の第三項 に掲げる事項	保管場所	管理方法
病院日誌	総務課	カルテ等病歴資料は、1患者1カルテとし、コンピュータによる集中管理を行っている。
各科診療日誌	各診療科	
処方せん	薬剤部	
手術記録	手術部	
看護記録	看護部	
検査所見記録	医事課	
エックス線写真	放射線部	
紹介状	医事課	
退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医事課	◆ 診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱い 開示請求に基づき、診療記録のコピーを患者等に渡す場合は、患者からの請求に応じ、定められた手順に則り、当該患者の情報のみを印刷し渡すこととしている。 電子カルテを病院外から閲覧することは基本的にはできないが、治験における治験依頼者による原資料の確認の際に、当該患者の記録のみ、患者の同意を得た上で、病院が提供する端末を用いて病院外の指定する場所から閲覧することを許可している。また、セキュアなネットワークを引いた一部の医療機関に対して、その医療機関と当院が共同して診療に当たっている患者について、患者の同意が得られた場合に、診療記録の一部の閲覧を可能としている。
規則 第三項 に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
病院の管理及び運営に関する諸記録	高度の医療の提供の実績	医事課
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課
	高度の医療の研修の実績	総務課
	閲覧実績	総務課

規則 第一項 第一条 第一項に 掲げ る第一 項に	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	中央クオリティマネジメント部 医事課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	中央クオリティマネジメント部 医事課	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録 規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	
	院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課	
	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課 感染制御部	
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	感染制御部	
	医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	薬剤部	
	医療機器安全管理責任者の配置状況	医療技術部	
	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療技術部	
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療技術部	
	医療機器の安全使用のために必要な情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	医療技術部	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録 規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部 総務課	
	医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	
	医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課	
	診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課	
	医療安全管理部門の設置状況	中央クオリティマネジメント部 医事課	
	高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課	
	未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医事課	
	監査委員会の設置状況	総務課	
	入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	中央クオリティマネジメント部 医事課	
	他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	
	医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課	
	職員研修の実施状況	医事課	
	管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課	
	管理者が有する権限に関する状況	総務課	
	管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課	
	開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	② 現状	
閲 覧 責 任 者 氏 名	総務課長 脇元 直彦		
閲 覧 担 当 者 氏 名	総務課庶務係長 山上 徹		
閲 覧 の 求 め に 応 じ る 場 所	総務課庶務係		
閲覧の手続の概要			
閲覧への希望が庶務係にあった場合に対応。			

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延 0 件
閲 覧 者 別	医 師 延 0 件
	歯 科 医 師 延 0 件
	国 延 0 件
	地 方 公 共 団 体 延 0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容 : <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者中心の医療の実践 2. 診療情報の共有 3. 医療安全に関する組織的取り組み 4. インシデントの報告 5. 機能する医療事故防止対策 6. 適切な医療事故への対応 7. 患者からの医療相談の実施 8. 医療安全情報の共有 9. 職員に対する教育研修 10. 医療安全文化の構築 11. 医療安全管理マニュアルの作成・更新 12. 医療安全管理に関する指針の公開 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無) ・ 開催状況 : 年 31 回 ・ 活動の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> ・ 統括医療安全管理委員会 : 本院における医療に係る安全管理について 統括する 年 11 回 ・ リスクマネジメント委員会 : 医療事故の防止策を策定する 年 6 回 ・ 医療クオリティ審議委員会 : 医療の質の向上を図る 年 14 回 ・ 医療事故対策委員会 : 医療事故が発生した場合の必要な対応を行う 年 0 回 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容 (すべて) : <p>「手術及び処置前の抗血栓薬休薬院内指針について」 「急性呼吸不全のモニタリングと対応方法」</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無) ・ その他の改善の方策の主な内容 : <p>問題点の把握状況 (方法)</p> <p>【各部署】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インシデントをインターネット (インシデントレポート、医療クオリティ審議依頼書) から報告 (原則として当事者) するとともに、部署リスクマネジャーへ報告する。 <p>【リスクマネジメント委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インシデントレポートのモニタリング (毎日・当番制、要IDとパスワード) ・ 年1回以上の院内ラウンドにて現場の課題を把握 <p>【医療クオリティ審議委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療クオリティ審議依頼書への報告内容の把握 	

【中央クオリティマネジメント部】

- ・インシデントレポート、モニター報告や提出された医療クオリティ審議依頼書の内容をもとに、専任リスクマネジャーにより、事例に関する問い合わせ、現場の確認等を行う

問題点の分析状況（方法）

【各部署・部門等】

- ・当該部署、部門等にて事例の根本原因を分析

【リスクマネジメント委員会】

- ・当番委員によりインシデントの背景要因、予防可能性等を分析

【医療クオリティ審議委員会】

- ・委員会において、医療クオリティ審議依頼書、報告者および関係者からのヒアリング、多職種からなる委員の意見をもとにインシデントの背景因子を多角的に分析

【中央クオリティマネジメント部】

- ・専任リスクマネジャーによりインシデント発生状況を把握し背景因子を多職種で分析

改善策の検討状況（方法）

【各部署・部門等】

- ・当該部署、部門等にてリスクマネジャーもしくは医療安全担当者が中心となり、改善策等を検討。必要に応じ、専任リスクマネジャーが介入。

【リスクマネジメント委員会】

- ・インシデントの要旨と解決すべき課題、再発防止策を提示

- ・インシデントを未然に防ぐための先行的対策について検討

- ・院内の他の委員会や他部門への検討や改善の申し入れ

【医療クオリティ審議委員会】

- ・審議依頼事例について、関係診療科・部門への再発防止策の検討や改善を指示

- ・各診療科・部門から提出された再発防止策について承認

【中央クオリティマネジメント部】

- ・専任リスクマネジャーによるインシデントに関する問い合わせ、現場の点検、改善の支援

- ・事故防止策を実行するために必要な業務の実施、他部門との連携協力

- ・リスクマネジャーーリングリストによる情報提供

- ・院内ラウンド、院内相互チェックの実施計画

- ・リスクマネジャー会議（運営部会）の開催

- ・教育のための教材を作成・教育の実施

- ・リスクマネジメントニュースの作成・発行（警鐘事例等の共有）

- ・QM（クオリティマネジメント）ニュース（医療安全広報誌）の作成・発行

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> 院内感染対策に関する基本的な考え方 院内感染対策のための委員会、組織についての基本的事項 感染制御部の設置と目的 院内感染対策の対象者 院内感染対策の内容 院内感染対策のための従事者研修の基本方針 感染症発生状況の報告の基本方針 患者等に対する指針閲覧に関する基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> 感染対策委員会 : <ul style="list-style-type: none"> ①院内感染症の届出状況や抗菌薬の使用状況等の報告 ②院内感染対策についての審議 (感染対策の重要事項に関すること、必要に応じての指導助言に関すること、院内感染防止対策の施設基準に関すること等) 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 42回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容 (すべて) : <ul style="list-style-type: none"> 全職員対象: 2回/年 医療関連感染対策 対象別教育 <ul style="list-style-type: none"> ・新採用者 (医師、研修医、看護師) -院内感染対策の基本についての講義と演習(5回) ・感染管理リンクナース、感染制御部運営委員に対する感染制御活動の報告、研修 (9回) ・部署単位での勉強会-耐性菌対策、抗菌薬の適正使用など部署の問題に応じた内容 (11回) ・外部委託業者 (清掃員、洗浄員、受付、メッセージヤーなど) インフルエンザ対策 (11回) ・地域連携 (吹田保健所管内医療機関連絡会議、吹田保健所管内の高齢者施設支援)において、医療関連感染対策の研修 (4回) 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有) ・ その他の改善の方策の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> ・ ICTラウンド (週1回環境ラウンド、随時感染対策ラウンド) <ul style="list-style-type: none"> 感染管理に視点における環境管理状況の確認を年間通して部署のラウンドを実施 ・ 耐性菌検出システム (ICTWeb®) を使用して、薬剤耐性菌検出状況を毎日監視し、感染対策の実施状況を確認。また、海外渡航歴や治療歴のある方の中でリスクのある方は、耐性菌スクリーニングを実施 ・ サーベイランス <ul style="list-style-type: none"> 耐性菌サーベイランスを元にした介入 (MRSA、MDRP、ESBL産生株など) デバイスサーベイランス実施部署 : ICU (VAE) 、救命救急センター : (UTI) 、東10、西10階病棟 (CLABSI) ・ 手術部位感染サーベイランス 実施部署 : 消化器外科 ・ 抗菌薬適正使用に向けた活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 投薬開始4日目を目途に適正使用について検討する ・ 8日以上の継続使用には、抗菌薬継続使用届の追加届出を必要とする ・ 対象患者のリストアップは専任薬剤師によって行う ・ 感染症治療コンサルテーション、感染制御コンサルテーションの実施 ・ 手指衛生啓発の強化 (医療者、患者家族への啓発) 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 8 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容 :	
<p>平成30年度の講習会実施実績</p>	
<ul style="list-style-type: none">・ 6月21日 第1回医薬品安全講習会（阪大病院フォーラム） 「規制医薬品の安全管理～麻薬を中心～」 参加者数 78名	
<ul style="list-style-type: none">・ 10月11日 第2回医薬品安全講習会（阪大病院フォーラム） 「手術及び処置前に休薬を考慮すべき抗血栓薬について」 参加者数 89名	
<ul style="list-style-type: none">・ 11月26日 医薬品安全管理講習会（リスクマネジメント・感染対策講習会と共に） 「抗がん剤適正使用に対する薬剤師の関わり」 「B型肝炎ウイルス再活性化に対する考え方」 参加者数 223名	
<ul style="list-style-type: none">・ 12月7日 同上 参加者数 95名	
<ul style="list-style-type: none">・ 12月10日 同上 参加者数 122名	
<ul style="list-style-type: none">・ 12月11日 同上 参加者数 84名	
<p>e-Learning</p>	
<ul style="list-style-type: none">参加者数 1865名	
<ul style="list-style-type: none">・ 2月14日 第3回医薬品安全講習会（阪大病院フォーラム） 「疑義照会を介した医療安全への貢献」 参加者数 82名	
<p>③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況</p>	
<ul style="list-style-type: none">・ 手順書の作成 (有・無)	
<ul style="list-style-type: none">・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容 :	
<ul style="list-style-type: none">・ 病院等で用いる医薬品の採用・購入に関する事項	
<ul style="list-style-type: none">・ 医薬品の管理に関する事項（医薬品の保管場所、薬機法※等で適切な管理が求められている医薬品（麻薬、向精神薬、覚せい剤原料、毒薬・劇薬、特定生物由来製品）の管理方法）	
<ul style="list-style-type: none">・ 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項（患者情報—服用歴、持参薬—の収集）、処方箋の記載方法、調剤方法、処方箋や調剤薬の鑑査方法）	
<ul style="list-style-type: none">・ 患者に対する与薬や薬剤管理指導（服薬指導）に関する事項	
<ul style="list-style-type: none">・ 医薬品の安全使用にかかる情報の取扱い（収集、提供）に関する事項	
<ul style="list-style-type: none">・ 他施設（病院、薬局）との連携に関する事項	
<p>※薬機法：医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律</p>	
<p>④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況</p>	
<ul style="list-style-type: none">・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)	
<ul style="list-style-type: none">・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：	

- ・胆管癌に対するオラパリブを用いた治療
 - ・結膜腫瘍に対する5-FU点眼剤（院内製剤）を用いた治療
 - ・ヨードアレルギー患者に対するガドリニウム造影剤を使用した血管内治療
 - ・グルコン酸カルシウムゼリーによる、フッ化水素による経皮吸収抑制、低カルシウム血症予防
 - ・胃癌・食道癌に対するICG蛍光法によるセンチネルリンパ節およびリンパ管の同定
 - ・トリパンブルーを用いた前嚢切開
 - ・インドシアニングリーンを用いた内境界膜染色
- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :

重要安全情報の発信（委員および各部署医薬品安全管理者に速報）

- ・医薬品・医療機器等安全性情報（厚労省）No. 352～361速報及び配布
- ・PMDA・製薬企業から￥の医薬品適正使用のお願い等の速報及び配布
- ・医薬品安全関連情報、院内副作用情報の院内HP上の提供
- ・院内HP上の情報提供（配合降圧剤の成分一覧表、配合糖尿病治療薬の成分一覧表、配合点眼薬の成分一覧表、インスリン等の保管方法・使用期限等）
- ・院内医薬品集の発行
- ・医療安全関係マニュアル内の「麻薬処方」「毒薬管理」「向精神薬管理」の改訂
- ・ハイリスク薬表改訂
- ・「救急力アート薬剤チェック表」の改訂
- ・未承認新規医薬品等診療審査部にて承認された医薬品等の情報の収集
- ・薬剤師による持参薬確認時や調剤時等に把握できた適応外・禁忌等に該当する処方に関する情報の収集

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年224回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> 新しい医療機器の導入時の研修 : 130回 特定機能病院における定期研修（特に安全使用に際して技術の習熟が必要と考えられる機器の研修） : 94回 <ul style="list-style-type: none"> 医療機器安全管理講習会 医療機器・医薬品安全講習会 医療機器安全使用研修 MRI装置の安全管理講習会 医療技術部医療安全研修（患者動作介助を含む） 部署研修（人工心肺・補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動器、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置） 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> 医療機器に係る計画の策定 (有・無) 機器ごとの保守点検の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> 人工心肺・補助循環装置 : 45台 人工呼吸器 : 143台 血液浄化装置 : 52台 除細動器 : 42台 閉鎖式保育器 : 9台 診療用高エネルギー放射線発生装置 : 3台 診療用放射線照射装置 : 1台 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば） : その他の改善の方策の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> 医療機器に対する安全使用研修の必要性を院内のリスクマネージャを対象とした会議や職員を対象とした医薬品・医療機器安全管理講習会で広報 各診療科と病棟に医療機器安全管理責任者名で研修様式を配布し啓発 院内に納入される医療機器について納入業者から機器納入実績を医療機器安全管理責任者に報告するシステムの継続運用 医療機器の安全使用のためのe-learning素材を作成し、研修を受講しやすい環境を提供

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 	
<p>本院における医療に係る安全管理について統括するため、統括医療安全管理委員会を設置しており、医療安全担当の副病院長（医療安全管理責任者）が同委員会の委員長となっている。同委員会にリスクマネジメント委員会及び医療クオリティ審議委員会（医療安全管理部門である中央クオリティマネジメント部が主管）、医薬品安全管理委員会（医薬品安全管理責任者である薬剤部長が委員長）、医療機器安全管理委員会（医療技術部長が委員長（医療機器安全管理責任者は医療技術部副部長）を置き、統括医療安全管理委員会委員長（医療安全管理責任者）が統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（8名）
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤部内の医薬品情報管理室（DI室）に専任の薬剤師を配置し、医薬品情報の収集・管理を行う。 ・「Drug Information News」について、配布印刷物の冒頭に設けた「回覧状況確認欄」を利用して、次号発行までに各部署内で情報の周知を図る。回覧終了後の紙面を薬品情報管理室（DI室）へFAXすることで、薬剤部が情報周知徹底の確認を行う。 ・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> ・未承認新規医薬品等診療審査部にて情報収集・管理を行い、薬品情報管理室においても情報を共有する。また、薬剤師による持参薬確認時や調剤時等に把握した適応外使用、禁忌使用に関して、共有ファイルにて収集・管理する。必要に応じて、病棟薬剤師や調剤室、薬品情報管理室の薬剤師より処方した医師に対して、処方の必要性やリスク検討の有無、処方の妥当性を確認し、場合によっては未承認新規医薬品等診療審査部への申請を促す。 ・担当者の指名の有無（有・無） ・担当者の所属・職種： <ul style="list-style-type: none"> （所属：薬剤部，職種 薬剤師） （所属：，職種） （所属：，職種） （所属：，職種） （所属：，職種） 	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 <input checked="" type="radio"/> 有・無 ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：定期的に各診療科・各中央診療施設のインフォームド・コンセントの実施状況を確認する。適切でない事例が認められる場合は、必要な指導を行うとともに当該事例を院内に周知する。 	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有
<p>・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容 :</p> <p>診療情報管理士が毎日、退院時サマリの確認を実施。修正依頼は適宜対応。月に一度、手術記録、カウンターサインの確認を実施し、作成状況や督促を各診療科の病歴管理委員宛に通知。ピアレビューは3か月に一度、医師4人が自科他科のカルテを監査し、結果を該当診療科へ通知。年間の結果は、病歴管理委員会で資料を配布し、周知を図る。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有
<p>・ 所属職員 : 専従(8)名、専任(4)名、兼任(3)名</p> <p>うち医師 : 専従(4)名、専任()名、兼任()名</p> <p>うち薬剤師 : 専従(1)名、専任()名、兼任(1)名</p> <p>うち看護師 : 専従(3)名、専任()名、兼任(1)名</p> <p>(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・ 活動の主な内容 :</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インシデントの調査・分析・レポート管理 2. 医療事故防止方策の検討・実施・評価 3. リスクマネジヤー会議の開催 4. 職員研修の企画・実施 5. 医療安全推進及び教育のための教材の開発・活用 6. 現場のリスクマネジャー支援 7. 他の委員会や部署、各職種間の連絡調整 8. リスクマネジメント委員会等の開催準備及び支援 9. 医療事故後の患者及び家族等への対応支援等 10. 全死亡症例の把握・検証 11. 高難度新規医療技術および未承認新規医薬品を用いた医療の導入に係る委員会への参画 <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p> <p>※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p> <p>医療安全に資するモニタリング項目は以下の7つであり、リスクマネジメント委員会および病院運営会議で報告を行っている : 1. 手術あり肺血栓塞栓症予防対策実施率 2. 手術あり患者の肺塞栓症の発生率 3. 手術安全チェックリスト使用率 4. 初回抗がん剤導入前のHBVスクリーニング実施率 5. 内視鏡治療例での気道確保困難チェックリスト使用率 6. 2週間以内の退院サマリ作成率 7. 臨床工学部から貸し出した人工呼吸器の日常点検実施率 8. 病理検査及び画像検査における重要所見ToDoの翌月までの消去率</p>	

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（7件）、及び許可件数（7件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・ 無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・ 無）
- ・活動の主な内容：

診療科長から高難度新規医療技術を用いた診療の提供の申請が行われた場合、申請内容の確認を行うとともに、高難度新規医療技術評価委員会に、当該高難度新規医療技術を用いた診療の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ適否を決定する。

また、定期的及び術後に患者が死亡した場合など必要に応じて当該医療の提供が適正な手続きで行われていたか、診療録等の確認や従事者の遵守状況の確認を行い、病院長に報告する。

- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有・ 無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ 有・ 無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（7件）、及び許可件数（7件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・ 無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・ 無）
- ・活動の主な内容：

業務内容としては、診療科長から未承認新規医薬品等を用いた診療の提供の申請が行われた場合、申請内容の確認をするとともに、未承認新規医薬品等診療評価委員会に、当該未承認新規医薬品等を用いた診療の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ適否を決定する。また定期的及び術後に患者が死亡した場合など必要に応じて当該医療の提供が適正な手続きで行われていたか、診療録等の確認や従事者の遵守状況の確認を行い、病院長に報告する。

- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 無)
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (有 無)

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 209 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 42 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

【院内死亡症例】

院内死亡症例は全例、診療科内で検証され、その結果は院内死亡症例報告書に入力される。医療クオリティ審議委員会での検討が必要と判断されれば、医療クオリティ審議依頼書を提出する。また、診療科とは独立して中央クオリティマネジメント部でも毎週、多職種で全死亡症例を把握・検証している。診療科長および中央クオリティマネジメント部部長の確認結果を医療クオリティ審議委員会において医療安全管理責任者に報告する。医療安全管理責任者は病院運営会議において管理者に報告する。平成 28 年 9 月 20 日より運用を開始している。

【管理者が定める水準以上の事象】

平成 14 年から全国立大学医学部附属病院で使用している影響レベルのうちレベル 3b 以上は管理者が定める水準以上の事象として、月 1 回開催される医療クオリティ審議委員会において医療クオリティ審議依頼書で報告のあった事象の事実関係の調査・把握を行い、報告された事象が、医療事故か否かを判断する。また、日本医療機能評価機構、及び医療事故調査制度に伴う報告事例を審議する。その後、病院運営会議、統括医療安全管理委員会で報告される。

事故と判断された場合には、速やかに医療事故対策委員会を立ち上げて、患者や家族等及び医療事故を起こした当事者や部署に対して、必要な支援を行う。医療事故に関して、情報収集・統合、分析、意思決定、関係機関への報告、院内外への公表を行う。

⑨ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り (有 (病院名：横浜市立大学附属病院) ・無)
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ (有 (病院名：札幌医科大学附属病院) ・無)

・技術的助言の実施状況

特になし

⑩ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者及びその家族からの医療に関する相談・ご意見に対して、その内容の迅速な解決のために適切な処理を行うことを目的とした患者相談室を設置している。病院長は、相談等の内容が本院の医療安全管理体制確保に有益であると認められるときは、関係部署及び関係委員会に対して検討及び改善を指示することができる。

⑪ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

・研修の実施状況

リスクマネジメント講習会にて、特定機能病院としての高度な医療を提供するために必要な知識について研修を行った。

平成 28 年度医療法改正に関する研修は 11 月 28 日リスクマネジメント講習会で教育した。平成 30 年度改正に関しては、令和元年度 6 月に実施した。これらはその後、e ラーニングシステムにアップロードしており、いつでも学習可能な状況にある。

また、これまでの監査委員会では研修対象に該当する事項を指摘されていない。

(注) 前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑫ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

【管理者】

平成 30 年度特定機能病院管理者研修（主催：公益財団法人日本医療機能評価機構）

⇒平成 30 年 9 月 17 日～9 月 18 日受講済

令和元年度特定機能病院管理者研修（主催：公益財団法人日本医療機能評価機構）

⇒令和2年1月7日受講予定

【医療安全管理責任者】

平成30年度特定機能病院管理者研修（主催：公益財団法人日本医療機能評価機構）

⇒平成30年9月17日～9月18日受講済

令和元年度特定機能病院管理者研修（主催：公益財団法人日本医療機能評価機構）

⇒令和2年1月7日受講予定

【医薬品安全管理責任者】

平成30年度特定機能病院管理者研修（主催：公益財団法人日本医療機能評価機構）

⇒平成30年9月17日～9月18日受講済

令和元年度特定機能病院管理者研修（主催：公益財団法人日本医療機能評価機構）

⇒令和元年10月11日受講予定

【医療機器安全管理責任者】

平成30年度特定機能病院管理者研修（主催：公益財団法人日本医療機能評価機構）

⇒平成31年1月21日～1月22日受講済

令和元年度特定機能病院管理者研修（主催：公益財団法人日本医療機能評価機構）

⇒令和元年12月16日受講予定

(注) 前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

・ 基準の主な内容

下記のとおり定めました。

- (1) 医療法第10条に規定された病院の管理者として要件を満たす医師であること。
- (2) 大学附属病院の管理運営に必要な資質・能力を有すること。
- (3) 医療安全確保のために必要な資質・能力を有すること。
- (4) 大阪大学医学部附属病院の理念・基本方針を理解し、その実現に向けた強い意思とリーダーシップを有すること。

・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (有・無)

・ 公表の方法 本学のHPにて公表している。

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (有・無)・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (有・無)・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (有・無) ※現在、R2.4.1就任予定の病院長の選考を行っている。・ 公表の方法 本学のHPにて公表している。	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
金田 安史	大阪大学理事 (共創、病院担当)	○	病院運営を担当する理事 (役職指定)	有・無
鈴木 敏之	大阪大学理事 (人事労務、 事務組織担当)		人事労務を担当する理事 (役職指定)	有・無
森井 英一	大阪大学大学院 医学系研究科長		医学系研究科長 (役職指定)	有・無
木村 正	大阪大学医学部 附属病院長		医学部附属病院長 (役職指定)	有・無

茂松 茂人	一般社団法人 大阪府医師会会长		医学又は医療に関し識見を有する者 一般社団法人大阪府医師会会长として、マネジメントはもとより、医学・医療全般について、高い識見を有している者として選定するもの。	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
平田 一人	大阪市立大学 医学部附属病院長		医学又は医療に関し識見を有する者 公立大学法人大阪市立大学医学部附属病院長として、マネジメントはもとより医学・地域医療全般について、高い識見を有する者として選定するもの。	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
藤井 瞳子	大阪府 健康医療部長		医学又は医療に関し識見を有する者 大阪府における健康医療の行政責任者として、豊富な知見を有している者として選定するもの。	有・ <input checked="" type="radio"/> 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無		
<ul style="list-style-type: none">合議体の主要な審議内容			
病院重点課題（中期計画等）、人事、組織改組、規程改正及び予算・決算等、本院の管理運営に関する重要事項			
<ul style="list-style-type: none">審議の概要の従業者への周知状況			
全教職員が閲覧できるよう、議事録を本院のHPに掲載している。			
<ul style="list-style-type: none">合議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="radio"/> 有・無）			
・公表の方法 議事録を本院のHPに掲載している。			
<ul style="list-style-type: none">外部有識者からの意見聴取の有無（有・<input type="radio"/> 無）			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
別紙1のとおり			

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（（有・無））
- 公表の方法 本学のHPに掲載
- 規程の主な内容

大阪大学医学部附属病院規程に副病院長及び病院長補佐は管理者（病院長）が指名すると規定している。

国立大学法人大阪大学会計規則・同予算決算規則に管理者（病院長）が医学部附属病院の予算責任者として、予算案の作成及び予算の執行について権限と責任を有すると規定している。

- 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
別紙2のとおり
- 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

国立大学附属病院を取り巻く様々な課題に対して、病院長のリーダーシップ、病院長を支えるサポート体制の強化及び病院経営等、病院執行部のガバナンス強化に向け、各国立大学附属病院の病院長、副病院長、看護部長及び事務部長等の次世代リーダー等の役職者を対象に国立大学附属病院長会議が主催する幹部職員セミナー（病院長塾・病院経営次世代リーダー養成塾）に参加させ、育成しており、今後も引き続き参加させる。

（参考）

平成28年度「病院長塾」参加者：副病院長2名・事務部長・総務課長

平成29年度「病院経営次世代リーダー養成塾」参加者：副病院長・副看護部長

平成30年度「病院長塾」参加者：病院長・病院長補佐・看護部長・副看護部長・総務課長

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況	(有)・無				
・監査委員会の開催状況：年2回					
・活動の主な内容：					
(1)医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）に規定する医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務の状況について大阪大学医学部附属病院長等から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施すること。					
(2)委員会は、必要に応じ、大阪大学総長（以下「総長」という。）又は大阪大学医学部附属病院長に対し、医療に係る安全管理について是正措置を講ずるよう意見を表明すること。					
(3) (1) (2)に掲げる業務について、その結果を公表すること。					
・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）					
・委員名簿の公表の有無（有・無）					
・委員の選定理由の公表の有無（有・無）					
・監査委員会に係る内部規程の公表の有無（有・無）					
・公表の方法：本学のHPに掲載					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
倉智博久	大阪母子医療センター 総長	○	医療側・経営側の 両知識を有する者 として選定	有・無	1
橋本重厚	福島県立医科大学 会津医療センター教授 同大学附属病院 医療安全管理部長		医療安全管理の専 門家として選定	有・無	1
水島幸子	水島総合法律事務所 所長		医療に精通してい る法律の専門家と して選定	有・無	1
山口育子	認定NPO法人ささ えあい医療人権セン ター COML 理事長		患者目線で医療に ついて助言できる 者として選定	有・無	2
鈴木敏之	大阪大学理事		本学におけるリス ク管理担当理事と して選定	有・無	3

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

平成29年7月19日に大阪大学コンプライアンス推進委員会を設置し、各種コンプライアンス事案（研究上の不正行為、研究費の不正使用、情報漏えい事案、公益通報事案等）の総括と、コンプライアンスの推進に係る取組みの検討及び実施等を行っている。

また、下記のとおり具体的な取り組みを行っている。

- ・大阪大学行動規範の制定
 - ・コンプライアンス事案の発生を踏まえた再発防止策の検討及び実施（本部事務機構の各専門部署等による集合型研修やe-learningによる各種コンプライアンス教育の実施、注意喚起文書の発出、各種冊子やリーフレット等の配布、各種通報・相談窓口の設置及び周知等）
 - ・コンプライアンスに関する教職員意識調査の実施
-
- ・専門部署の設置の有無（・）
 - ・内部規程の整備の有無（・）
 - ・内部規程の公表の有無（・）
 - ・公表の方法 本学のHPにて公表している。

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に 係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 			
<p>理事会等とは別に総長が設置する大阪大学医学部附属病院戦略会議の下に下記委員を構成員とする大阪大学医学部附属病院管理運営専門委員会を平成31年3月8日に設置し、令和元年8月9日に第1回管理運営専門委員会を開催した。</p> <p>専門委員会では、病院長から外部委員に対して下記事項についての説明を行い、質疑応答の後外部委員から特に本院の管理運営に関する指摘事項は無かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度決算及び令和元年度予算について 平成30年度重点課題の取組状況について 令和元年度重点課題について 再開発計画について <p>なお、上記専門委員会の議事については、親委員会である附属病院戦略会議を通じ総長に報告する。</p>			
<ul style="list-style-type: none"> 会議体の実施状況（年1回） 会議体への管理者の参画の有無および回数（有・無）（年1回） 会議体に係る内部規程の公表の有無（有・無） 公表の方法 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：大阪大学医学部附属病院管理運営専門委員会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
川西 克幸	吹田市医師会長		有・無
北前 雅人	大阪ガス株式会社顧問		有・無
倉智 博久	大阪母子医療センター総長		有・無
塩崎 均	近畿大学名誉学長		有・無
林 紀夫	独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院 病院長	○	有・無
山口 育子	認定NPO法人 ささえあい医療 人権センターCOML 理事長		有・無
金田 安史	大阪大学理事（共創、病院担当）		有・無
三成 賢次	大阪大学理事 (大学改革推進、広報、計画評価 担当)		有・無
野々村 英彦	大阪大学監事（常勤）		有・無
木村 正	大阪大学医学部附属病院長		有・無
延原 寿男	大阪大学医学部附属病院事務部長		有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（（有・無））
- ・通報件数（年0件）
- ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（（有・無））
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（（有・無））
- ・周知の方法
院内各会議にて附議・周知するとともに、本院HPの職員専用ページ及び院内ホームページ・インターネットに設置の趣旨及び通報方法等を掲載

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有
<ul style="list-style-type: none">・評価を行った機関名、評価を受けた時期・日本医療機能評価機構、病院機能評価（一般病院2）、2016年1月22日・日本医療教育財団、外国人患者受入れ医療機関認証制度（JMIP）、2019年3月1日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有
<ul style="list-style-type: none">・情報発信の方法、内容等の概要 <p>平成24年度に本院公式ホームページをリニューアルして以降、内容の充実を図るとともに、見やすくわかりやすい情報提供を行っている。また、平成27年4月には、より見やすく伝わりやすい紙面をめざし、年4回発行する広報紙『阪大病院ニュース』をリニューアルし、大学病院としての本院の存在意義を一般社会に十分に理解してもらうよう努めている。今後も引き続き適切な情報発信を行う。</p>	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有
<ul style="list-style-type: none">・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 <p>本院では、対象となる疾患等に対し、関連診療科や診療部門並びに関連医師やコメディカルが連携し、包括的な診断及び治療を実現するため、中央診療施設として以下のセンターを配置し、複数の診療科が連携して対応に当たる体制を整えている。</p> <ul style="list-style-type: none">・脳卒中センター・前立腺センター・睡眠医療センター・疼痛医療センター・生殖医療センター・ハートセンター・小児医療センター・オンコロジーセンター・呼吸器センター・てんかんセンター・消化器センター・I V Rセンター・胎児診断治療センター・難病医療推進センター・子どものこころの診療センター・糖尿病センター・がんゲノム医療センター・緩和医療センター	

(オブザーバー)

《 規 程 》 大阪大学医学部附属病院運営委員会規程
《 審 議 事 項 》 ①本院の管理運営に関する重要事項の議決及び報告。
②通常企画会議で検討された事項の議決

副病院長・病院長補佐の所掌業務(平成30年度)

	担当区分	氏名	所掌業務	
副 病 院 長	人事労務・医療安全	竹原徹郎	人事労務	①人事労務に関すること ②看護職員の確保 ③医師の処遇改善
			医療安全	①医療安全管理協議会会長校としての業務 ②医療安全・質向上のための相互チェック ③院内の医療の質・安全に関すること
	再開発・がん診療	土岐祐一郎	再開発	①病院再開発の企画・機能強化に関する検討
			がん診療	①オンコロジーセンターの運営 ②がん診療連携拠点病院・がんゲノム医療中核拠点病院関係 ③がんプロを後継する発展的事業の開拓
	教育・診療体制・財務	樂木宏実	教育	①研修医・新専門医制度に関すること ②メディカルスタッフに対する大学病院の特徴を生かしたキャリアパス開発
			診療体制	①診療体制の整備充実・病棟再編事業の発展的継続
			財務	①病床運営のための経費支援 ②病院基盤整備経費配分 ③長期的展望に立った財務基盤の確立
	ホスピタリティ	越村利恵	ホスピタリティ	①患者接遇の向上に関する取組 (ご意見箱の対応、盗難防止対策、禁煙対策、職員教育など) ②ボランティア活動の充実
病 院 長 補 佐	小児・周産期・救急医療	大薗恵一	小児医療	①小児医療に関すること
			周産期	①周産期医療に関すること
			救急医療	①救急医療に関すること
	研究・臨床研究中核病院	坂田泰史	研究	①臨床研究支援体制整備及び未来医療開発部の強化発展
			臨床研究中核病院	①臨床研究中核病院に関すること
	中央診療施設	富山憲幸	中央診療施設	①中央診療施設に関すること
	広報・中期計画	野々村祝夫	広報	①病院ニュース・アニュアルレポートの作成 ②職員募集計画を念頭においていた広報戦略 ③市民への病院紹介コンテンツの立案 ④病院フォーラムの企画
				中期目標・計画 ①中期目標・計画の策定と評価
	医療情報・地域医療 ・外部評価	松村泰志	医療情報担当	①医療情報に関すること
			地域医療	①医療情報を介した地域医療の充実
			外部評価	①外部評価(特定共同指導・JCI受審)に対する院内準備
	女性支援・ダイバーシティ	中島和江	女性支援	①女性教職員の安定的就労支援
			ダイバーシティ	①男女教職員の多様な働き方の確立
	経営・組織改革	延原寿男	経営	①経営戦略の検討
			組織改革	①事務組織の改革